令和7年度

工事名:九州森林管理局大分西部森林管理署 院内森林事務所新築工事

設 計 図 書

九州森林管理局

大分西部森林管理署院内森林事務所新築工事

図面番号	建築
A-01	表紙・目次
A-02	特記仕様書 1
A-03	特記仕様書 2
A-04	特記仕様書 3
A-05	特記仕様書 4
A-06	特記仕様書 5
A-07	工事区分表
A-08	付近見取図・面積表
A-09	配置図
A - 1 0	仕上表
A-11	平面図・屋根伏図
A-12	立面図・断面図
A-13	矩計図
A - 1 4	平面詳細図
A-15	展開図-1 (事務室)
A-16	展開図-2(車庫)
A – 1 7	展開図-3(倉庫)
A-18	展開図ー4(更衣室・便所)
A-19	展開図-5 (洗面コーナー)
A-20	天井伏図
A-21	建具表
A-22	雑詳細図-1 (造作棚)
A-23	雑詳細図-2 (下足・足洗場)
A-24	雑詳細図-3 (旗竿·誘導看板)
A-25	雑詳細図-4 (掲示板)

図面番号	構造
S-01	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)
S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
S-03	木工事・軸組工法工事特記仕様書(その1)
S-04	木工事・軸組工法工事特記仕様書(その2)
S-05	木工事・軸組工法工事特記仕様書(その3)
S-06	基礎伏図
S-07	小屋伏図
S-08	軸組図1
S-09	軸組図2
S-10	筋交い計算 1
S-11	筋交い計算2
S – 1 2	地盤調査資料

図面番号	電気
E-01	電気設備工事仕様書-1
E-02	電気設備工事仕様書-2
E-03	工事区分表
E-04	盤結線図・照明器具姿図
E-05	コンセント設備 平面図
E-06	電灯設備 平面図
E-07	弱電設備 平面図

図面番号	機械	
M-01	機械設備工事仕様書-1	
M-02	機械設備工事仕様書-2	
M-03	工事区分表	
M-04	機械設備 機器表・換気計算書	
M-05	衛生設備 配置図	
M-06	衛生設備 平面図	
M-07	空調換気設備 平面図	

図面番号	解体
K-01	解体特記仕様書-1
K-02	解体特記仕様書-2
K-03	現況 配置図
K-04	現況 仕上表
K-05	現況平面図・屋根伏せ図・基礎伏図・建具リスト
K-06	現況立面図
K-07	解体対象物詳細図
K-08	電気設備撤去図 平面図
K-09	機械設備撤去図 平面図

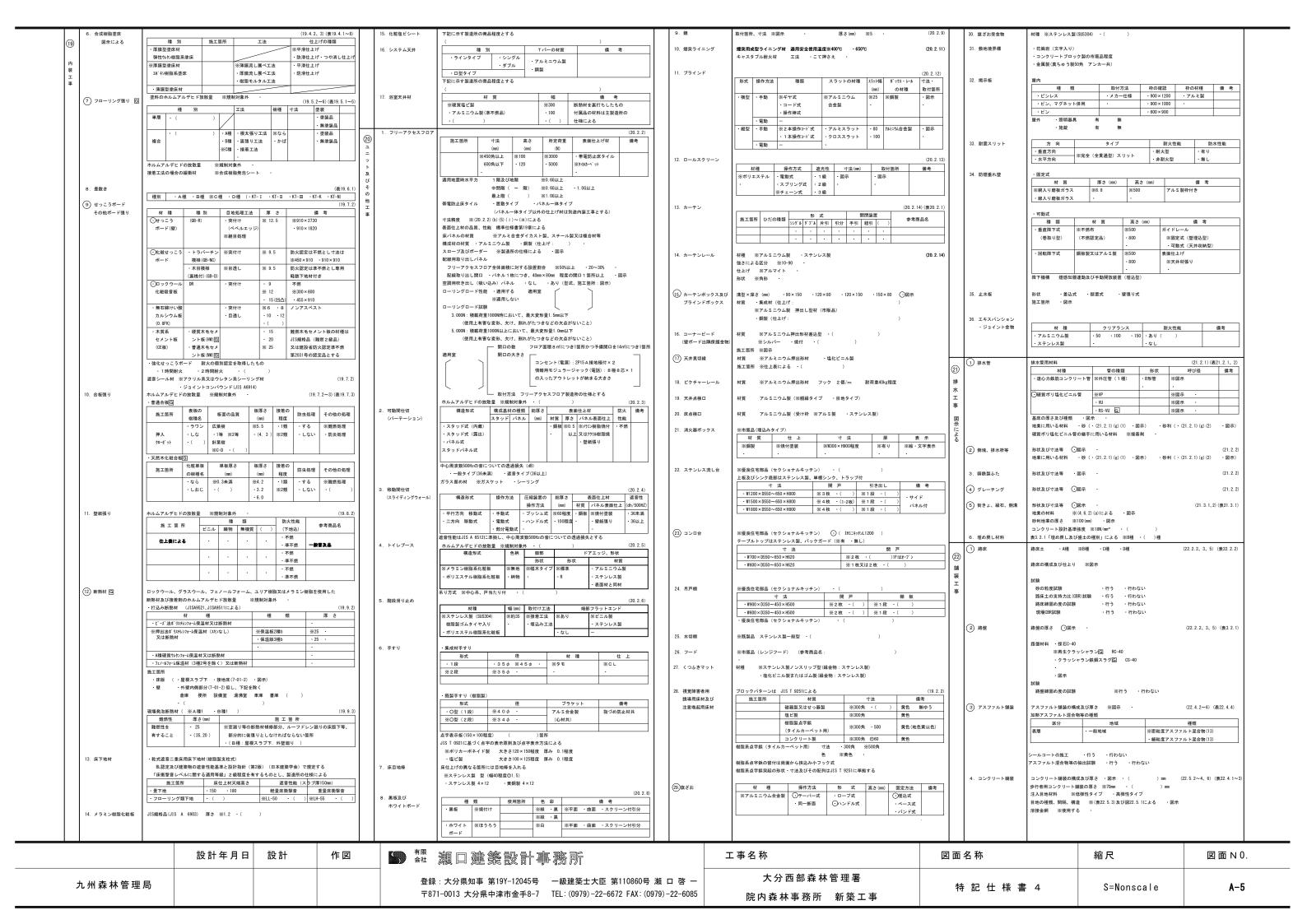
	設計年月日	設計	作図	● ^{有限} 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085		表紙・図面リスト	_	A-1

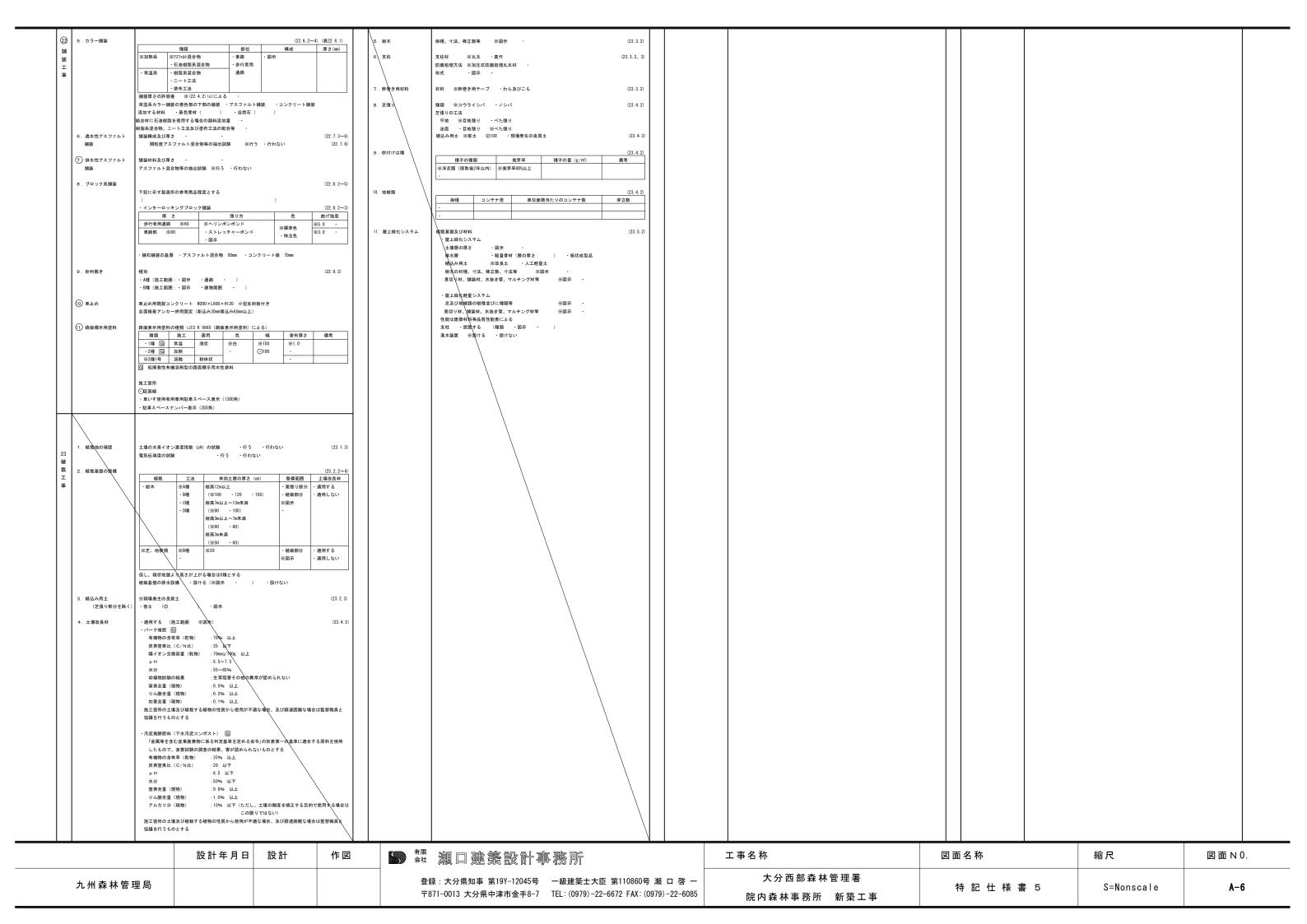
大分西部森林管	管理署 院内森林事務所 新築工事 コ	事仕様			2) 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない 材料を使用する	① 埋戻し及び盛土	種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3) (表3	(4.) 鉄筋のかぶり厚さ	耐久上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さの割り増し ・ 行わない	
I 工 事 概 要					3)接着剤は可塑剤(フタル酸ジーn-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル	É	C種の場合、発生場所 (連絡先) (連絡先) (運 搬 ・発生原因者側 ・本工事 km)		- 行う (下記による) 施工箇所	に加える寸法 (mm)
	大分県宇佐市院内町原口434-5				等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する 4) 1) の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、	事 ② 建設発生土の処理		2.5) 5. 杭頭の補強方法	柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打ち放し面 ※10	
3 丁事建物の概要	304. 17 111				ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が	(2) 建放光主工切处理	受入場所 (1 50000	・図示による	
	院内森林事務所 新築工事				極めて少ない材料を使用したものとする また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次の通りとする		受入場所での処置 (・敷きならし ※たい積) 搬出距離 () km	6. 帯筋	形の種類 ※H形 ・W-I形 ・SP形 ・ ()	(参 2.2)
2)構造・階数 3)延床面積	木造・平屋建て 64.12 mi		:		規制対象外品 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品		上記に示す受入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては 監督職員と協議のうえ決定する	7. 壁開口部の補強	一般壁 · A 形 · ※B 形 · 図示 (参 耐震壁 · 図示による	参4.4 表4.3 表4.4)
4) 耐火建築物 5) 付属建物	・耐火建築物 ・準耐火建築物 ①その他				②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品		・構内指示の場所(・敷きならし ・たい積) ・構外搬出適切処理(搬出調書等を提出する)	8. 土間スラブ打継ぎ	F補強 ※入れる	(参 5.7)
4. 工 事 種 別	 ① 新築 ・ 増築 ・ 改築				a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤不使用					
5. 工 事 内 容					c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用	1)試験杭	杭の本数 ※最初の1本 ・ (本) ※位置は図示による (4. 杭の種類 ※本杭と同じ ・ ()	9. 主間コンクリート	補強 ※入れる 補強箇所 ※土間コンクリート ・犬走り ・ ()	(参 5.7 図 5.11)
5. 1 7 M	事務室、車庫				e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用		杭の寸法 長さ(m) ※本杭と同じ ・ ()			(07.0 +7.1 +7.0)
					f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種品		断面寸法 ※本杭と同じ ・ ()	10. 梁貫通孔	(既製品による補強の場合は監督職員の承諾を得ること)	(参7.2 表7.1~表7.3)
	雨水排水用側溝、溜桝、区画線、舗装工事、サイン、♯ ○撤去工事				①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品	2. 施工機械の為の 平板載荷試験	・行う ※行わない (4.	2.4) 11. 圧接完了後の検査	検査方法 ※超音波探傷試験 - 引張試験	(5. 4. 9)
					③IBJISのEo規格品 ④IBJASのFco規格品	3. 既製コンクリート杭	- 種類 (4.3.1) (4.3.2) (4	1) 股計基準強度 (Fc)	:) ・図示による	(6. 2. 2)
Ⅱ 建築工事仕様	衛生設備、機械設備、電気設備				アスペスト含有建材 (1.4.1) 本工事に使用する材料については、アスペストを含有しないものとする。	地業	種類の記号 規格、材質など 長さ(m) 断面寸法 継手 継手形	3. 0)		(6. 2. 1) (表6. 2. 1)
1. 共通仕様	に対象されていない事項は、ナンで見上を落かまに会言会会学	经加贴收「八井油等了审集 "	4.42.49	(1) 化学物質の濃度測定			・PHC杭 JIS規格品 ・A種・B種・C種 ・あり ※溶接継	──		(1.2.1)
(建築工事編) (に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営 平成28年版)」(以下、「標準仕様書」という。)による	籍部監修「公共建業工事標準	在惊音) 化字物頁の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルペンゼン スチレンの濃度を測定し、監督職員に報告すること		- 無溶接	・	普通コンクリート ・2.1~2.5t/m3 軽量コンクリート ・ ()	t/m3 (6.2.3) (6.10.1)
2. 特記仕様	8備工事の工事仕様書は別図による				測定はパッシブ型採取機器により行う (1.5.9) 測定対象室及び測定箇所数			ト	・行う (部位:躯体コンクリート)	(6. 5. 1)
	○ 印の付いたものを適用する 印の付いたものを適用する				測定対象室 室 名 測定箇所数 居室 事務室 1		林の工法	⑤ コンクリートの仕.	上り 種別 適用箇所	(6. 2. 5)
印の付かない	ものは、※印の付いたものを適用する 1の付いた場合は、共に適用する						長期設計支持力 () KN/本	3.3)	· A 種	(表6.2.4)
(3)特記事項に記載の	() 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図、 による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下、「グ		中細				※プレボーリング併用打撃工法 プレボーリングの掘削深さ及び径 深さ ()m 径 ()		・C 種 見え掛かりのスラブ	
達品目を示し、使	用する材料はグリーン購入法の「判断の基準」を満たすよう努		AC DIN			4)	杭打機 ※油圧パイツハンマー・(推定支持地力の算定方法 ※JISA7201を参考にする	⑥ セメントの種類	● 通ボルトランドセメント又は混合セメントA種	(表6.3.1)(6.3.1)
	は特記なきかぎりミリメートルとする B載の無い事項は図示による				注)測定パッジはホルムアルデヒド用と、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、	ė	杭の水平方向の位置ずれ ・()mm以下 ・図示による		 ・(こ)高炉セメントB種 (部位: ※基礎、地中梁、捨コンクリート) ・() 	
章 項 目	特 記 事 項				スチレン用の2種類を用いる : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	¥ I	・セメントミルク工法 (4. 支持地盤 ※図示	3. 4)	上記普通ポルトランドセメントは、JISR 5210 (ポルト ランドセメント)に示された規定の他、右表の規定に 水和熱 (J/g)	7日 352以下
① 適用基準等	・建築工事標準詳細図(最新版)・建築鉄骨設計基準及び同解説(最新版)			12) 技能±	適用種別 (1.5.2) 適用工事種別 技能検定の職種等 適用工事種別 技能検定の職種等	# .	※圧入 ・ () 杭先端部形状 ※閉ぞく形		適合しなければならない。全アルカリ算出は、 JIS R5210ポルトランドセメント (低アルカリ形) による	28日 402以下
-	○構内舗装・排水設計基準(最新版)・接壁設計標準図(最新版)				鉄筋工事 ・頻製下地工事 ・		アースオーガーの支持地盤への掘削深さ · () m · 図示による	(7) 骨材の種類	砂利及び砂のアルカリシリカ反応性による区分(JIS A 5308)	(6. 3. 1)
共	敷地調査共通仕様書(最新版)	3.1.±			○コンクリート圧送施工 左官工事 ○左官		杭の水平方向の位置ずれ ・()mm以下 ・図示による			(6. 3. 1)
事	○営繕工事写真撮影要領(最新版)・同解説 工事写真の	戦り万			鉄骨工事 ・とび 塗装工事 ・建築塗装 ・鉄工 * 2		・プレボーリング拡大根固め工法	3.5)	砕石及び砕砂のアルカリシリカ反応性による区分 (JIS A 5005) ※A · B	
項 ② 工事実績情報の登録	※適用する		(1.1.4)		組積工事 ・ブロック建築 ・ALCパネル施工 ・ビル用サッシ施工		・中振り拡大根固め工法 [工法の条件]	8 混和材料	・混和剤 種類() (6.3.1)・混和材 種類()) (6.3.2) (6.13.2)
③ 発生材の処理等	※現場説明書による ・構外搬出適切処理		(1. 3. 11)		防水工事 ・アスファルト防水 ・自動ドア施工 ・ウレタンゴム系塗膜防水 ・分ブラス施工		国土交通省告示第1113号第6号に定める地盤の許容支持力式の内 α、β、γが下記の値をとれる工法とする 支持地盤 (固結シルト、	沙礫) 9. 打継ぎ	打継ぎ目地の寸法 ※ 標準仕様書(9.7.3)による ・ () mm	(6. 6. 3)
④ 品質計画	施工計画書で定める場合の風圧力の計算 基準風速 (Vo) () m/s		(1.1.2)		・ 合成ゴム系シート防水 内装工事 ・ 塩化ビニル系シート防水 ・ カーペット系床仕上工事		α = ()、β = ()、γ = () 林周固定液 ※認定条件による ・使用する ・使用しない	10. 暑中コンクリート		(6. 12. 1~6. 12. 4)
	地表面粗度区分(・ I ・ II ・ II ・ IV)				・改質アスファルトシートトーチ		杭先端部形状 ※認定条件による			
	積雪区分 建告示第1455号 別表 () 適用工種				・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		支持地盤 ※図示 ※杭工事の際に杭周固定液に使用されるセンントルクが周囲に流出しない様、対策を行う。	(11) 型枠	外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ (仕上塗材、塗装等の仕上げを行う場合を含む) ※20mm ① (15) mm	(6. 8. 2)
	・ALCパネル(外壁) ・押出成形が小板(外壁) ・外型 ・長尺金属板葺 ・折板葺 ・アルミ笠木 ・ガラスブロ				タイル工事 ・ 途園工事作業 木工事 ・ 企園第大工 カーテンウォール工事		杭周園定液の汚泥処理は産廃処理となる場合があるので監督員と協議する。 杭の水平方向の位置ずれ () mm以下 図示による		ひび割れ誘発目地の形状、寸法 ※標準仕様書(9.7.3)による ・図示に、	よる
	・シート防水(機械式) ・屋上緑化システム・ ()				屋根工事		継手の工法 ・図示による 杭頭の処理方法 ・図示による	12. 無筋コンクリート	設計基準強度 (N/mm²) ※18 - ()	(6. 14. 1 6. 14. 2)
5. 電気保安技術者	※要 · 不要		(1.3.3)		※技能士は、職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の資格を有するものとする。 ※鉄工技能士は、現場溶接を指定する場合、若しくは現場溶接を行う部分が構造耐力上主要な部分	4. 場所打ちコンクリート	帯筋 ・H型 ・W−1型 ・SP型 ・丸型 (参2.2 4		スランプ (cm) - 15 - 18 - ()	
	※図示による		(1.0.0)		に及ぶ場合に適用する	杭地業	鉄筋の最小かぶり厚さ · () mm以上 · 図示による	5 3)	WITH THE WATER AND THE STATE OF	
(6) 設計GL、BM				③ 工事写真等			コンクリートの種別 · A種 · B種	13. 打継止水材	適用箇所 ※EVピット ・(配管ピット) 材質 水膨張性コンクリート打継止水材 寸法 w()×t()	
(7) 既存部分等への処置	工事施工に際し、既存部分を汚染又は損傷した場合は監督職 承諾を受けて現状に準じて補修する	員に報告するとともに	(1. 3. 12)		撮影機材 ・フィルムカメラ ・※デジタルカメラ ・100×125以上 ・700万画素以上		設計基準強度 (Fc) () N/mm ² 構造体強度補正値 (S) (4	5.3) (4)コンケリートの	コンクリートの材齢28日の圧縮強度試験は大分県土木建築部が指定する	(6. 9. 1~6. 9. 6)
8. 別契約の関連工事	施工範囲 図示による		(1. 1. 7)		原版サイズ等 ()以上 ()万圃素以上 写真原版は撮影した業者の保管とする		据削工法	3.5.1) 強度試験	品質管理試験を行う試験場とする。	
	施工図等 設備機器の位置、取合い等が検討のできる施工図 承諾を受ける	を提出し、監督職員の			電子データ 監督職員と協議し、決定したデータ形式をCD-R (DVD) で提出		・アースドリルエ法 (※ 安定液使用 ・無水掘削) ・オールケーシングエ法 (孔内の水張 ・行う ・行わない)			
9 材料の品質等		みび性能太友ナミナ のし	(142)				・リパース工法 ・ (4.5.4) (i. 5.5) 1. 鉄骨の製作工場	鉄骨製作工場の加工能力	(7. 1. 3)
(ヨ) 村村の前夏寺	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質 JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次			14)完成図等	※作成する ・作成しない (1.7.1~3) (表1.7.1)	5. 試験掘	※有 孔径についてはオーガー径とする	7 新 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対	※建築基準法第77条の56に基づく国土交通大臣から性能評価機関として認可を	を受けた
	満たすものとする 1) 品質・性能に関する試験データーが整備されているこ	٤			提出部数は現場説明書による	⑥ 砂利及び砂、地業	材料 ※ 固再生クラッシャラン ・砂利 ・砂・ () (4.6.	~3)	(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国機構工業 「鉄骨制作工場の性能評価基準」に定める下記グレードとして国土交通大臣:	
	 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること 安定的な供給が可能であること 			15. 文化財その他の埋蔵物	· 対象区域内 · 対象区域外		厚さ ※60 · ()	#	認可を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ()グレード	
	4) 法令等で定める許可、認可、認定、免許等を取得して 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性が十分にある				上記対象区域内外における試掘調査等に必要な資材及び労務等を提供すること。	⑦ 捨てコンクリート地業	厚さ ※50 ・() (4.	5. 4)	監督職員の承諾する工場	
	6) 販売、保守等の営業体制が十分に整えられていること			16)火災保険等	工事目的物および工事材料等について次により保険に付す。 ・火災保険 ・建設工事保険	8 床下防湿層	**ポリエチレンフィルム 厚さ **0.15 ・ () (4. 適用箇所 **ニ重スラブ以外の接地階の床下	3.5) 2. 施工管理技術者	適用 ・ する ・ しない (7.	. 1. 4) (7. 6. 2) (7. 12. 2)
	なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品				AAMA MINITERS	5) (1) 鉄筋の種類	_	3. 鋼材の種類		. 1) (7. 2. 10) (表7. 2. 1)
	証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監 けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受け	た場合はこの限りではない。			9	ション sxmの性類 族	種 別 SD295A SD345 SD390			規格等 規格
	また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同 同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受けること	等品を使用するものとし、		1) 監督職員事務所	・設ける ※設けない (2.3.1)	I O	怪 D16以下 D19以上			3規格 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	また、使用資材の中で大分県内で産出、生産又は製造される 適正である場合は、これを優先して使用するよう努める	資材で規格、品質価格が	2		面積規模 (・10 ・20 ・35 ・65 ・100) m [†] 程度 監督職員事務所の仕上げ	② 鉄筋の継手・定着	D19以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ○重ね継手 その他の継手 (5. 主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ()	3.4)	*/JIS; */JIS;	規格
(0) 環境への配慮	本工事の建物内部に使用する建築材料は、設計図書に規定	する所要の息管及れ他能	(1.4.1) 設		部位等 仕上げ		柱に取り付ける梁の引張鉄筋の定着長さ () 上記以外の定着長さ ()			
(マノ 味水・火塩原	を有するものとし、次の1)から4)を満たすものとする		(1.4.1) DX I		床 合板張り又はビニル床シート張り		. ,			
	 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、 パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂 	板、壁紙、接着剤、	事		内壁、天井 合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り 屋根 塗装溶融亜鉛めっき銅板張り、又は飲板張り、調合ペイント塗り	3. 溶接金網		2.2) 4. 高力ポルト	※トルシア形高カボルト ・JIS型高カボルト ・溶融亜鉛メッキ高カボル	(7. 2. 2) (7. 4. 2)
	保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセト スチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で	、設計図書に規定する		② 工事用水	構内既存の施設 ① 利用できる(※有償 ・無償) ※利用できない		網目の形状、寸法 (たて×よこ) 鉄線の径又は呼び (mm) 規格 ※100×100 ※6.0	-	セットの種類 () ・図示による () 高力ポルトの径 ・図示による ()	
	「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を	使用する		③ 工事用電力	構内既存の施設 ○ 利用できる(※有償 ・無債) ※利用できない		JIS G 35511C.£-&	_	ボルトの縁短距離、ボルト間隔、ゲージ等 SCSS-H97 すべり係数試験 ※行わない ・行う(試験方法等)・図示による	ş ()
	設計年月日	設計	作図	有会	^限 瀬口建築設計事務所		工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
						#5 CD 5#	大分西部森林管理署			
九州森林智	管理局 📗				登録: 大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号			特記仕村	様 書 1 S=Nonscale	A-2

大分西部森林管理署 登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一 九州森林管理局 特記仕様書1 〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL: (0979)-22-6672 FAX: (0979)-22-6085 院内森林事務所 新築工事

7 鉄骨工事	5. 普通ボルト 6. アンカーボルト 7. ターンパッ入ル 8. デッキブレート 9. エカラップの切除 10. 柱底均しモルタル 11. 工作一般 12. 溶接接の試験	・ボルト及びナットの材料 表7.2.3による ・構造用アンカーボルト (材質 ※SMR4008 ・SS400 適用箇所(・建方用アンカーボルト (材質 ・SMR4008 ※SS400 保持及び埋め込み工法 (・A種 ・B種 ・C種) ターンパックル原の種類 ※割枠式 ・(ターンパックルボルトの種類 ※羽子板ボルト・(※ 図示による 低心力高サイクル疲労を受ける部位 ・((7.2.4) (7.10.3))))))))))))) (表7.2.6) (表7.2.6) (表7.2.6) (表7.2.6) (表7.2.6) (表7.2.6) (表7.2.6) (表7.2.6) (表7.2.6)	(7. 2. 6) 防水工事 (7. 6. 7) (7. 10. 3) (表7. 10. 2) (7. 6. 4) 3) (表7. 6. 4)	1. アスファルト防水	開口の大きさ 切断後のパネルの残り部分の幅	1. 施工 2 石材等 3. 外壁湿式工法	- 屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ ・行う (適用場所 ・すべて ・行わない (10.2.1、3)(表 施工箇所 名称 石材の種類 形状 寸法 厚さ 表面仕上げ 備考 ・ 本磨き ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3. 階段滑り止め (2) (1) 表面仕上げ 関示による (2) 契村區 関示による	既顕合モルタル モルタル下地としたタイル工事に仕様する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和削等 を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能・試験方法) 建設性料等品質性能表による 接着剤のホルムアルデヒド放散置 ※規制対象外 (11.3.3) 外表タイル接着剤採りにおける目地シーリング材 (11.3.4) 打幅ぎ目地 ※ボリウレタン系シーリング りい割れ誘発目地 ※ボリウレタン系シーリング 中総調整目地 ※ボリウレタン系シーリング 中総調整目地 ※変成シリコーン系シーリング その他の目地 ※変成シリコーン系シーリング タイル型枠先付け面砂理 (11.4.3)(表11.4.1) 種 類 適用タイル タイル型枠先付け面のせき板の種別 ・タイルシート法 ・小ロタイル ※(6.8.3)(b)(2)による ・目地附法 ・二下掛けタイル ・金属製タイル先付け用バネル ・技术法 大形タイル ※個器製 () 連用箇所 種 類 (12.1.4)(表12.1.1) 本の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 (12.2.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1) 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 間伐材等 適用
8	14. 錆止め塗装 15. 耐火被覆 16. 鉄の亜鉛めっき フロック連	程別 () 所定の性能 ・30分耐火 ・1 時間耐火 ・() ・	※4.0% ・() ※4.0% ・() 科類 那個、鋼板類 (の形鋼、鋼板類 ーボルト	適用部位	 2. 改質アスファルト シート防水 3. 合成高分子系 ルーフィング シート防水 	屋根需出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材 (9.2.4) の張りじまい位置 ※図示 (9.2.5)	4. 内壁空積工法 5. 乾式工法	受金物 材質 ※SS400 形状及び寸法		※2線 ※4種 - B種 - ・ ※2線 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
コンクリートプロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	2. コンクリート ブロック帳型及び塀 3. ALCパネル	※150 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を (mm) 化粧の有無 (表8.3.1)以 高さ の適用簡所 000 ※無 ・有 000 ※ 素面の工 月 ・ 窓のケー・単 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の部分は (表8.4.2~4)	4.塗膜防水	□ 対質 ※A種押出法ポリスチレンフォーム3種bスキン層付き又は (9.4.2) 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bAスキン層付き 厚さ ※25 · () 屋根露出防水熱型上流の断熱材 (3 材質 ※A種硬質がかフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの又は 複質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規定に適合するもの又は 複質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規定に適合するもの 厚さ ※25 · ()	 年及び階段の石張り アーチ、上げ裏等の 石張り 3. 笠木、甲板等の石張り 	たぼ用の穴の位置 ※(10.5.2) (b) (1)による ・図示 外型の工法 建築基準に基づき定まる風圧力(の) (1 1.15 ・1.3) 倍に対応した	工法 2、3) 7.1、2)	※1等・2等・・ ・「集成村の日本農林規格」による化粧はり造作用無成村 施工箇所 化粧薄板 芯材 寸法 化粧薄板 見付け村面の等級 間伐村等 適用 ・ 1等、2等・・ ・ 7集成村の日本農林規格」による化粧はり積造用集成柱 施工箇所 の機種 の財産 (mm) の厚さ (mm) ※1等・2等・・ ・ 7集成村の日本農林規格」による化粧はり構造用集成柱 施工箇所 の財産 (mm) の厚さ (mm) の厚さ (mm) の厚さ (mm) の厚さ (mm) ・ ・ 「集成村の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 根種 寸法 尺柱付材面の品質 含水率 適用 ・ 「集成村の日本農林規格」以外の比較はり造作用集成材 施工箇所 化粧薄板 芯材 寸法 化粧薄板 透相・・ ・ 「集成村の日本農林規格」以外の化粧はり造作用集成材 施工箇所 の機種 (mm) の厚さ (mm) の品質 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	4. 押出成形セメント板	- 間仕切壁パネル - 100	- 30分 - 平 - 恵匠	取付け工法 ・A種 ・B種 ・B種	5. ケイ酸質系塗布防水 6. 脱気装置 ⑦ シーリング	施工標識 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける (9.6.1、3) (表9.6.1、2) 施工 箇 所 種 別	1. 伸縮調整目地及び ひびわれ誘発目地 (2) 胸磁器質タイル張り (5)	取付け工法 ・外壁湿式工法 ・乾式工法 取付け金物 ※(10.2.2) (c)による ・	4. 造作用単板積層材区 4. 3.7) 考 2. 4.2) 2. 4.2) 2. 4.2) 2. 4.2) 7. 3.7)	施工箇所 化粧薄板 芯材 寸法 化粧薄板 見付け材面 含水率 間伐材等 の樹種 の樹種 (mm) の厚さ(mm) の品質 適用 ※A種 ・B種 ・
	I	登計年月日	設計	作図	有限会社	瀬口建築設計事務所	=	工事名称	 図面名称	縮尺 図面 N 0.
	九州森林管理	里局			 登卸	禄:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 第 171-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(097		大分西部森林管理署 院内森林事務所 新築工事	特 記 仕 様	書 2 S=Nonscale A-3

		##U # ^ ##	○#* # B A # 173		フリミート・ゲー	413.0 0.4113.0.4113	p. (Qilai) tak D			(16) ガラス留め材	※建具表による	(16. 14. 2	(16.14.3) (表16.14.1)	
	* (5)) 床張り用合板等 (続き)	(解進用会類区) (原立) 表面の 接着の 板面の品質 係数比 物節面 防虫処理 強度等級 間伐材等 適用	7.	アルミニウム笠木	(14,7,2,3)(表14,7,1)(表14,2,1) 施工箇所 種 類 製品幅 呼称肉厚 表面処理 皮膜・複合皮膜 ・押出し259形 ※250~240 ※1.5以上	5. 鋼製建具	(16.4.2)(表16.4.1) 建具性能等 外部に面する建具 内部建具 内部建具 ・		17. ガラス用フィルム	下記に示す製造所の参考商品	品程度とする		
	エ		Mat			- 押出し200形 ※260~240 ※1.6以上 ※A-1種 ・押出し306形 ※350 ※2.0以上 又は8-1種		- 簡易気密型 - 適用する () - 適用しない - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		18. 衝突防止表示	形状、寸法、材質 ※図)	(20. 2. 10)	
						() () ※2.0以上 ()		・防音サッシ 連音性の等級 () ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					(20. 2. 10)	
			(・)パーティクルボード図 厚さ 表表面の状態 曲げ強さ 接着剤 難燃性 (mm) による区分 による区分 による区分 による区分 による区分 による区分 による区分 にたる区分 にたる区分 にたる (ボール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			・ 板材新館/邦部		計震サッシ 面内変形追随性の等級 () - 合性能を適用する建具符号: 建具表による 編版 (16.4.3)		(19) 鍵箱	形式 ・30本入(個) ・60 鋼製市販品とし、監督職員の	本入(個)・120本入(個)・ 本入(個) D承諾による。		
			による区分 による区 による区 による区 による区 によるC	8) 手すり・タラップ	五木の回走並来の上次す		材料 めっき付着量 厚さ	17	1. 性能			(16. 2. 2) (17. 1. 3)	
						タラップ ・ステンレスSUS304仕上げは#400程度 (14.8.2.3) ・ ()		JIS 6 3302 (溶脱亜鉛かっき鋼板) ※712又はF12 ※(表16.4.2)による JIS 6 3317 (溶脱亜鉛ー5%アルミニウム ※Y08	ה ה		耐震性 ※	S-4 () S-5 () -	S-6 ()	
			・構造用パネル 施工箇所 厚さ(mm) 等級			滑り止め ※ローレット加工 ・ ()	6. 銅製軽量建具	合金めっき鋼板 (16.5.2)(表16.4.1)	テン		(層間変形角) 水密性	- W-4 () - W-5 ()	
			- 1線 ・2線 ・3線 ・4線	5) 1) 1	モルタル塗り	防水剤: 性能は建築材料等品質性能表による (15.2.2) 既製目地材 設ける 施工箇所 () 形状 (※図示 ・) (15.2.2)	0. 卵囊粒里烃类	建具性能等	ウ オ 」				()	
		接着剤	接着剂に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする (12.2.2、3) ポルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外	Ē		- 設ける 加上面が		南海太田空 瀬川すの 瀬川しない	ルエ		進音性 等	F級 ()		
)防腐・防蟻	- 防腐・防縮処理が不要な樹種による製材及び集成材 (12.3.1、2) 間 適用部位 (<u> </u>		・ 設けない		耐能(アンプ) 間内にほの等級() 耐震サッシ 面内変形追随性(の等級 () 各性能を適用する建具符号: 建具表による	#		断熱性 性能の確認・判定方法	F級 ()		
			- 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 保存処理性能区分	2 +	セルフレベリング材塗り	・せっこう系 ・セメント系 (15.4.2) (表15.4.1)		頭板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被電鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 (16.5.3) 鋼板の厚さ ・後16.5.1)による (16.5.4)		2. メタルカーテン				
			· K2 · K3 · K4		仕上塗材仕上げ	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量	7. ステンレス製建具	召合せ、緩小口包み板の材質 ※ステンレス鋼板 ・鋼板 (16.6.3) (16.6.2) (表 16.4.1)		ウォール	主要構成材料		(17. 2. 2)	
			- 棄柄の塗布等による防腐・防緩処理 適用節位 処理の方法 ※(12.3.1)(3)(ii)(①~④)			※規制対象外品・() ・屋内の壁及び天井の仕上げ塗材は、建築基準法に基ずく防火材料の		建具性能等 外部に面する建具 内部建具 ・ 簡易気密型 ・ 適用する () ・ 適用しない			シーリング材及びガラス留め 下記以外は表9.7.1による	ÞĦ		
			※ (12. 3. 1) (3) (ii) ①~④			認定又は指定を受けたものとする 適用範囲外()		計風圧性能			被着体の組合せ	シーリング材の利 記号 主成分による区分 iii		
			・ボード原料接着材への薬剤混入による防腐・防蟻処理 適用部位 ()			- 薄付付仕上塗材 (15. 5. 2) (15. 5. 6) (表15. 5. 1)		断熱性ツシ 断熱性の等級 () ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			金属 ガラス 石・タイル	,		
	(1)	長尺金属板葺	(13.2.2.3) 施工箇所 板及び3イMの種類 塗膜の耐久性、めっき 厚さ 屋根葺形式 備考			呼び名 防火材料の指定の有無		各性能を適用する建具符号: 建具表による 鋼板 (屋外) ※SUS304 - SUS430J1L - SUS443J1 (16.6.3)			ガラス ガラス 構造用ガスケット			
	屋根及び		付着量等の種類及び記号			- 有 - 不燃 - 砂壁状 - 吹付け - 学不燃 - 着色骨材砂壁状 - こて塗り		鋼板(屋内) ※SUS430 · SUS430JIL · SUS43JI · SUS304 (16.6.3) 表面仕上げ ※札仕上げ ・鏡面仕上げ ・ (16.6.4)			※適用しない ・適用する 断熱材	(施工箇所等詳細は図示)		
	ر ا ا		歴根 歴根用3/4 (CGLCCR-20-AZ150) 0.5 ・焼薬 ・繊掛葺き ・検薬 ○一文字葺き			- 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (16.6.5)			製品及び取付け位置の寸法計	中容差 ※(17.2.1~3)による		
	事		下葉材料 ※アスファルトルーフィング940			無	8 木製建具	表面材の合板の種類 ※普通合板 · () (16.7.2(b)) かまち戸の樹種 かまち() 鏡板() (16.7.2(c))	\perp		ガラス溝の寸法、形状 🦠	《製造所の仕様による・		
			- 改質アスファルトルーフィング (・一般9イプ ・被層材9イプ ・粘着層月9イプ) 雪止め ・設置する (図示) (13.2.3)			- ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		ふすま上張りの種類 - 鳥の子 - 新鳥の子程度又はピニル紙程度 (16.7.2(d)) 枠、くつずりの材料 - 建具表による (16.7.2(i))	18	1) 材料	内部に使用する塗料は、原原 ・屋内の壁及び天井の塗	川水性系のものとする g仕上げ材は、建築基準法に基づく防火材料の指定又	(18. 1. 3)	
	2.	折板葺	(13.2.2) (13.3.2、3) (表13.2.1) 施工箇所 形式 山高、山ピッチ 耐力によ 材料によ 厚さ 軒先面戸板 耐火性能			呼び名 防火材料の指定の有無 防火材料の指定の区分 位上げの形状 工法 上塗材 (水系) 耐候性		建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 (16.7.2) ※規制対象外	塗 装		認定を受けたものとする 適用範囲外(5		
			による区分 本区分 (mm) (mm)			- 復層差材 C E - 不燃 - 凸部処理 吹き - ボリンチ - エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エ	9 建具用金物	マスターキー ※製作する ・製作しない (16.8.4) 建具用金物	#		屋内で使用する塗料のホル ※規制対象外品 第三種			
			・重ね形 ()種 ※鋼板製 ・有り ・30分 ・はぜ締め形 ・7%ミーウム ・無し ・無し			・複層塗材RE ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		錠類はシリンダー箱錠 (レバーハンドル) とする (16.4.6)(16.5.6)(16.8.2)(表16.8.1) シリンダー箱錠、本締り錠の耐じん性能 ※グレード2 - ((2) 素地こしらえ 3. 錆止め塗料塗り	・仕上げ表に記載・・	18. 2. 2~7) による	(7. 8. 3、18. 3. 3、4)	
			・かん合形 合金板製			型り・シリカ糸 つやなし 耐候性※3種 ・可とう形複層塗材CE ・凸部処理 吹き ※アクリル系 ・()		なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける (16.8.2) 吊金物			鉄鋼面	西等 工程の種別 見え掛り部分 ※A種 · B種	塗料の種別	
			材料 ※JIS G 3322の屋根用コイル (CGLCCR-20-AZ150) - (・防水形複層塗材E ・ 凹凸状 付け・ボッウッ系 ・防水形複層塗材E ・ ウナギ町は ローラ・アウリシッ系		・丁番 (内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)・ビボットヒンジ				見え隠れ部分 - A種 ※B種 ・ A種 ・ B種		
	3) と い	・無し といの材種 (13.5.2、3)(衰13.5.5)			・防水形複層塗材RE ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10. 自動ドア開閉装置	開閉装置の性能値 (16.9.2~3) スライディングドア用 ※表16.9.1による ・図示			亜鉛めっき面	銅製建具	· A種 · B種 · C種	
		図示による	種別 材種 径 施工箇所 備考 ・配管用網管 ・ステンレス鋼管 SUS304 厚2			・軽量骨材仕上塗材 (15.5.2) (表15.5.1) (15.5.6)		スイングドア用 ※表16.9.2による 図示 駆動力 ※電気式または電動油圧式 ()		4) 塗装	・塗装の種別、種類・イ	±上げ表に記載 • (18.4.1~18.14.2) による		
			たてどい ・ ス ブンレス 刺目 ・ で			呼び名 防火材料の前定の有無		電源 ※単相1000(過電流保護装置付)・(センサーの種類 ※光線(反射)スイッチ・()		1)接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放	散量	(19. 2. 2)	
			軒どい ・ とい受金物 ※ステンレス製 ・鋼製 (亜鉛めっき) (13.5.2)(表13.5.3)			・吹付用軽量塗材 ・有 ・下級 ・無 ・準不燃 砂壁状 吹付け ・強燃 ・強燃		補助センサー ※安全光線スイッテ1組 ・ () を開閉装置傷に補助センサーを設ける 凍結防止装置 ・適用する (適用箇所は建具表による) ・適用しない	内		※規制対象外品・・・) () () () () () () () () () ((表19.2.1)	
			防 露 ※施工箇所は表13.5.5による ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量			・こて塗用軽量塗材 ・ 有 ・ 不燃 ・ 単不燃 ・ 平たん状 ・ 二て塗り ・ 難燃	11. 自閉式上吊り引戸機構		工事	② ビニル床シートG			(19. 2. 2) (19. 2. 3)	
	4.	ルーフドレン	※規制対象外品 材質等 表13.5.2による		. 下地処理 . マスチック塗料塗り	ALCパネルの場合 内部目地部の形状 ※V形目地付き (15.5.4) 種別 A種 B種 (仕上材塗り: EP-G ※B種 A種) (15.6.2)	12. 重量シャッター	(16. 11. 2~4) (表16. 11. 1)			種類 JIS記号 ※発砲層の ※FS (複層ピニ)			
		ステンレス表面仕上げ	%HL ⋅ () (14.2.1)	6.	. ロックウール吹付け	ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外・ (15.8.2) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外・ (15.8.2)		種 類 シャッターケース 耐風圧強度 閉閉形式 備 考 ・ 設ける N/㎡ ※上部電動式 ※危害防止機構			ないもの ・ ・発砲層の	・マーフ' A柄 ・耐動荷重性 ・ ・無地 ・防滑性		
	RE	アルミニウム及び	(14.2.2) (表14.2.1) 施工箇所 種別 皮膜又は複合皮膜の種類 傭 考			吹付け厚さ(mm) ・図示 -25 (15.8.3) 色彩 ・着色 ※原色		管理用ンヤツター 設けない (手動併用) ※障害物感知装置 上部手動式 (自動閉鎖型)			エ法 ※熱溶接工法・	・柄物 ・耐薬品性 突付け(施工箇所:)		
	I	アルミニウム合金の 表面処理						・防火シャッター ・外壁用 ・屋内用 ※設ける				評価値 (JIS A 1455)1.2以上~3.2未満		
	3.	鉄鋼の亜鉛めっき	陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色 (14.2.3)(表14.2.2) (施工箇所 亜鉛のっきの種別 備 考		. 防犯建物部品) アルミニウム製建具	・適用する (適用箇所 ・図示) (16.1.6) (16.2.2~4) (表16.2.1)		防煙シャッター 電動式の場合の電源 ※三相 200V 0.75kw以下(過電流保護装置付) -		3. ビニル床タイル G	又は、体積電	気抵抗値 (JIS A 1454)1×107~1×1010Ω程度	(19. 2. 2) (19. 2. 3)	
			施工箇所 亜鉛かっきの種別 備 考	≇ ■		提具性能等		スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 - JIS G 3302 - JIS G 3312		3. L=1/1/2911/19	寸法 JIS記号 ※300×300 · FT (複層ピニ)		(19.2.2) (19.2.3) 厚さ (mm) 備考	
	4.	轻量鉄骨天井下地	- 屋外の軒天井、ピロティ天井等 (14.4.3) 変 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・ ()	₽		・防音サッシ 適音性の等級() ・断熱サッシ 断熱性の等級() ・耐震サッシ 面内変形認証性の等級()	(13) 軽量シャッター	めっきの付着量 ※Z12又はF12 ((16.12.2~4) (表16.12.1~2) 開閉形式 シャッターケース 耐風圧強度 スラットの形状 ガイドレール 産板の材質			- 450×450 - 300×300 KT			
			周辺部の場からの間隔 ・図示 野縁の間隔 ・300程度 ・ ()			表面処理 - A-1種 - A-2種 - S-2種 - W-1種 - C-2種 - C-2		※手動式 **※設ける **・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			· 450 × 450 · TT ※500 × 500	· 柄物 · 防滑性 · 無地 ※帯電防止 ※		
			- 吊りボルトの間隔が900を超える場合 (14.4.4) 補強方法 ※図示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			結霧水の処理方法 ※図示 - (16.2.4) 水切り板、ぜん板 ※図示 - (16.2.5)		- 上の中型のス (手動併用) - 設けない - オーバーラッピング形 - 溶髄亜鉛めっき鋼板			- F0B 特殊機能	・柄物 ・防滑性		
			・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※(14.4.4)(h)(1)(2)による ・図示	3)網戸等	(16.2.3) 種類 材種 線径 網目		電動式の場合の危害防止機構 ※有(障害物感知装置自動閉鎖型) 電動式の場合の電源 ※単相 100V(過電流保護装置付)・()				評価値 (JIS A 1455)1.2以上~3.2未満 気抵抗値 (JIS A 1454)1×107~1×101 OΩ程度		
			天井のふところがmを越える場合 (14.4.4) 補強方法 ※図示			・ 合成樹脂製 ※0.25mm以上 16~18メッシュ ※ガラス繊維入り合成樹脂製		スラットの材質 銅板の種類 ・JIS G 3312 (めっき付着量 ※Z06又はF06 ・)			使用材料 下記に示す製造 製造所	所の製品程度とする 参 考 商 品 名		
			- 屋内外への耐震補強 ・ 行う ※行わない (14.4.4) 補強箇所 図示			- ステンレス (SUS316)製 - 防鳥網 ステンレス (SUS304)線材 1.5mm 網目寸法15mm	14. オーバーヘッドドア	・JIS G 3322(めっき付着量 ※AZ90 ・) (16.13.2~4)(表16.13.1~2))			2 12 IN IN		
			補強方法 図示 - 耐風圧性を考慮した補強 - 行う ※行わない (14.4.4)	4.	. 樹脂製建具	(16.3.2) (表16.3.1~3) 建具性能等 外部に面する建具 内部建具		セクション材料の区分 開閉方式によるの区分 耐風圧区分 ガイドレールの材質 収納形式 ※スチールタイプ ※バランス型 ・50 ※ステンレス鋼板 ・スタンダード形		4 ビニル幅木			(19. 2. 2)	
			補強箇所 図示 補強方法 図示			・サッシ性能等 ・A種 B種 C種 ・防音サッシ 遮音性の等級(・T-I ・T-2)		・アルミニウムタイプ ・チェーン型 ・75 (SUS304) ・ローヘッド形 ・ファイバーグラス ・電動型 ・100 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・ハイリフト形		5. カーペット敷き	材 質 ※軟質 ・硬質 ・タイルカーペット	※1.5以上 ※60 ・75	高さ ・100 3.2~4) (表19.3.1~2)	
		軽量鉄骨壁下地 金属成形板張り	スタッド、ランナーの種類 ※(表14.5.1)による ・図示 (14.5.3)(表14.5.1) スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示 ・ (14.6.2、3)(表14.2.1)			断熱サッシ 断熱性の等級 (・H-4 H-5 H-6)		タイプ ・125 ・パーチカル形 ・パーチカル形		5. ガーペット _{数と}	種別 パイルの ※第一種 ※ループパ	形状 寸法 総厚さ 色柄		
	0.	並属以が依依り	材種 ・アルミニウム ・() 製法 ※押出し ・プレス ・ロール			各性能を適用する謹具符号: 謹具表による	(15) ガラス・ガラスブロック	電動式の場合の危害防止機構 ※有 (等害物感知装置自動閉鎖型) 電動式の場合の電源 ※単相 100V(通電流保護装置付) () ※建具表による (16.14.2~4)			・カットパ		防汚加工品	
			寸 法 板幅 ※100 · () 板厚 ※1.0 · () 形 状 ※図示			表面色 ※標準色 ・特注色 (16.3.4) 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ (16.3.5)		・ガラスブロック 標仕16.14.5による (16.14.5)						
			表面処理 ・A-1種・A-2種・B-1種・B-2種・() 取付け用下地 ※(14.4)による ・図示											
			仲縮調整継手 ・設ける(施工箇所 ・図示 ・) ・設けない					<u> </u>			Т	T		
			設計年月日 設計 作図		有限会社	瀬口建築設計事務所		工事名称	図配	百名称		縮尺	図面N().
	+1	州森林管理	 局		 登卸	禄:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号	瀬口啓一	大分西部森林管理署		性 === 14 +* =	₽ 2	C-Noncool-		
	76	기계에게 타선				871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(09	79) –22–6085	院内森林事務所 新築工事	,	持記仕様	 3	S=Nonscale	A-4	•





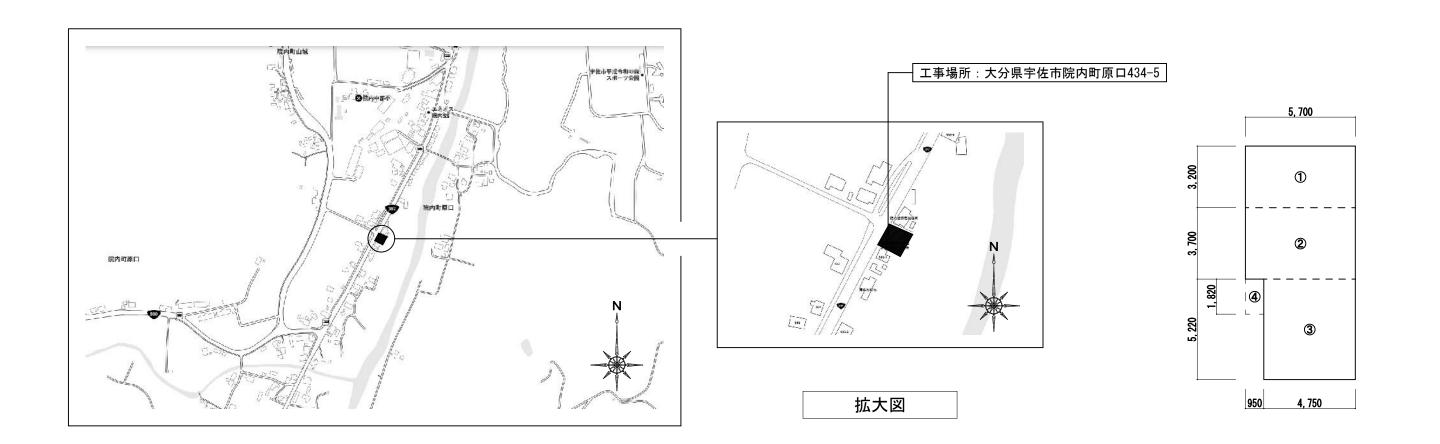
項	工事施工区分	建築(A)	電気(E)	設備(M)	別途	備	考
1	コンクリート躯体貫通スリーブ取付		•	•			
2	同上周囲補金						
3	鉄骨貫通スリーブ(溶接一体)						
4	天井切込み(天井下地含む)		•	•			
5	同上補強及び補修仕上(同上)						
6	床及び壁面の切込み開口(設備工事に関係のもの)		•	•			
7	同上補強及び補修仕上(同 上)						
8	床下トレンチ及びピット	0					
9	同上換気口						
10	床下点検用ハッチ(蓋・枠・縁上部仕上共)						
11	天井点検用ハッチ(同上)						
12	パイプシャフト点検用ハッチ(同上)	0					
13	発電機及びキュービクル基礎工事(補強筋共)						
14	同上アンカーボルト 箱入れ、穴開ナ						
15	屋内各種機器基礎工事(補強筋共)						
16	同上アンカーボルト 箱入れ、穴開ナ						
17	屋上設置用機器基礎工事(補金筋共)	0					
18	同上アンカーボルト箱入れ、穴開け			0			
19	機械室内消音断熱仕上						
20	シャッター(操作盤・スイッチ・操作線共)						
21	同上電源供給及び操作盤への接続工事						
22	自動ドア(操作盤・スイッチ・接続共)						
23	同上電源供給及びスイッチへの配管配線						
24	電気錠(本体)						

項	工事施工区分	建築(A)	電気(E)	設備(M)	別途	備	Ī	考
49	カーテン及びブラインド				•			
50	外部に面する吸排気ガラリ			•				
51	同上ダクト接続用金具			•				
52	ドアガラリ、換気口(内部)	•						
53	外部に面する換気口							
54	一般フード(厨房・調理・湯沸室等)			0				
55	外部に面するウェ ザーカバー			•				
56	壁付け換気扇類			•				
57	同上取付枠			•				
58	外部に面する換気扇取付後の防水シーリング			•				
59	天井埋込換気扇及びダクト、ベントキャップ			•				
60	防火区画等の貫通処理		0	0				
61	避雷針及び同接地工事							
62	自動制御用2次側配管・配線		0	•				
63	空調設備制御盤と2次側電気配管・配線		•	•				
64	動力設備制御盤と2次側電気配管・配線		•					
65	テレビ 電波障害近隣対策用配管							
66	電話交換機、試験台、MDF 類							
67	同上用直流電源装置、充電器、蓄電池類							
68	同上用配管入線工事							
69	電話機及び接続							
70	エレベーター(扉共)							
71	同上用三方枠							
72	同上電源供給							

項	工事施工区分	建築(A)	電気(E)	設備(M)	別途	備	考
25	電気錠電源供給及び接続機器						
26	煙感知器連動による防火戸自動開放閉鎖装置	0					
27	同上配管配線、レリーズ取付接続、受信盤取付		0				
28	煙感知連動によるシャッター自動閉鎖装置						
29	同上配管配線、リレーズ取付接続、受信盤取付						
30	液面電極棒(支持固定装置共)						
31	同上用リレー(制御盤内臓)						
32	液面電極棒とリレーとの配管配線接続工事						
33	屋内消火栓ボックス						
34	同上表示ランプ、組込ベル、発信機とその取付工事						
35	雨水樋及び養生管、ルーフドレン						
36	雨水竪樋末端と側溝又は雨水桝との接続工事						
37	雨水会所桝及び雨水排水工事						
38	雑排水桝、汚水桝及び排水工事						
39	側溝最終桝と 排水会所桝と の接続工事						
40	流し台、ガス台			0			
41	一般陶器製流し台						
42	厨房機器						
43	タオル掛、雑中掛						
44	吊戸棚						
45	紙巻器 · 手摺						
46	カガミ・洗面カウンター						
47	カーテンボックス、ブラインドボックス	•					
48	カーテンレール						

項	工事施工区分	建築(A)	電気(E)	設備(M)	別途	備	
73				DOM: 1417	77382	Vita	.,
	同上インターホン及び入線エレヘ゛ーター内配管・配線						
74	消火器ボックス	0		_			
75	消火器本体			0			
76							
17							
78							
79							
80	受電通水後竣工引渡し迄の電気、カ゛ス、上下水道使用料金	•	•	•			
81	同上 基本料金(電気)	•	•	•			
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							

	設計年月日	設計	作図	雪 類口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面 N 0.
九州森林管理局				登録: 大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一	大分西部森林管理署	工事区分表	N C	A_7
九州林林官垤周				〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	院内森林事務所 新築工事	工事区方衣	N, S	N-1



To the second se

付近見取図

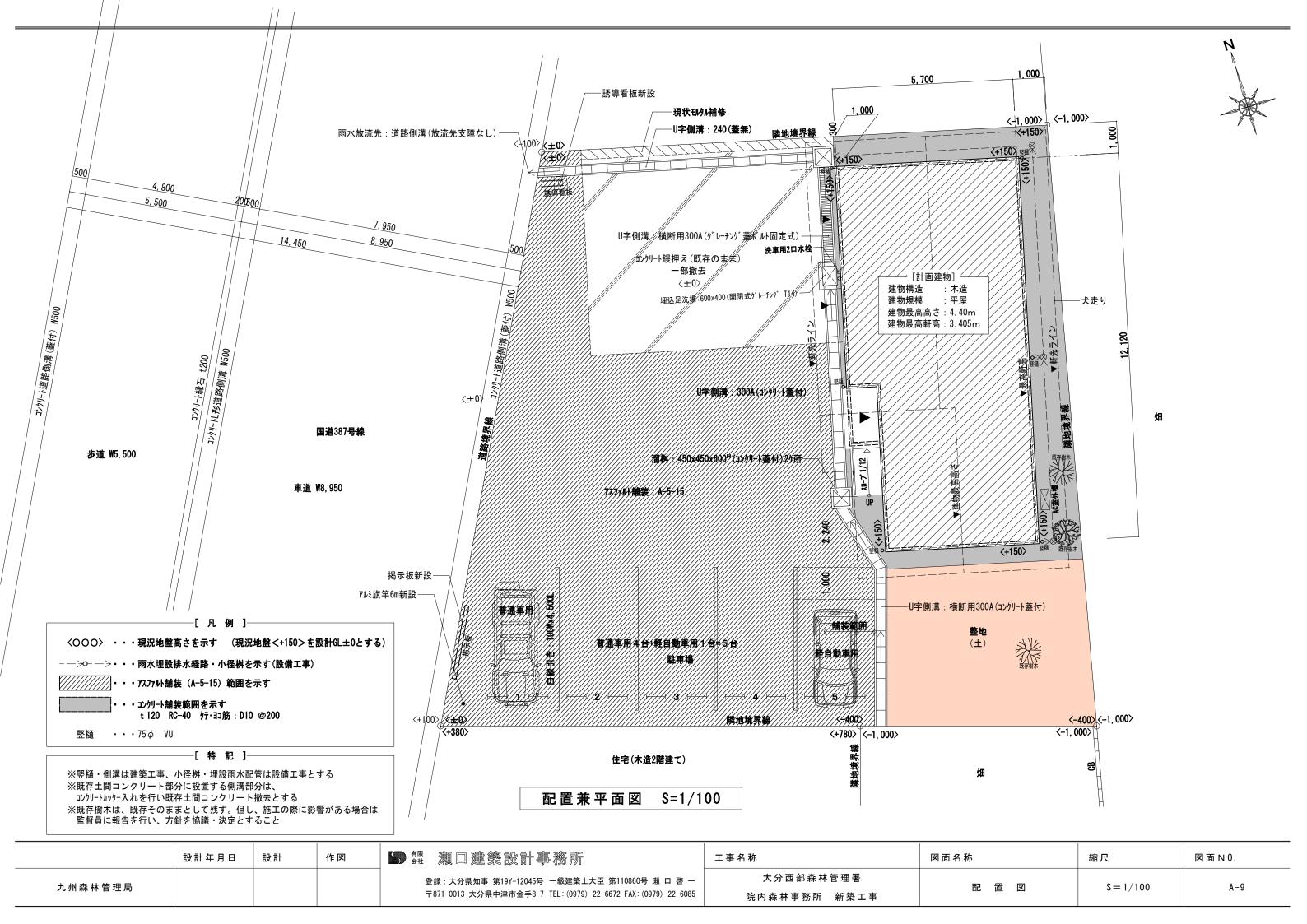
	敷地面積求積表										
番号	底	辺	高	ż	倍	面	積	面	積		
1	:	26. 82		10. 92		292.	. 8744	14	16. 43720		
2	:	26. 82		14. 00	14. 00 375. 4800				187. 74000		
			合	計				33	34. 17720		
			敷地面	ī積				33	34. 17 m²		

	建	物面積表	
番号	計算式		Ħ
1	3. 20 ×	5. 70	18. 24
2	3. 70 ×	5. 70	21. 09
3	5. 22 ×	4. 75	24. 795
4	1.82 ×	0. 95	1. 729
	1 階床面積(①+②+	+3)	64. 125
			64. 12 m²
			_
	延べ床面積(①+②+	+3)	64. 125
			64. 12 m²
	建築面積 (①+②+③)+④)	65. 854
			65. 85 m²

建物求積図 S=1/200

敷地求積図 S=1/200

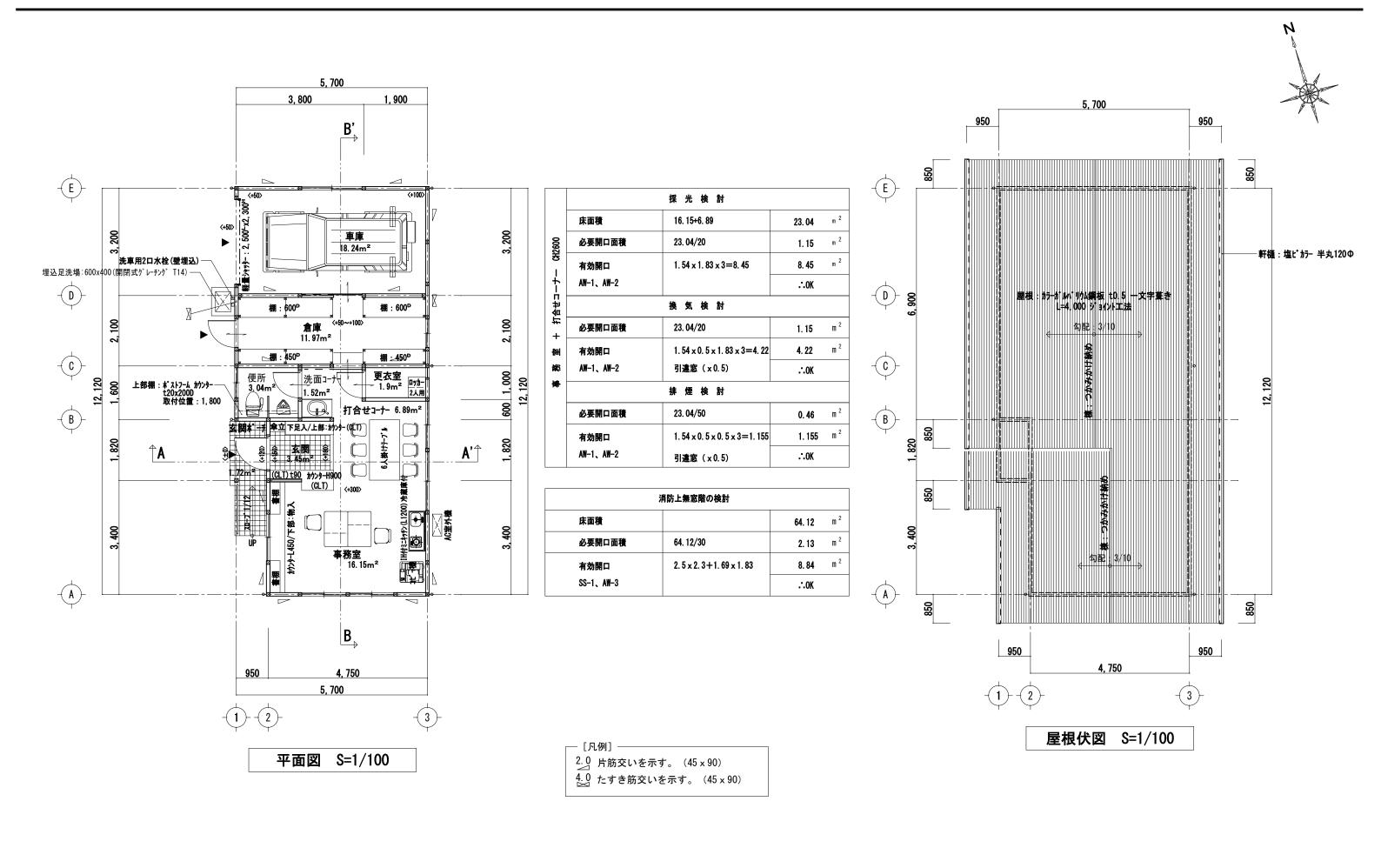
	設計年月日	設計	作図	\$ 類口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面 N 0.
九州森林管理局				登録: 大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	大分西部森林管理署 院内森林事務所 新築工事	付近見取図・面積表	_	A-8



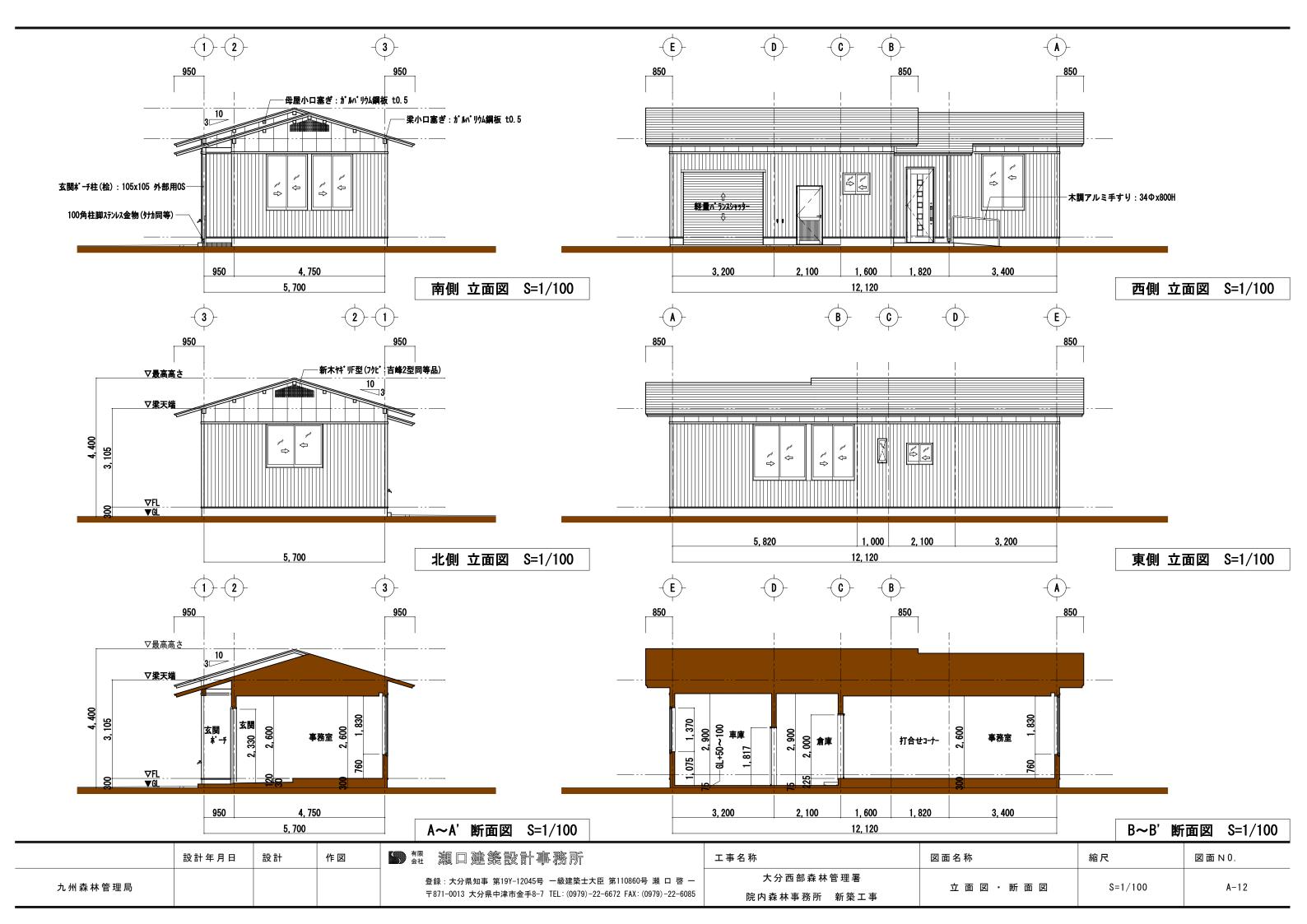
外部仕上表						
屋根	仕上:カラーガルバリウム鋼板 t0.5 一文字葺き L=4,000 ジョイント工法	外部巾木	コンクリート打放し(B種)		床:モルタル木鏝押え+150□磁器タイル貼(ノンスリップタイプ)	・洗車用2口水栓(壁埋込)
上 板	下地:構造用板(針葉樹) t12+7スファルトルーフィング	까마마자	3/77-Pf] 放し(D種)	│ 玄関ポーチ	│ 壁:外壁と同じ │ 天井:軒裏と同じ	・コンクリート足洗場:400 ^w x600 ^L 開閉式グレーチング(T14) (ヨドコウ同等品)
軒裏	化粧タル木(杉)+化粧野地板(杉) t12	外部腰水切	土台水切(サイディング専用水切り)	】	大弁:軒接と同じ 化粧柱、化粧梁、柱下沓SUS金物100×100(タナカ同等)	• 掲示板
干妆	16位7が小(や)で16位至7地位(や) に2	71、印度小列	工口小切(917-129 导用小切り)		※郵便受け(既存建物より移設)	- 誘導看板
外壁	外壁用グラスウール t100+透湿防水シート+窯業系サイディング(木目調) t14(縦張り)(通気構法)	₩	軒樋:塩ピカラー W150、樋受け金物 @垂木1本置き	λロ−フ°	床:モルタル木鏝押え+150□磁器タイル貼(スロープ用ノンスリップタイプ)	・7ルミ旗竿6m
クト空 (外壁通気構法)	矢切り部分:窯業系サイディング(シャトーウォール調) t14(通気構法) [外壁材:ニチハ同等品]	198 <u>8</u>	竪樋:塩ピカラー 75Φ、掴み金物 @≦1,000	スローノ (勾配:1/12以下)	木目調アルミ手摺Φ34(ナカ工業 グラウッド同等)	・舗装工事、区画線、車止め

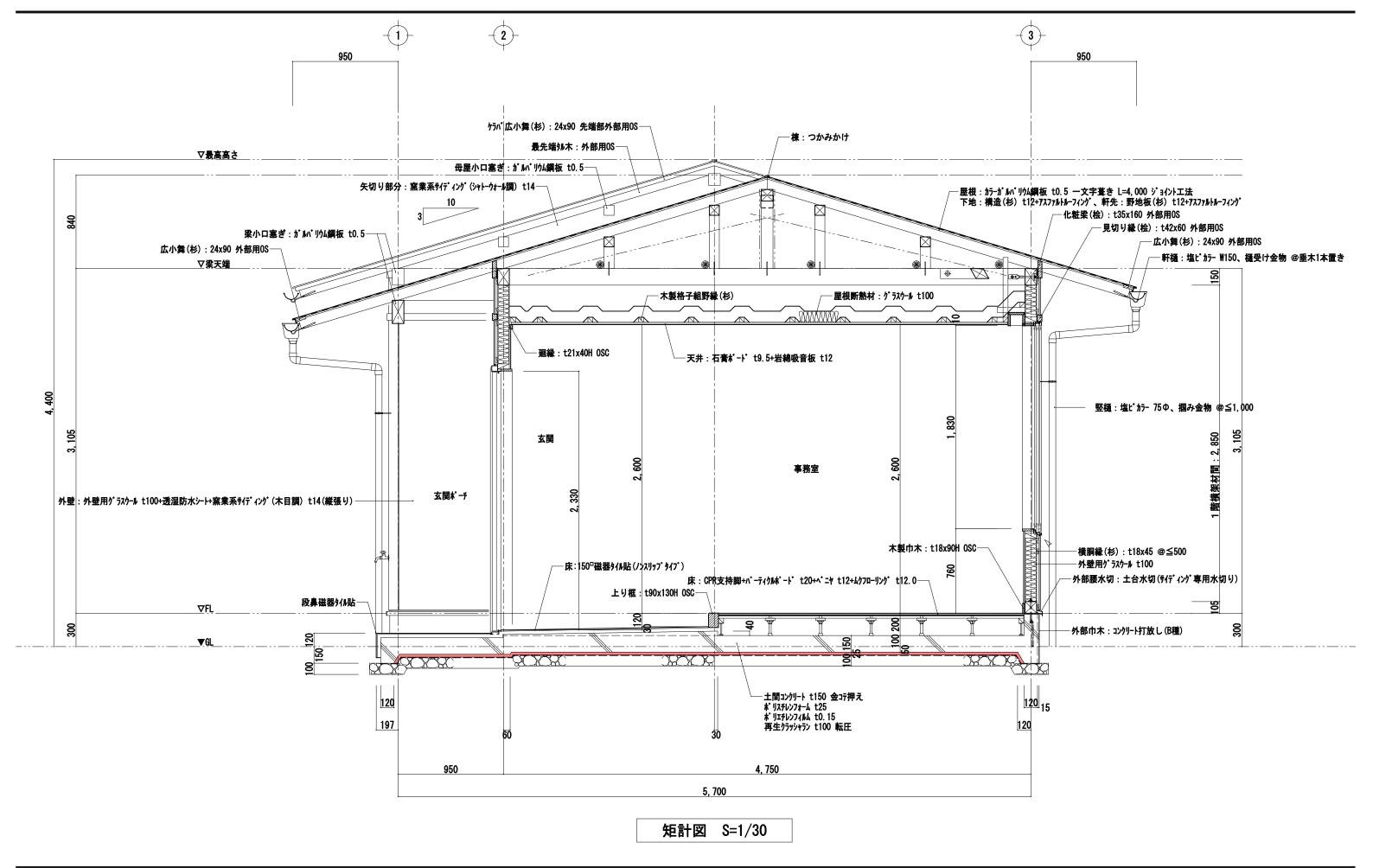
内部仕上表													
1階													
室名	床		巾木		腰	· 壁		天井	天井高	廻縁	A44 - 44		
主 石	下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	一 大井南	型線	備考		
玄関	モルタル木鏝押え	150□磁器タイル貼(ノンスリップタイプ)	木製:t18x90H	Н90	石膏ポート゚ t12.5	EP塗装	木製格子組野緑(杉)	岩綿吸音板 t12	2, 720	t21x40H	傘立(別途)		
公 民	てルブルイ装押え	100 NBA 1887 71 WHILI (7 2 X 7 7 7 7 7 7	OSCL	пэо	有質を下 LIZ.5	腰(H900):杉板 t12+0SCL	+石膏ポート゚ t9.5	石柿収百似 UI2	2, 750	OSCL	下足入れ/上部:カウンター(CLT)		
事務室・洗面	コンクリート金鏝押え+CPR支持脚(フクピ)	ムクフロ−リンク゚ t12.0	木製: t18x90H H90	木製:t18x90H unn	木製: t18x90H	8x90H Hoo ===	一声 は は 110 E	EP塗装	木製格子組野縁(杉)	出给m. 立七 +10	2, 600	t21x40H	書棚・カウンター(L450)/下部:物入・洗面化粧台
打合せコーナー	+パーティクルポード t20+ペニヤ t12	ДУ ЛИ-1999 L12. U	OSCL	пэо	一 石膏ポート゚ t12.5	腰(H900):杉板 t12+0SCL	+石膏ポート゚ t9.5	岩綿吸音板 t12	2, 000	OSCL	カウンター (CLT) · IH付ミニキッチン (L1200) 冷蔵庫別途・ブ ライント BOX		
声太安	コンクリート金銭押え+CPR支持脚(フクヒ・)	ムクフロ−リンク゚ t12.0	木製:t18x90H	H90	一方 は 1* ±10 E	EP塗装	十制 协 フ 如 献 经 / 长 /	20°70 3, 40 E	プトーン t9.5 2,500	t21x40H	2人用ロッカー(別途)		
更衣室	+パーティクルポード t20+ペニヤ t12	ДУ ЛИ-1999 - C12. U	OSCL	пэо	石膏ポート゚ t12.5	「「空表	木製格子組野縁(杉)	ジプト−ン t9.5	2, 500	OSCL			
便所	コンクリート金銭押え+CPR支持脚(フクヒ・)	ムクフロ−リンク゚ t12.0	木製:t18x90H	H90	** 110. EL-L1* 1* 10 0	/L-8+L-/-Le+C +-C	十割サフの取得(大)	20°70 5, 40 E	2, 500	t21x40H	洋風便器・ペーパーホルダー・手洗い器・手摺		
1天が	+パーティクルポード t20+ペニヤ t12	A77H-777 L12. U	OSCL	пэо	^*=7 t12+耐水ボード t9.0	化粧ケイカル板 t6	木製格子組野縁(杉)	ジプト−ン t9.5	2, 500	OSCL	便器・スクリーン・甲板(ポストフォーム:t20x135)・上部棚		
♣ (=		- 小川 本細切っ	モルタル金銭 t15	H240	T+ =0.4 (+c +0 0	EP塗装	十旬 世 7 如 取 经 / 大/	20°70 5, 40 E	2, 900	t21x40H	棚(450 ^P 、600 ^P) ホキ t12(3段)		
倉庫		コンクリート金銭押え	EP塗装	П240	珪酸カルシウム板 t8.0	「「空表	木製格子組野縁(杉)	ジプト−ン t9.5	2, 900	OSCL			
# r#=		=>.hil 人 紀 一二	₹ルタル金鏝 t15	U0.40	T+ XALE2.4.14C +0 0	ED 464	十年十つの取名(大)	20°70 3, 40 E	0.000	t21x40H	物掛け長押 t23x90H(取付位置:FL+1,800) OSCL		
車庫		コンクリート金銭押え	EP塗装	H240	珪酸カルシウム板 t8.0	ジウム板 t8.0 EP塗装 オ	木製格子組野緑(杉)	シ゚プト−ン t9.5	2, 900	OSCL			

設計年月日	設計	作図	● AR 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局			登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	大分西部森林管理署 院内森林事務所 新築工事	仕 上 表	S=Nonscale	A-10

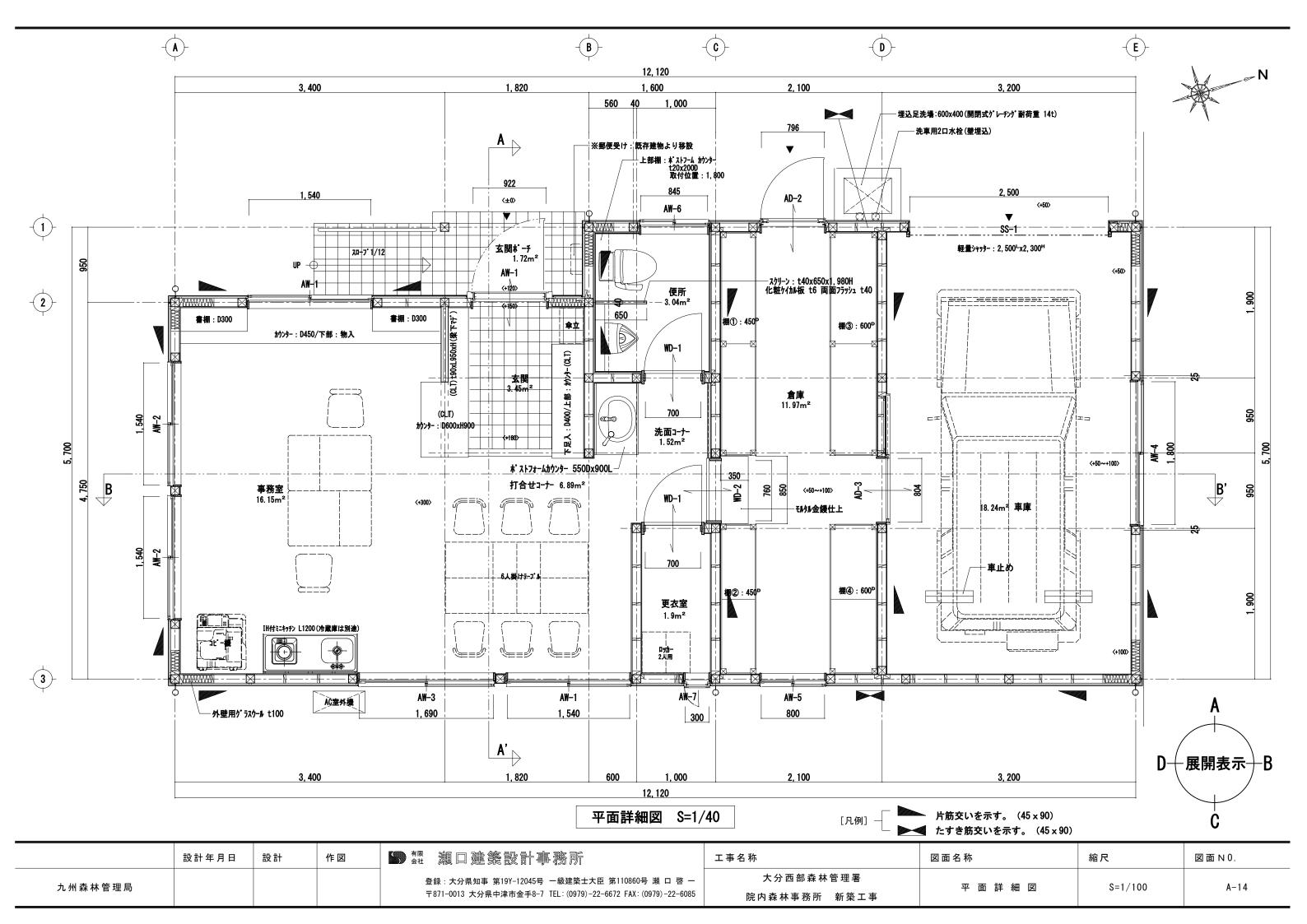


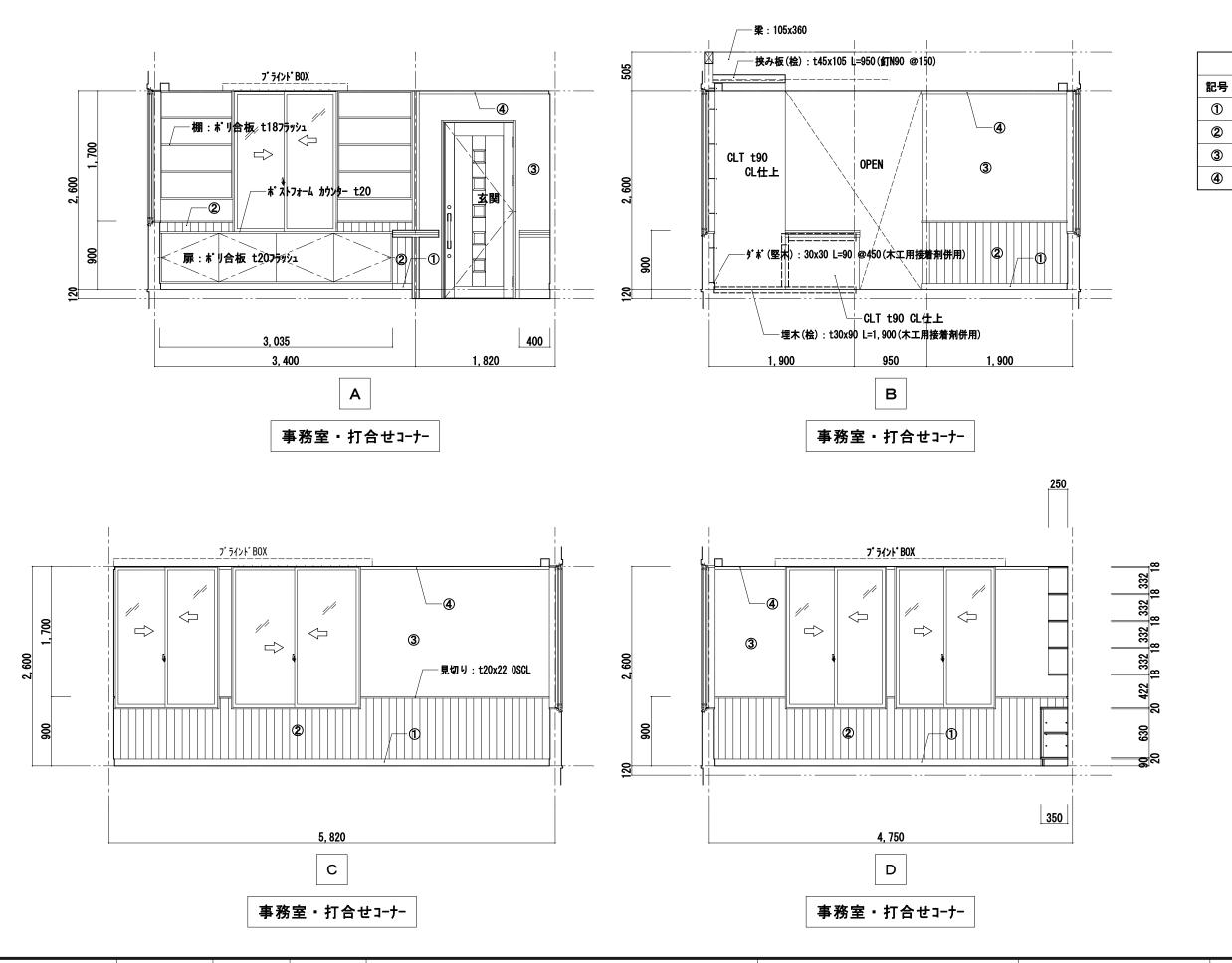
設計年月日	設計	作図	\$ 類口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面 N 0.
九州森林管理局			登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	大分西部森林管理署 院内森林事務所 新築工事	平面図・屋根伏図	S=1/100	A-11





	設計年月日	設計	作図	\$ 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局				登録: 大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一	大分西部森林管理署	矩 計 図	S=1/30	A-13
				〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	院内森林事務所 新築工事			





縮尺	

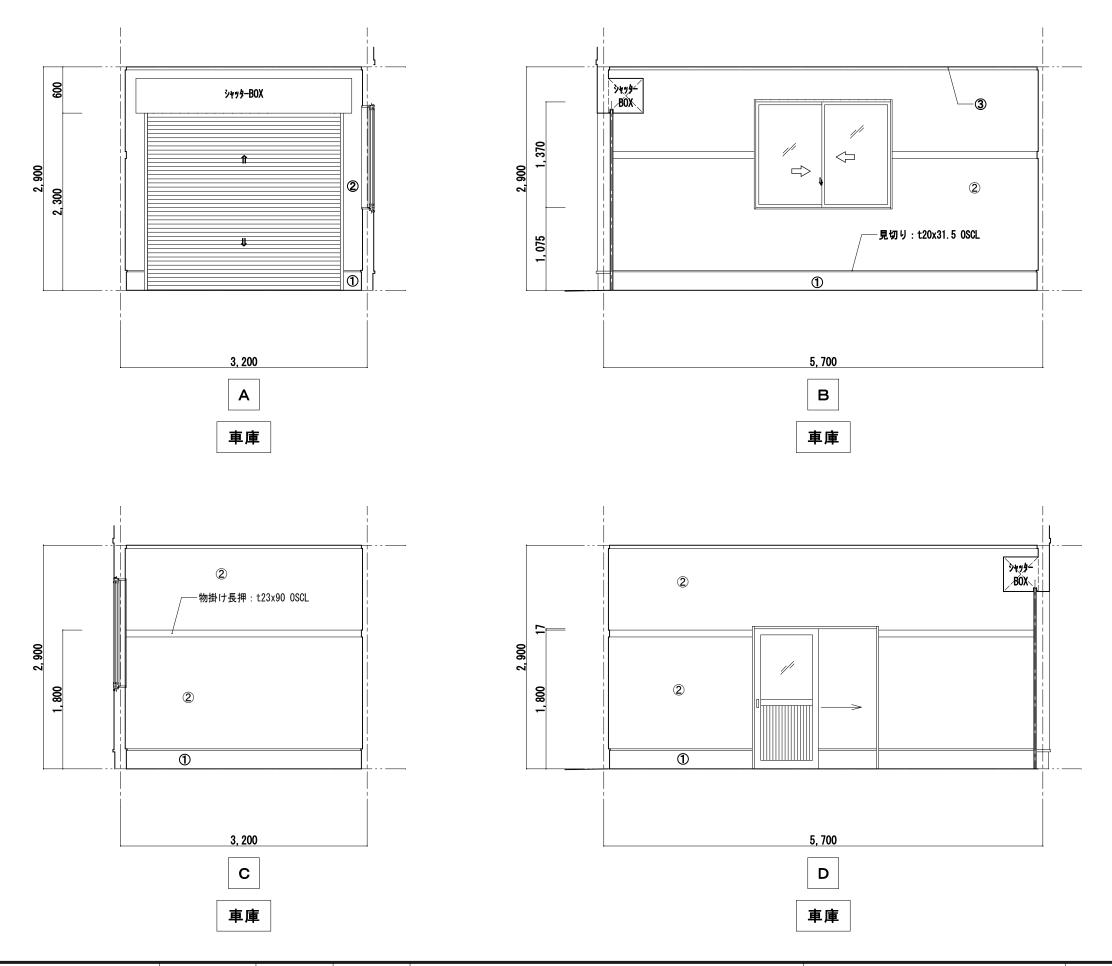
事務室・打合せコーナー仕上表

巾木:木製 t18x90H+0SCL

腰(H900): 杉板 t12+0SCL 壁: 石膏ポート゚ t12.5+EP塗装

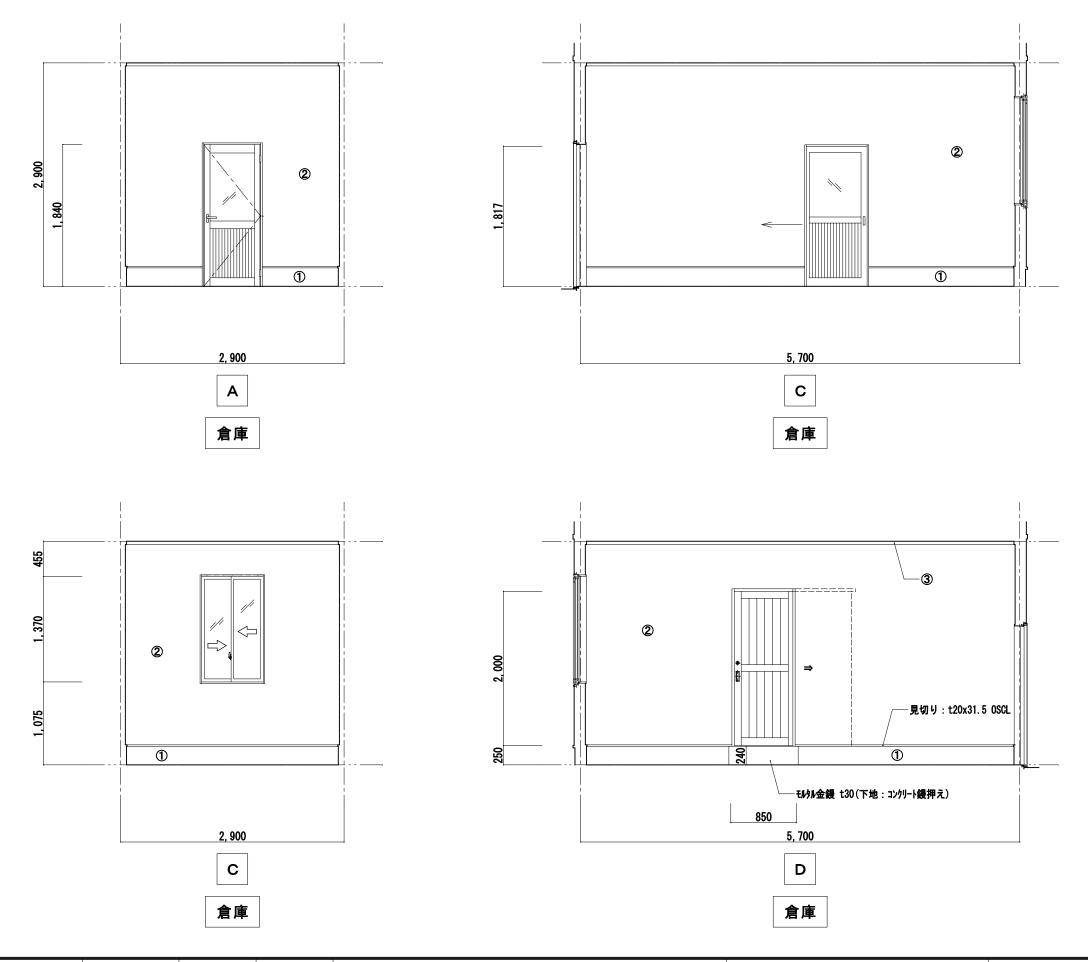
廻り縁:t21x40H+0SCL

仕 上



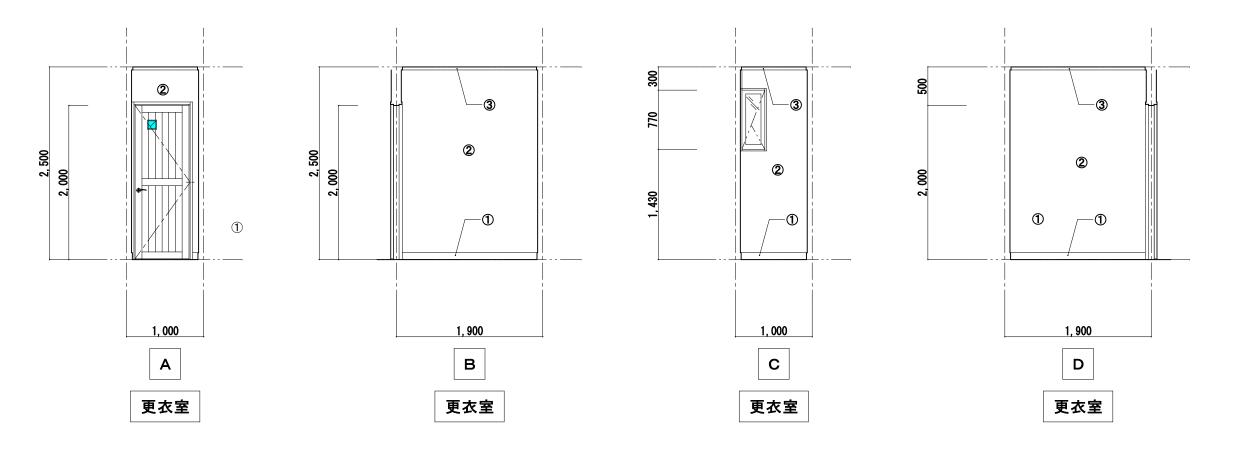
	車庫仕上表								
記号	仕 上								
1	巾木:モルタル金鏝 t15+EP塗装								
2	壁:珪酸カルシウム板 t8.0+EP塗装								
3	廻り縁:t21x40H+0SCL								

	設計年月日	設計	作図	圖 類口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局				登録: 大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一	大分西部森林管理署	展開図-2	S=1/50	A-16
				〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	院内森林事務所 新築工事	(車 庫)	5=1/50	7.10



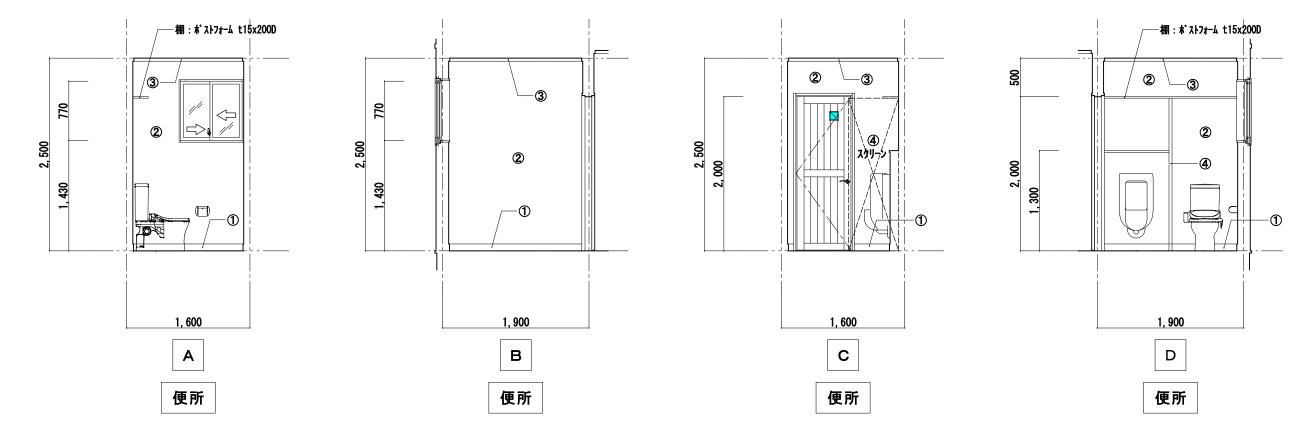
倉 庫 仕 上 表								
記号	仕 上							
①	巾木:モルタル金鏝 t15+EP塗装							
2	壁:珪酸カルシウム板 t8.0+EP塗装							
3	廻り縁:t21x40H+0SCL							

	設計年月日	設計	作図	劉 靈 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面 N 0.
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一	大分西部森林管理署	展開図一3	S-1/50	A-17
九州林怀旨垤朐				〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	院内森林事務所 新築工事	(倉 庫)	S=1/50	A-17

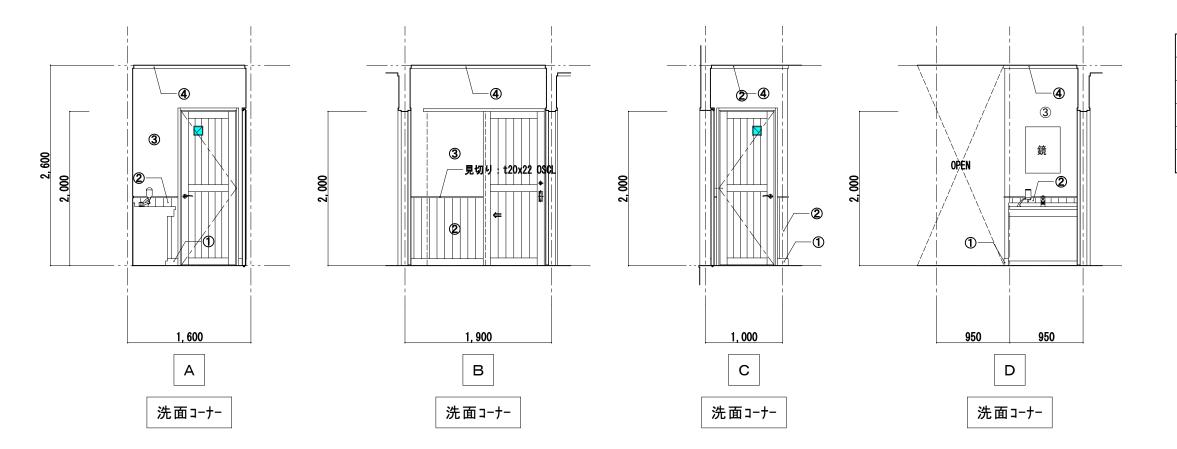


	更 衣 室 仕 上 表								
記号	記号 仕上								
1	巾木:木製 t18x90H+0SCL								
2	壁:石膏ポート゚ t12.5+EP塗装								
3	廻り縁:t21x40H+OSCL								

	便所仕上表									
記号	仕 上									
1	巾木:木製 t18x90H+0SCL									
2	壁: ^*=7 t12+耐水**-ト* t9 +化粧ケイカル板 t6									
3	廻り縁:t21x40H+0SCL									
4	スクリーン:t40x650x1,980H 化粧ケイカル板 t6 両面フラッシュ t40(見込み)									

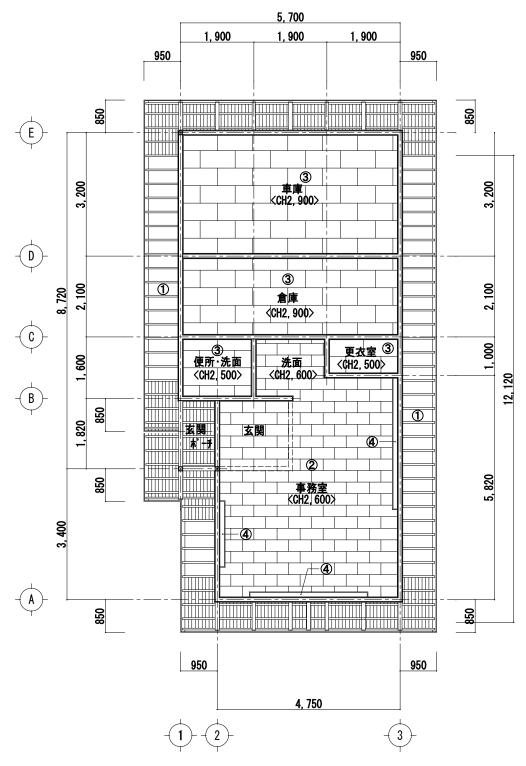


	設計年月日	設計	作図	圖 類口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面 N 0.
九州森林管理局				登録: 大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一	大分西部森林管理署	展開図ー4	S-1/50	A-18
				〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	院内森林事務所 新築工事	(更衣室・便所)	S=1/50	A-10



洗 面 コーナー仕 上 表								
記号	仕 上							
1	巾木:木製 t18x90H+0SCL							
2	腰(H900):杉板 t12+OSCL							
3	壁:石膏ポート゚ t12.5+EP塗装							
4	廻り縁:t21x40H+0SCL							

	設計年月日	設計	作図	分 類口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面 N 0.
九州本社签理已				登録: 大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一	大分西部森林管理署	展開図一5	S=1/50	A-19
九 州 森 林 管 理 局 				〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	院内森林事務所 新築工事	(洗面コーナー)	3-1/30	A-19

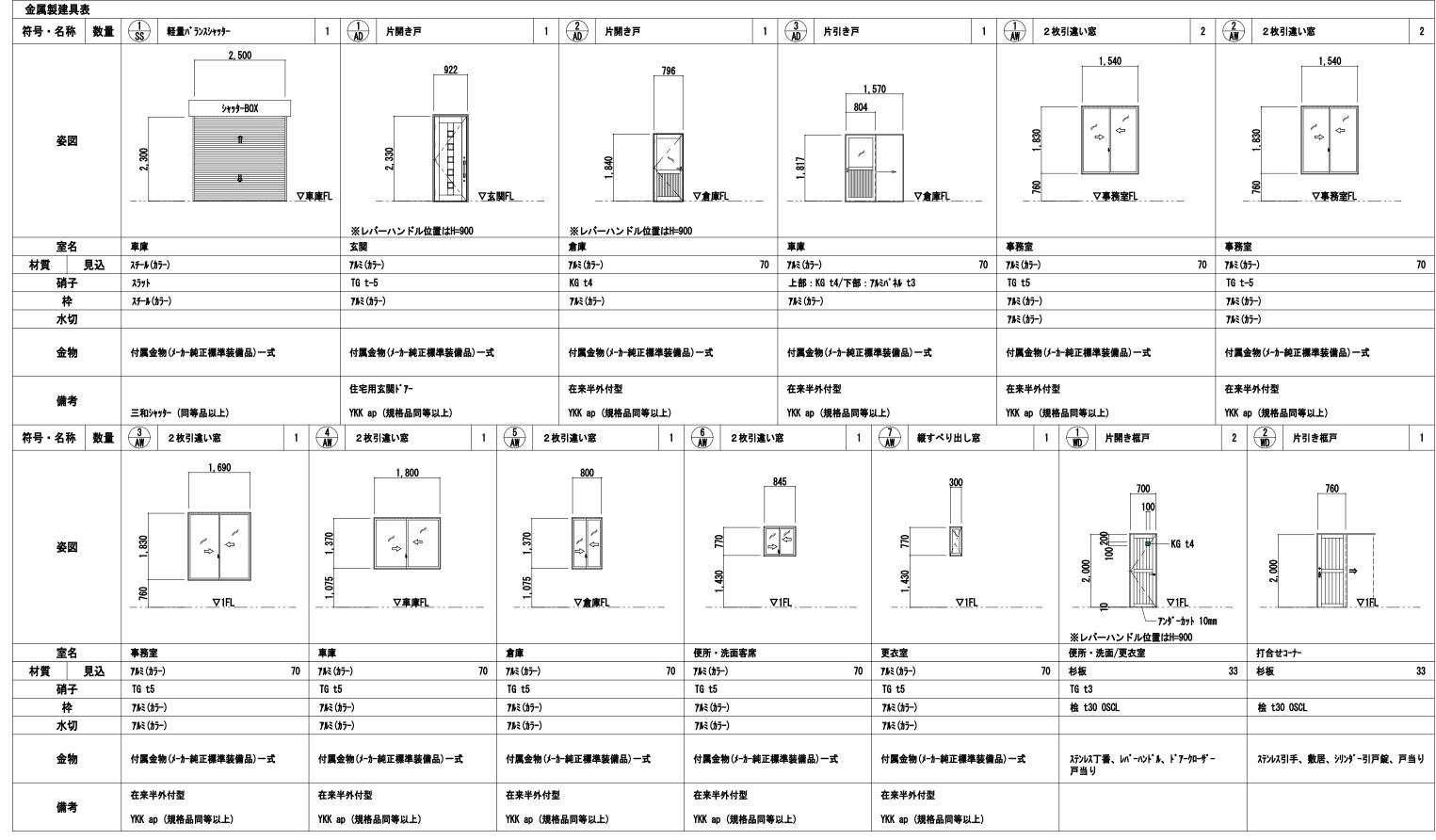




天井伏図 S=1/100

1	化粧垂木、化粧野地板
2	石膏ボード t9.5+岩綿吸音板 t12
3	ジプトーン t9.5
4	プライント゚B0X:t20x110ʷx100ʰ(建具長内法さ+2x150) アカ゚チス OSCI

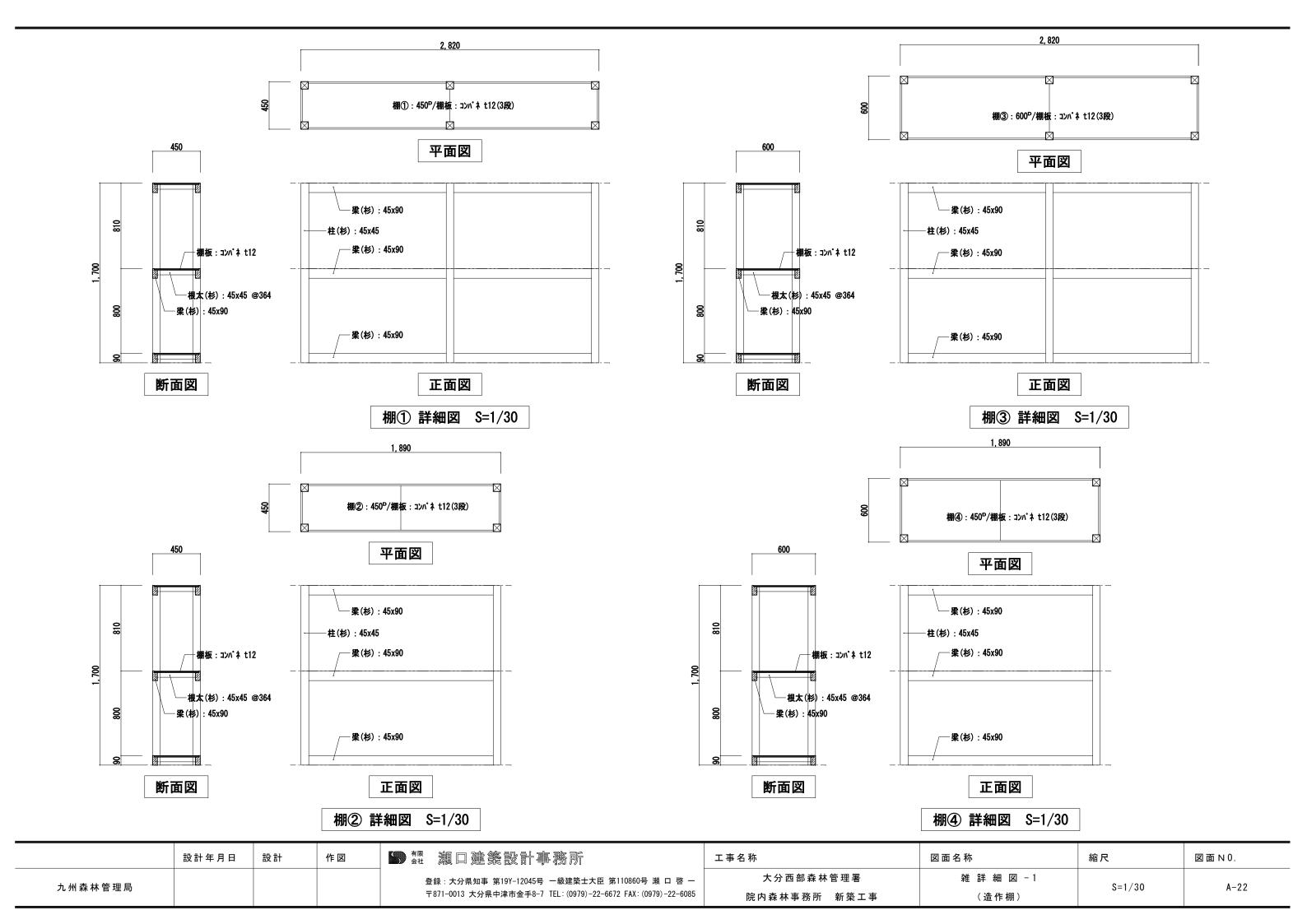
	設計年月日	設計	作図	\$P\$ 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州杰林德理民				登録: 大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一	大分西部森林管理署	天 井 伏 図	S=1/100	A-20
九州森林管理局				〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	院内森林事務所 新築工事	Λ π N Δ	3-1/100	A-20

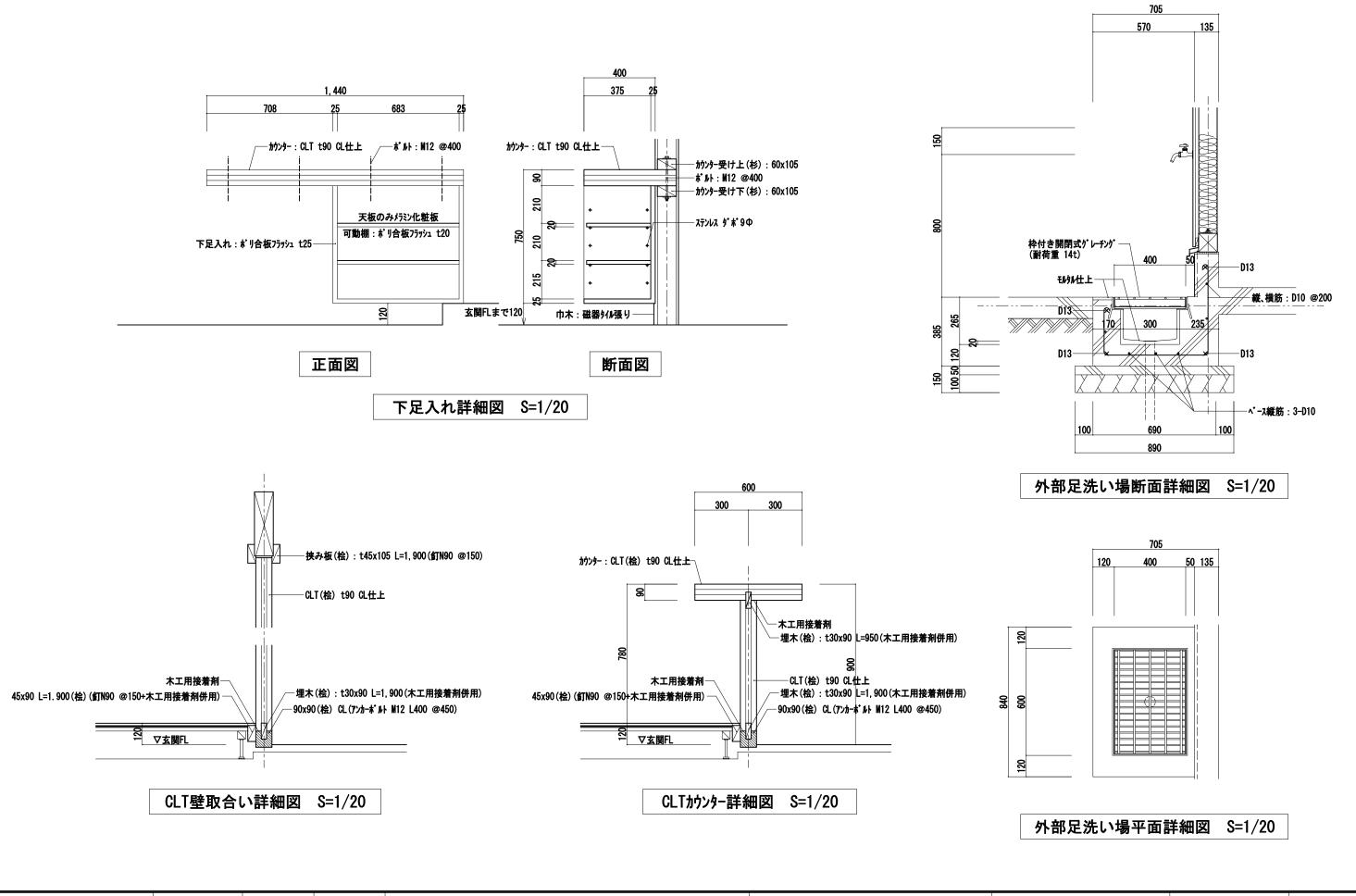


[特記事項]

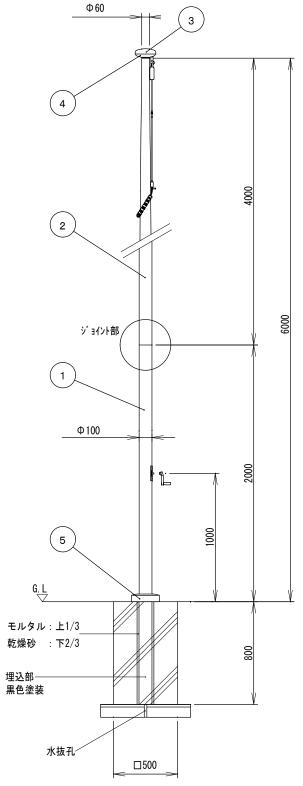
※建具キープランは平面詳細図参照

	設計年月日	設計	作図	写	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	大分西部森林管理署 院内森林事務所 新築工事	建具表	S=1/100	A-21





	設計年月日	設計	作図	劉 左 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一	大分西部森林管理署	雑 詳 細 図 - 2	S-1/30	A-23
九州林怀目垤问				〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	院内森林事務所 新築工事	(下足・足洗場)	S=1/30	H-23

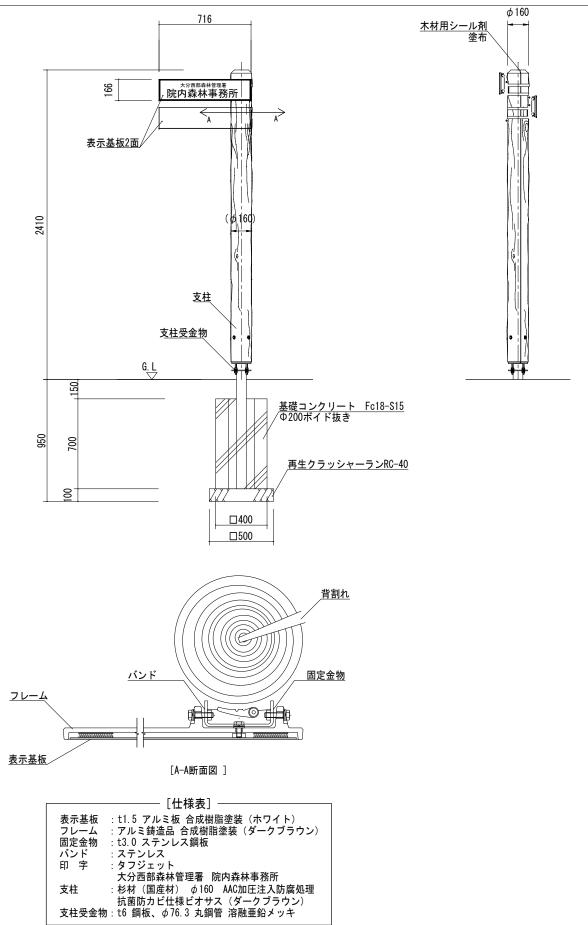


·/+	ŧ羊	丰	1

	表			
番号	品 名	材	質	備 考
1	ポール(下段)	アルミ合金継目無管	YBZTD-T8	アルマイト処理クリアー電着塗装 φ100 x t 2.8
2	ポール(上段)	アルミ合金継目無管	YBZTD-T8	アルマイト処理クリアー電着塗装 φ100 x t 2.3
3	キャッフ゜	アルミ合金	A1050P	アルマイト処理
4	回転部	ポリプロピレン樹脂	PP	
5	グ ランド セット	アルミ合金ダイカスト	ADC12	塗装仕上げ
6	ハンドル	クロムメッキ	ZDC2	駆動ユニットAC7A ドラムSCS13 ハウジングAC7A 回転グリップ

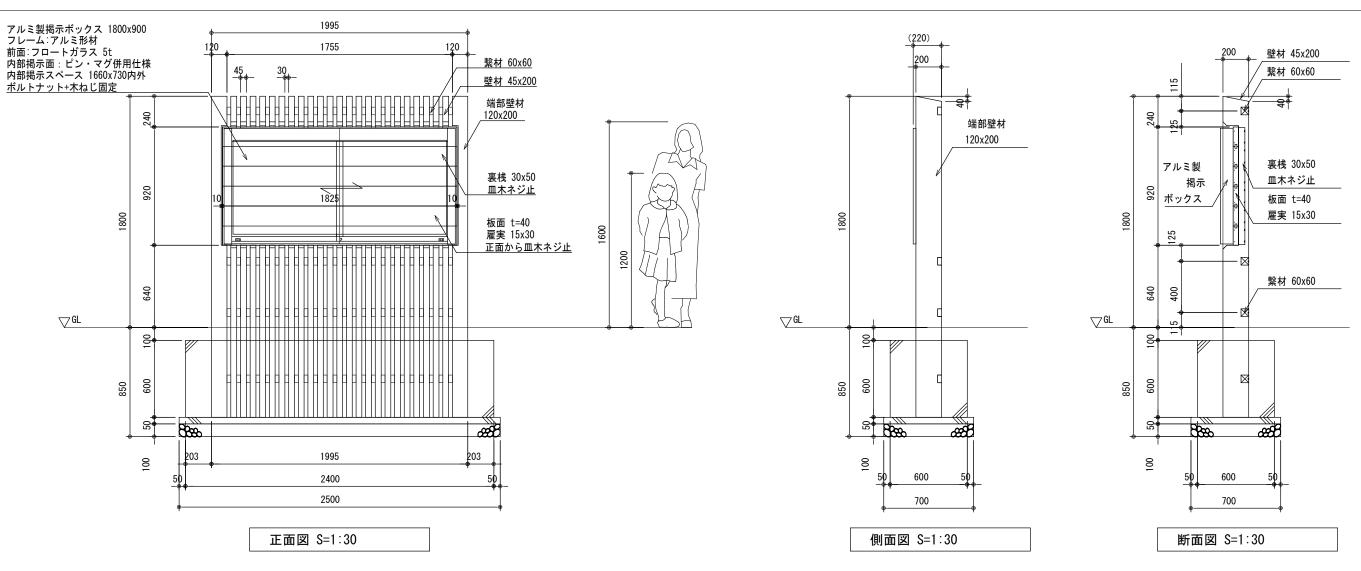
(株) サンポール FHH-6 目 同等品

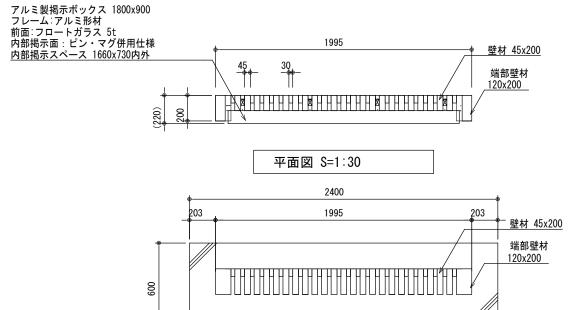




X	(株)	コトブキ	UC-S454202	同等.
			UU 34347UZ	IIII T

工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.	
大分西部森林管理署	雑 詳 細 図 - 3	S = 1/30	A-24	
院内森林事務所 新築工事	(旗竿·誘導看板)	3 – 1/30	A-24	





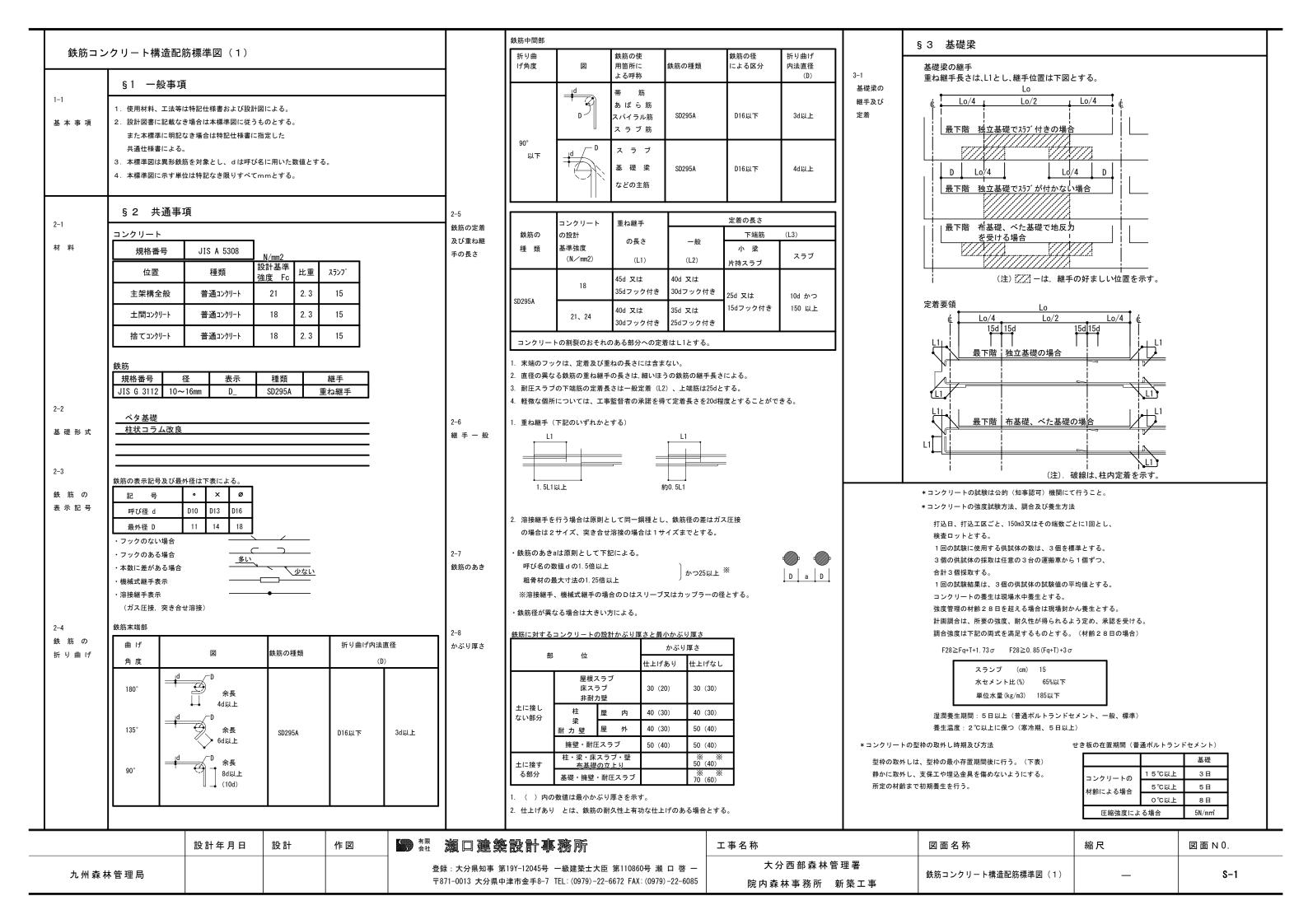
基礎伏図 S=1:30

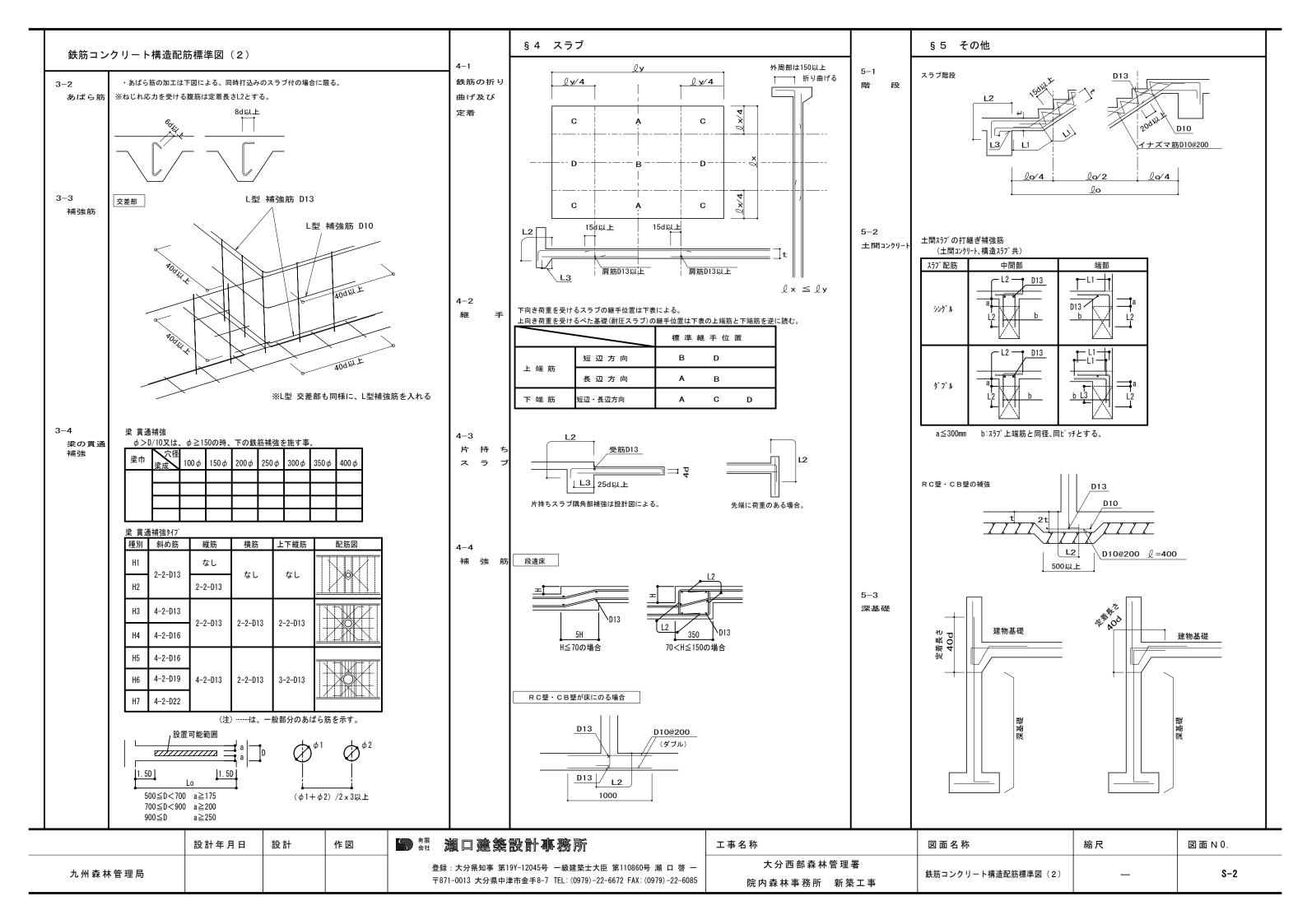
特記事項

付記争垻						
木材	木材は杉材(角材はプレーナー加工)を使用する。					
	木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。					
	木材は全て加工後、AZNA ペンタキュアECO30木材保存剤を加圧注入処理する。					
	加圧注入方法はJIS A 9002による。					
	本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。					
	木材の見え掛り部は面取を行なう。					
	木材の見え掛り部は木材表面保護塗料ワーメックスS(濃茶色)塗装とする。					
	柱の地際部は上下10 c mの範囲にサンプレザーOGR塗布とする。					
ボルト類	木ねじ類は、図示無き限り、ステンレスとする。					
	皿木ネジはブロンズ色とする					
その他	サインの表示面の内容については、監督員と協議の上決定とする。					
製品保証は2年、木部の腐朽に関しては5年の保証とする。						
本製品は(一社)日本公園施設業協会の総合賠償責任保険加入品とする。						
本製品は(一社)日本公園施設業協会のSP表示認定企業にて製作する。						
SPL製造表示ラベルの表示を行う。						
設計条件	や商品改良によって図面を変更する場合があります。					

(株) ザイエンス 格子案内板 XSIW-012-12

九州森林管理局	設計年	年月日 設	受計	作図	雪 飄口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
	九州森林管理局					大分西部森林管理署 院内森林事務所 新築工事	雑 詳 細 図 - 4 (掲示板)	S = 1/30	A-25





木工事・軸組工法工事 補足特記仕様書(その1)

(1) 適用範囲

本仕様書は、建築物及び工作物の構造上主要な部分における木質構造工事に適用する。 は、適用項目を示す。

(2)設計図書

設計図書とは本仕様書、設計図、指示書 (現場説明書および質疑回答書を含む)をいう。

(3)標準什様書

設計図書に記載無きものは「住宅金融公庫監修・木造住宅工事共通仕様書」及び 「国土交通大臣官房官庁営繕部監修・木造建築工事共通仕様書」に準ずる。 上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格かこれに準ずる規格を適用する。

(4) 設計図書の優先順位

設計図書の優先順位は下記による。

- 1. 指示書(現場説明書及び質疑回答書)
- 2. 設計図 3. 本仕様書
- 4.標準仕様書
- (5) 疑義

疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。

(6) 各種試験・検査報告書の提出

施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

(7) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出

工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。

(8) 施工図等の提出

工事に先立ち各種の施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモック アップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

(9) 製作工場の選定、承諾

設計図書に基づき、工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を 有する工場を選定し、監督職員の承諾を受ける。

(10) 各種試験・検査報告書の提出

施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

2. 材料の品質

(1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材

本項の内容は特記無き限り、針葉樹の構造用製材及び広葉樹の製材及び枠組壁工法構造用製材等 の日本農林規格に準ずること。

部 位	<u>品名</u>	樹種	区分、等級	含水率	その他
土台	構造用製材	ヒノキ	無等級	20%_	
柱	構造用製材	スギ	無等級	20%	
梁	構造用製材	スギ	無等級	20%	
母屋・垂木・大引 火打ち・小屋東	構造用製材	スギ	無等級	20%	

- □ 記入無き梁桁、母屋、タル木等の曲げ材のうち、見えがかり材は目視等級材の甲種2級、 見えない部分の木材は甲種3級とする。その他は乙種2級とする。
- □ 主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。
- □ 乾燥の際背割りを行う。但し見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。
- □ 含水率は平均含水率とし下地材等に用いる場合でも含水率D25以下であることを確認する。
- 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等に注意して材料を選定し、仕口 や接合部に欠点が当たらないように加工する。
- 材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級 1 級相当とする。

(2) 構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)

本項の内容は特記無きかぎり構造用集成材及び構造用単板積層材の日本農林規格に準ずること。

部 位	品 名 等 級	樹 種	曲げヤング係数区分 水平せん断性能区分	材面品質	接着性能	ホルムアルデヒド 放 散 量
I						

(3) 構造用合板、構造用パネル

本項の内容は特記無きかぎり構造用合板及び構造用パネルの日本農林規格に準ずること。

部 位	品 名	強度 等級	曲げ性能基準 合板 1 級	板面 品質	接着 耐久性	寸法(mm) 厚(巾×長)	ホルムアルデヒド 放_散_量
屋根	構造用合板	2級	_	C-D	特類	12mm	F☆☆☆☆
・構造用合板はで	きるだけ大きい。	法のもの	りを用いる。				

ここに示すファスナーや接合金物などは、木質構造の接合部に適用する。ファスナーや接合金物等 に錆を生じるおそれのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。 標準メッキ処理は、溶融亜鉛メッキ:MFZn -C、電気メッキ:EP-Fe/Zn 5/CM2とする。

(1) くぎ、木ネジ、特殊ネジ

種_類	材_質_	適_用_径	使用箇所 頭部/胴部の形状
□ CN町□ BN町□ ZN町□ GN町□ SN町□ SN町□ SN町□ SN町□ SN町□ SN町□ SN町□ S	・鉄 ・ステンレス鋼 ・鉄	N19~N150 CN25~CN150 BN25~BN125 Z N 4 5 ~ 9 0 GNF25~GNF125 3. 05 mm	耐力壁、床板、屋根 石膏ボード用 シージングインシュレイション ファイバーボード
□ 木ネジ □ 特殊ネジ □ コースレッド	軟鋼線材真鋳		

(2) ボルト、ナット

種_類	材_質	<u>適</u> 用 径	表面処理、部品等級など
■ 呼び径六角ボルト	· SS400	M3∼M36	・電気メッキ
□ 有効径六角ボルト	· SS400	M3~M20	
□ 全不ン六角ホルト	- 55400	M3~M36	
□ <u>ステフレスホルト</u> ■ アンカーボルト	• SS400	M12	
	30100		

・材質は鋼、ステンレス鋼、非金属。径と長さの組み合わせは「JIS B 1180」参照。

(3)座金

適用	材質	適用径	形状・表面処理 その他
	· S P C C (JIS G 3131)	M8~M24	・ <u>角座金・丸座金</u>
	· S P H C (JIS G 3141)		・電気メッキ

・座金は用途ごと(引張、せん断)に下表により使い分ける。

ボルト径に対	ボルト径に対する座金の大きさ			12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ	4. 5	4.5	6	9	9	13
	角座金の一辺	40	50	60	80	105	125
	丸座金の直径	45	60	70	90	120	140
せん断を受けるボルト	厚さ	3. 2	3. 2	3. 2	4. 5	6	6
	角座金の一辺	25	30	35	50	60	70
	丸座金の直径	30	35	40	60	70	80

(4) ドリフトピン、コーチスクリューボルト、ジベル、シアプレート、木栓

種_ 類	材_質	適用径・長さ	表面処理、その他
□ ドリフトピン(寸胴)	• S10C (JIS G4051)	φ12	・クロートメッキ
□ ドリフトピン(全ネジ)	· SS400、SNRM8∼12	φ16 ~ φ24	・電気メッキ
コーチスクリューボルト	·SWRCH10R	φ9~ φ19	・電気メッキ
(ラグスクリュー)	(JIS G 3507)		
□ スプリットリング	· S S 4 O O	ϕ 64, ϕ 102	
ロ シアプレート			電気メッキ
□ 木栓	· 堅木	M12~M24	

・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等で気乾比重0.6以上の広葉樹とし、節や目切れ等の欠点の無い ものとする。

(5)接合金物、鋼材

種別	材質	表面処理	適用、形状、その他
□ Zマーク			
□ Cマーク			
□ 引寄せ金物			
■ その他の金物			
■ 鋼材	· S S 4 0 0		形状は詳細図

(6)接着剤(接着接合)

ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とし、内容は特記による。

3. 材料品質の検査方法

現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の要領で受け入れ検査を実施し、監督職員 に報告する。また監督職員の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜取り 検査を実施する。社内検査で試験本数や抜取り率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を 満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行うこと。

(1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材

部材	確認する 仕 様	確認者	材種 等級	外観 検査	寸法 検査	表示	3水率 <u>測</u> 全乾重 量法	含水率 計	表示	ング係数 静的 試験	動的試験
梁	構造図	社内	100	100	100	検査後		20			
- 15	構造図	監理者 計内	100	100	100	木口記入 検査後		20			\vdash
柱	による	監理者	Ö	Ö	0	木口記入		Ö			
											\vdash

- ・監督職員欄の〇は立会い検査が必要であることを示す。
- ・材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。
- ・含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量法や動的曲げ試験
- は公的試験場にて行う。含水率計は(財)日本住宅・木材技術センター認定品を、曲げヤング係数は(社) 全国木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。
- ・全乾重量法や静的曲げ試験は1荷口につき確認する試験本数を示す。試験体は実際に使用する同 一部材の中から抽出し、木材の試験方法(JIS Z 2101)に準ずる。
- ・動的曲げ試験の判定基準は日本農林規格の針葉樹の構造用製材、合板、パネル、の強度区分材に 準ずる。
- 含水率測定は、乾燥作業直後に行う。
- (2) 構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)

材料	確認項目	確認の方法
構造用	部材、断面、長さ、数量	□ 製造工場の認定
集成材	<u>樹種、品名、強度、材面の品質、接着性能、ホルムアルデヒド放散量</u>	_ 書等の写し
構造用	「部材、断面、長さ、数量 樹種、曲げヤング係数、水平せん断、接着性能、ホルムアルデヒド放散量	□日本農林規格
構造用		(JAS)表示 の確認
合板	・ガム、妖皇 強度 <u>、曲げ性能、板面の品質、接着耐久性、ホルムアルデヒド放散量</u>	□ 立会い目視検査
構造用	寸法、数量	
パネル	強度、ホルムアルデヒド放散量	

(3) ファスナー

ファスナーの種類	確認項目	確認の方法
□ 〈ぎ	・材質、胴・頭径部、長さ、仕上げ	□ ミルシートの写し
□ 木ネジ類	・材質、径、長さ、仕上げ	■ 表示の確認
■ ボルト・ナット	・材質、径、長さ、仕上げ	□ 木栓曲げ試験
■ 座金	・材質、径、仕上げ	
□ ドリフトピン	・材質、径、長さ、仕上げ	
□ コーチスクリューボルト	・材質、径、長さ、仕上げ	
□ スプリットリング	・材質、径、形状、仕上げ	1
□ シアープレート	・材質、径、形状、仕上げ	1
_ □ 木栓など	・樹種、曲げ強度、比重	1

・設計図書に明記されたファスナーであることを確認する。同等性能のファスナーを用いる場合 には、監督職員に承諾を得ること。また必要に応じて立会いによる性能確認を実施 する。

(4)接合金物

接合金物	確認項目	確認の方法
■ Zマーク金物	・材質、形状、仕上げ	■ ミルシートの写し
□ Cマーク金物	Ⅰ・材質、形状、仕上げ	■ 表示の確認
■ 引き寄せ金物	・材質、形状、仕上げ	
■ その他の金物	・材質、形状、仕上げ、製造所	
□鋼材	・材質、形状、仕上げ、溶接	

・設計図書等に明記された接合金物であることを確認する。同等認定品や性能認定品を用いる 場合には、監督職員に承諾を得ること。

4. 耐久性 (防腐・防蟻・耐候処理)

- ・高耐久材の使用(注:製材の心材あるいは心持ち材又は集成材)
- ・工場処理材(注:現場の加工、切断、穿孔箇所等は、現場処理に準じる) JAS保存処理材 : K5 K4 K3 K2 A Q 認証保存処理材
- 現場処理(注:給排水用塩化ビニル管に接する部分は、管を保護する)
- ◆ 塗布 ・ 吹付 ・ 浸漬 (処理量 300ml/m2 、 処理回数 2回) 日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする

使用部位	高耐久材	工場処理剤	現場処理剤
土台		□ K3 □ ()	
FL+1200範囲内		□ K3 □ ()	
水周り		□ K3 □ ()	
その他		□ K 4 □ ()	

1種 2種 3種

(2)土壌処理

□防蟻薬剤による処理:薬剤(

特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等 以上の効力を有するものとする。 □防蟻薬剤による処理と同等以上の対策

□土壤処理省略 □北海道 □東北 □北陸

工事名称

注:処理範囲は、外周部布基礎の内側、内部布基礎の周辺20cm、東石等の周囲20cmを標 準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。

(3) 耐候処理(塗装)

□造膜型、□含浸型、・部位(

5 木材の加工

(数値は%を示す)

(1) 刻み時の注意

製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。

(2) 加工寸法の精度(下記の値を標準とする)

構造用製材、枠組み壁工法用構造製材の断面寸法 ■ 図面表示が挽き立て寸法の場合: ±1.5mm以下

■ 図面表示が仕上がり寸法の場合: ±1.5mm、-0mm以下

構造用製材、枠組み壁工法用構造製材の材長

■ 軸組工法の継手仕口の場合: ±1.5mm以下 ■ ボルト接合工法の場合 : ±5mm以下

集成材、構造用単板積層材

短辺: ■ ±1.5mm 長辺·■ +1.5%かつ+5mm以下

材長: ■ ±5mm以下 □ (

ボルト穴径: d+2.0mm (dはボルト径)

・ドリフトピンの穴径:d±0mm (d はボルト径)

(3) 表面仕上げ

■製材:プレーナー仕上げ

■構造用集成材:プレーナー仕上げ

(4) 面取り

□梁:() mm □柱:() mm

6.接合

(1) 仕口、継手の原則

・仕口、継手の方法は構造図による。一般的な適用慣例については、9. 軸組構法接合部標準仕 様による。

・採用する方法は監督職員の承諾を得る。

・仕口、継手の各部に作用する応力を考慮し、部材の引き抜けが生じないように、原則として羽 子板ボルトや木栓など、引張り抵抗をする補強部材を併用する。

(2) 釘接合

・釘は材の繊維に対して乱に打ち、割れを生じないように端距離、縁距離、釘間隔を大きく取る。

・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。 ・1ヶ所の釘の本数は2本以上とする。

・釘に錆を生じるおそれのある場合は、適切な防錆処理を施す。

・自動釘打ち機を使用する場合は、面材に釘がめり込まないようにする。そのために、釘打ち機 の圧力を弱めるか、最後は手打ちを用いるなどの方法による。

・構造用面材を耐力壁とする場合の釘打ち方法は「昭和56年建設省告示1110号」による。

・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。

・小口面に打たれた釘は、引き抜き方向に抵抗させることはできない。

(3) 木ネジ接合

・構造耐力上主要な部分において、木ネジを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。

・小口面にねじ込まれた木ネジは、引抜き方向に抵抗させることはできない。

・木ネジの先孔の径: 針葉樹・・・主材 0.6d、側材 0.8d (dはポルト径)

広葉樹・・・主材 0.8d、側材 1.0d

(先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。)

・ねじ込みには適切な道具を使い、ハンマーなどで打ち込んではならない。

・ねじ込みを容易にしたり、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。 (4) ボルト接合

・締め付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適しているものである

ことを確認する。

・ボルト接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、ボルト本数を適切に増加する。

・ボルトの締め付けは、座金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締め付け を完了する。

・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。

・一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだもの については再度締め直しを行う。

(5) コーチスクリュー接合

・構造耐力上主要な部分において、コーチスクリューを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 ・コーチスクリューの配置間隔、縁距離および端距離、使用する座金は同じ胴部径のボルトに準

・胴部の先孔の径は胴部と同径とし、長さも胴部と同寸とする。

・ネジ部の先孔の径:比重0.4以上の樹種・・・ネジ径の 60~70%

その他の樹種・・・・・ネジ径の 40~70% (長さはネジ部の長さと同寸とする。)

・コーチスクリューは先孔にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んではなら

・ねじ込みを容易にするためや、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。

(6) ドリフトピン接合

・ボルトやコーチスクリュー等と併用し、ドリフトピンの変形にともなう部材の開きを防止する。

・ドリフトピンは孔に密着させる。

・一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだ ものについては再度締め直しを行う。

縮尺

設計年月日 設計 作図 九州森林管理局

多 類口建築設計事務所

登録: 大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一 〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL: (0979)-22-6672 FAX: (0979)-22-6085

大分型	部森	林管	理 署

院内森林事務所 新築工事

木工事・軸組工法工事 補足特記仕様書(その1)

図面名称

S-3

図面N0.

木工事・軸組工法工事 補足特記仕様書(その2)

- ・木部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点に注意し、彫込み・打ち込みまたは圧入に 際して割れを生じないよう、ジベルの種類に応じた断面と余長をもたせる。
- ・接合材は十分圧着させる。木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについて は再度締め直しを行う。
- (8) 既成金物の接合
- ・羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かね折り金物および箱金物などの取り付けは、それぞれ の仕様に基づき、接合両材の間が密着するように締め付ける。
- ・接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。 ・接着剤を用いた接合を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従うとし、実験によっ
- て接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合はその際の作業条件を標準とする。
- (10) その他の方法による接合
- ・使用材料および使用方法は構造図によるものとし、監督職員の承諾を得る。

7. 運搬・建て方

(1)輸送計画

製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分 な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。

□ 輸送計画書の提出 「

(2)集積・保管

集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。降雪 や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが 発生するため避ける。 口 集積場の確認 〔

(3) 建方計画

■ 建方計画書の提出

アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、 養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。

建方作業中および作業後、横架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは 柱に大きな引張力を与えるなどの場合は管理者の承諾を受ける。また、強風などによる諸外力に 対しては、必要に応じて仮設補強等の処置を施す。

- 施工時の安全性に対する検討書の提出 □ 施工時荷重条件の通知
- (5) アンカーボルトの施工
- ・芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合せて適切な機器等で正確に行う。
- ・アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。 ・アンカーボルトはダブルナットとする。 口適用除外 〔
- ・土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。
- ■通り芯からの誤差 : ■±3mm以下 □〔
- ・柱脚部に接合金物(製作金物)を使用する部位については下記の数値を受け入れ基準とする。
- □ 柱据え付け面:基準高さからの誤差 ±2mm以下
- □ 柱隣接間中心距離の誤差e1 ±2mm以下
- □ 通り芯からの誤差e2 ±2mm以下 L±e1 a:芯からの離れ L:スパン距離
- (6)建方精度
- ・建方の精度基準は下記による。
 - : □ e≦H/2500+10mm かつ e≦50mm П (■梁の水平度 e≦L/ 700+5mm かつ e≦15mm (節点間のレベル差) 🛘 〔 ■建物のわん曲 : 🗆 e≦L/2500mm かつ e≦25mm

 - ■柱据え付け面の高さ及び位置 柱据え付け面の基準高さからの誤差 □±2mm以下 □〔 通り芯からの誤差 □±2mm以下 □〔 **□-5mm≦∆H≦+5mm** 階高
- ・建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。

- (7) 施工状況の検査
- ・アンカーボルト施工時の立会い検査
- 目視による精度確認 □ 計測機器による精度確認 アンカーボルト径、間隔 □ 施工者自主検査記録の提出〔
- □ 目視による精度確認 □ 計測機器による精度確認 □ 材料の加工寸法検査
- □ 施工者自主検査記録の提出〔
- 建方時の立会い検査

地組み時の立会い検査

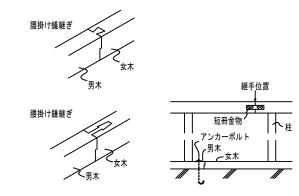
- 目視による精度確認 計測機器による精度確認 材料の加工寸法検査 □ 施工者自主検査記録の提出〔
- 建方後の施工状況の検査
- 防腐・防蟻処理 □ 材料の加工寸法検査 □ ファスナーの施工状況 ■ 接合金物の施工状況 □ その他〔
- □ 施工者自主検査記録の提出〔
- 最終確認

工事中に発生するボルトの緩み、ファスナーおよび接合金物に影響する材の割れ、接着面の はがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やか に監督職員に報告し対応策を協議する。

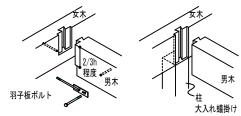
□ 施工者自主検査記録の提出〔

8. 軸組構法接合部の標準仕様

- (1) 横架材同士の継手
- 1. 土台、梁:腰掛け蟻継ぎ、腰掛け鎌継ぎ
 - ・継手は梁及び筋交いを受ける柱間を避け、柱より持ち出す。
- ・上木先端部が受け材芯より150mm内外になるように下木を持ち出し、上端を揃える。
- ・長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
- ・逆せん断と引張の補強として短冊金物または羽子板ボルトを併用すること。
- ・継手は束の位置を避け束より持出して、腰掛鎌継ぎ又は腰掛蟻継ぎとし、 N75釘2本打ちとする。
- - ・継手は床束芯より150内外持出して、腰掛鎌継ぎ又は腰掛蟻継ぎとし、 N75釘2本打ちとする。



- (2) 横架材どうしの仕口
- 1. せん断力が母材全断面の3割以下の仕口: (大入れ) 蟻掛け
 - ・長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
- ・逆せん断と引張の補強として羽子板ボルト等を併用する。
- ・男木の梁せいが女木の2/3以下の場合か、仕口直下に柱がある場合には、大入れとして もよいが、そうでない場合は男木のせいの2/3程度の顎をかける。

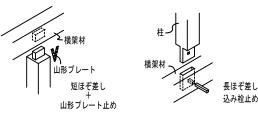


- 2. せん断力が母材全断面の3割を超える仕口:梁受け金物
 - ・既製品の場合は金物メーカーの許容せん断耐力の値を用い、特注品の場合は構造計算で 許容せん断耐力を算出して安全性を確認すること。
- 3. 一方を片持ち梁とする場合
- ・逆せん断の補強として羽子板ボルト等を併用すること。
- 4. 大引きの土台との取り合い
- ・大入れ蟻掛け、腰かけ又は乗せ掛けとし、いずれもN75釘2本斜め打ちとする。

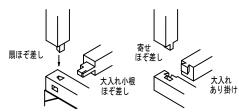
(3) 柱と横架材の仕口

1. 柱の上下端部:短ほぞ差し、長ほぞ差し込み栓止め

・短期の引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により、 必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。

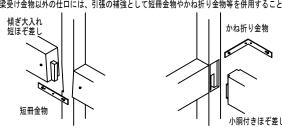


- 2. 土台の出隅入隅部
 - : 土台同士は大入れ小屋ほぞ差し割りくさび締め、大入れあり掛け又は片あり掛け 柱脚部は扇ほぞ差し又は寄せほぞ差し
 - (但し、柱勝ちの場合、落とし蟻又は土台をて寄せほぞ差しとする。)
- ・短期の引張り力に対しては、平12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により、 必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。

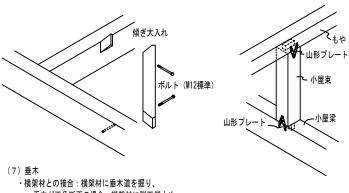


3. 通し柱と胴差し:小胴付きほぞ差し、傾ぎ大入れほぞ差し、梁受け金物

・梁受け金物以外の仕口には、引張の補強として短冊金物やかね折り金物等を併用すること。



- (4)筋かい端部
- 平12建告1460号の例示仕様又は同等品とする。
- (5) 火打ち、方杖
- ・角材を用いる場合の端部は、 傾ぎ大入れ+ボルト締めとする。
- ・Zマーク鋼製火打ち又は同等品としてもよい。
- (6) 小屋東の上下端部
- ・短ほぞ差し又は長ほぞ差し込み栓止めとする。
- ・風圧力による引張力の補強として、構造図に定める金物による接合をする。



垂木が正角断面の場合、横架材に脳天釘止め 垂木が縦長角断面の場合、斜め釘2本+転び止め

- ・継手:乱に配置し、母屋上端でそぎ継ぎとし、釘2本打ちとする。
- ・風の負圧の補強:軒先部の留めつけは、許容応力度計算により算出された 必要耐力を有するひねり金物等を取り付ける。
- ・軒先部以外の留めつけ:受け材当たりN75釘で両面を斜め釘打ちとする。 ただし、垂木のせいが45mm程度の場合は、N100釘を脳天打ちとしてもよい。



- (8) 間柱と横架材
- ・上下横架材に深さ3mm程度大入れ+釘N75斜め釘上部ほぞ差し、下部突き付け+釘N75斜め釘
- (9) 釘の最小間隔及び最小端あき距離

15d 12d 5d 5d

1 0)ボル	トの最小間隔及び最小		(<u>d : ボルト径、t : 主材厚)</u>
		加力	方向	El Pl El S
		繊維方向	繊維直交方向	
辨辭	E1	7d(荷重負担側) 4d(荷重非負担側)	7d	<u> </u>
繊維方向	P1	7d	t/d=2 3d 2≦t/d<6 3d∼5d t/d>6 5d	
繊維直	E2	t/d≦6 1.5d t/d>6 1.5dかつP2/2	特記による。特記のない 場合は以下の数値とする。 4d(荷重負担側)	
繊維直交方向	P2	3d	<u>1.5d(荷重非負担側)</u> 4d	
				EI PI

	設計年月日	設計	作図	■ ^{有限} 瀬口建築設計事務所
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085

工事名称 大分西部森林管理署

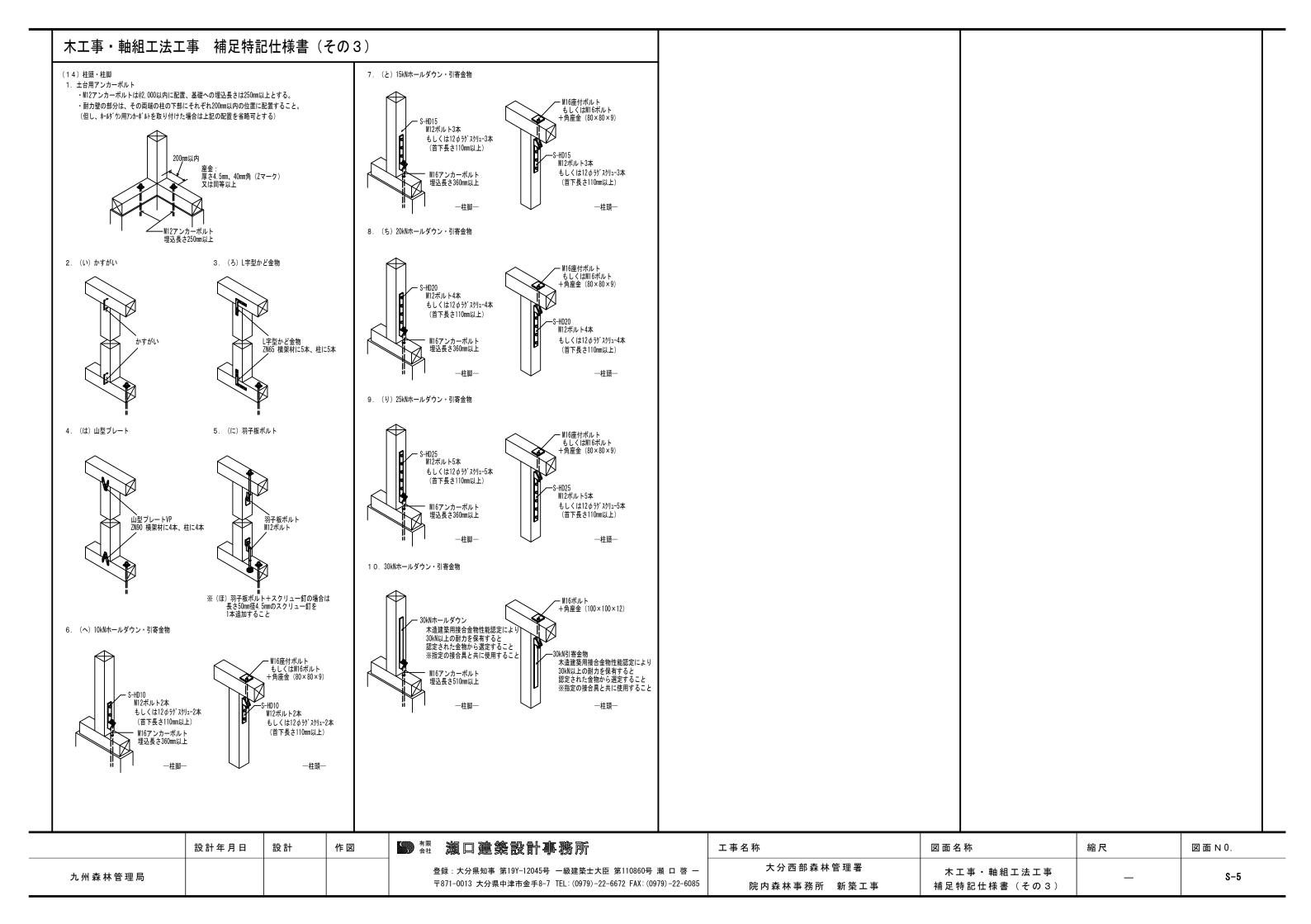
院内森林事務所 新築工事

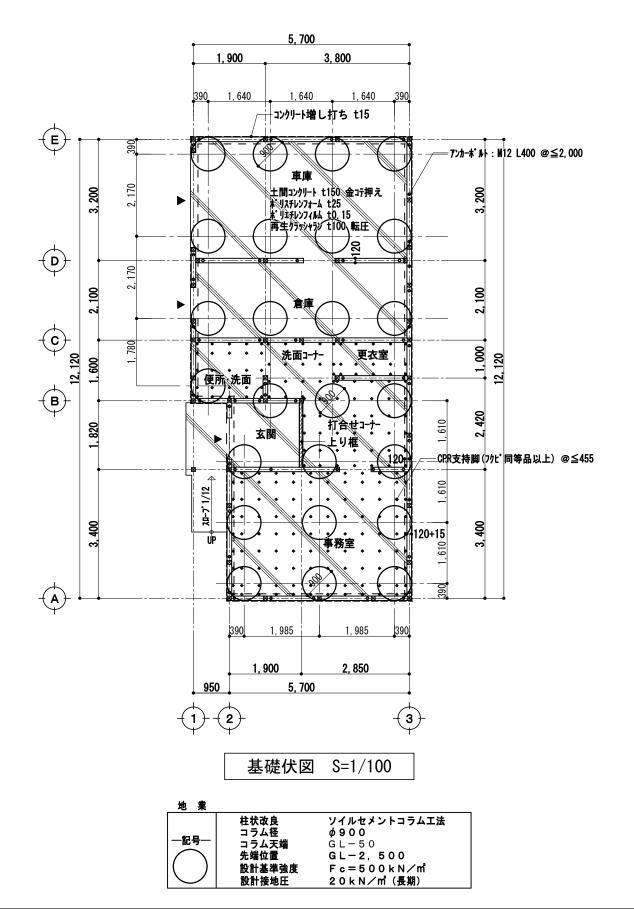
木工事・軸組工法工事 補足特記仕様書(その2) 縮尺

図面名称

S-4

図面N0.





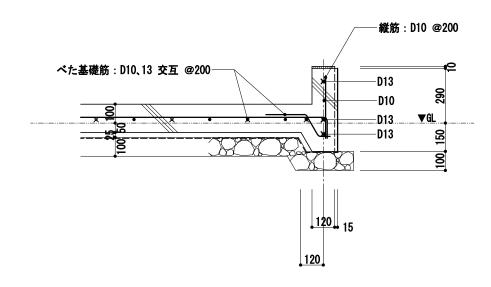
鉄筋凡例		
•	D10	
X	D13	

特記事項 鉄筋: SD295A (D10~D13)

コンクリート: Fc=21+3N/mm², SL=15 クラッシャラン: 道路用砕石 C-40 (JIS A 5001)

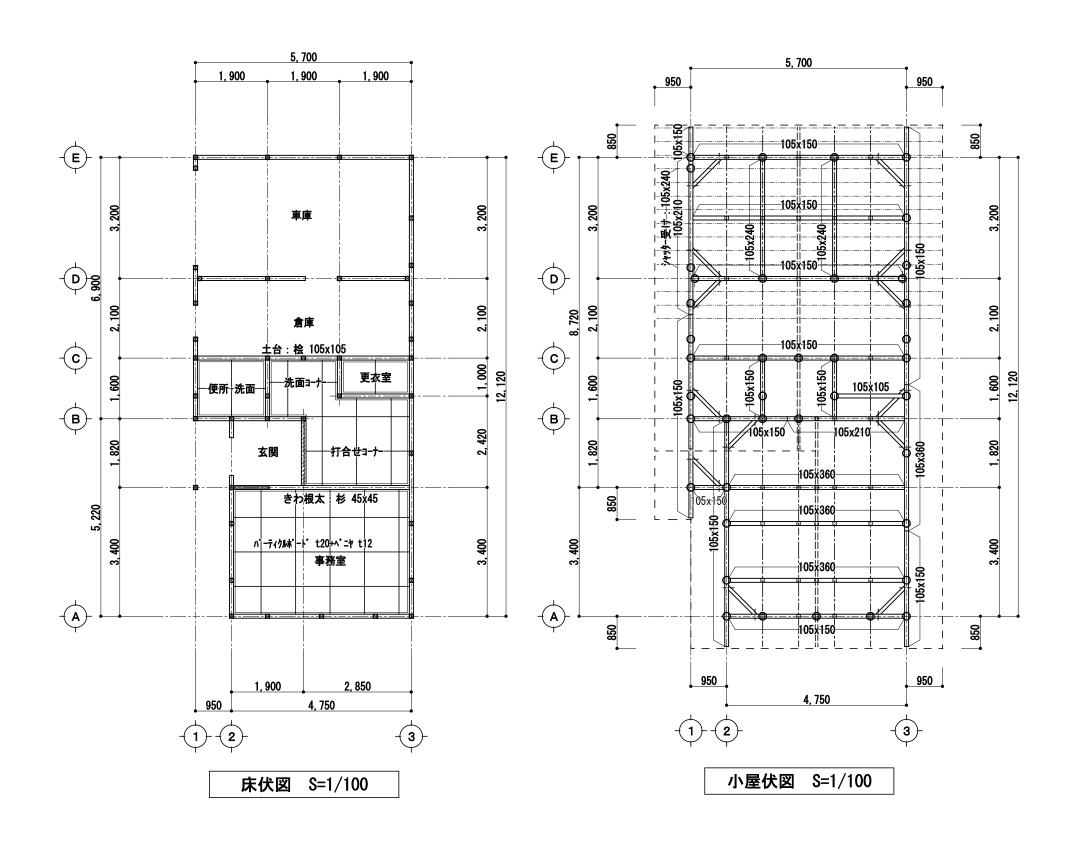
防水シート(ア) 0. 15mm:ポリュチレンフィルム(ア) 0. 15mm以上

防蟻処理 木部・・・・GL+1.2m以内 塗布 (現場処理剤) 土台、柱、間柱、水周り ※日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする



基礎詳細図 S=1/20

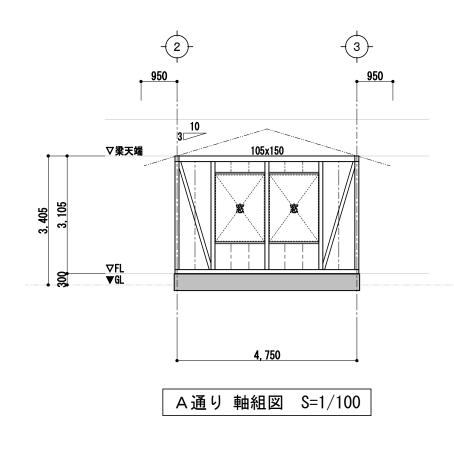
	設計年月日	設計	作図	■ ^{有限} 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面 N 0.
九州森林管理局				登録: 大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	大分西部森林管理署 院内森林事務所 新築工事	基礎伏図	S=1/100	S-6

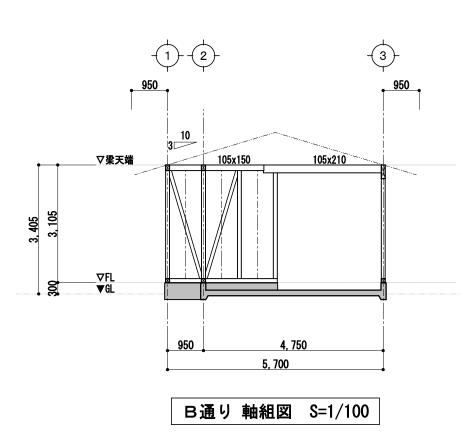


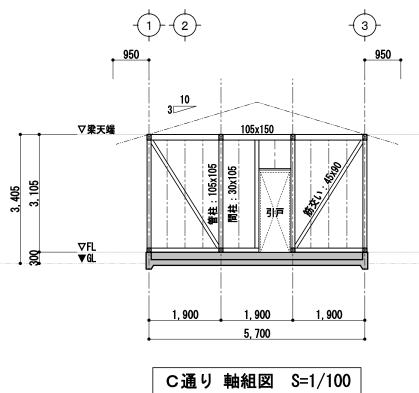
屋根部材リスト
特記なき梁:杉 105×105
棟木:杉 105×105
小屋東:杉 105×105 @910
日屋:杉 90×90 @910
□ 小屋東:杉 90×90 @910
火打ち:杉 90×90、ボルト 2-M12
垂木:杉 45×90 @360
□ 小屋東の位置を示す

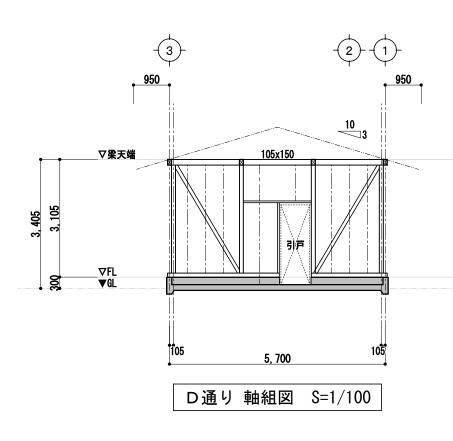
〇 柱の位置を示す

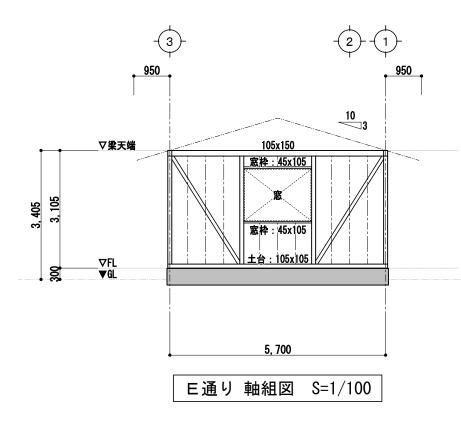
	設計年月日	設計	作図	■ ^{有限} 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 ロ 啓 一	大分西部森林管理署		C-1/100	c 7
				〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085		S=1/100	5-7	



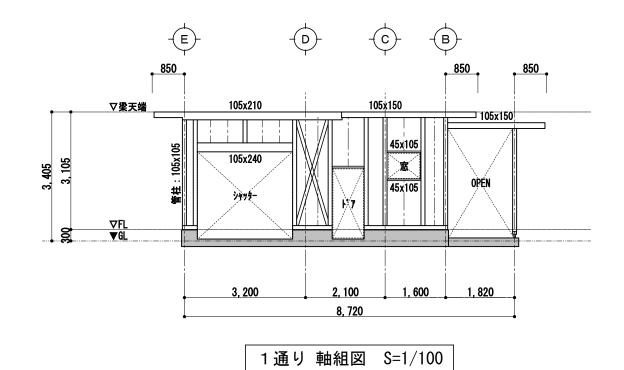


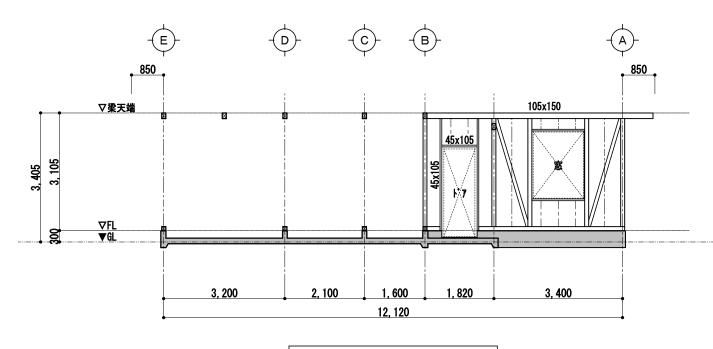


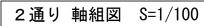


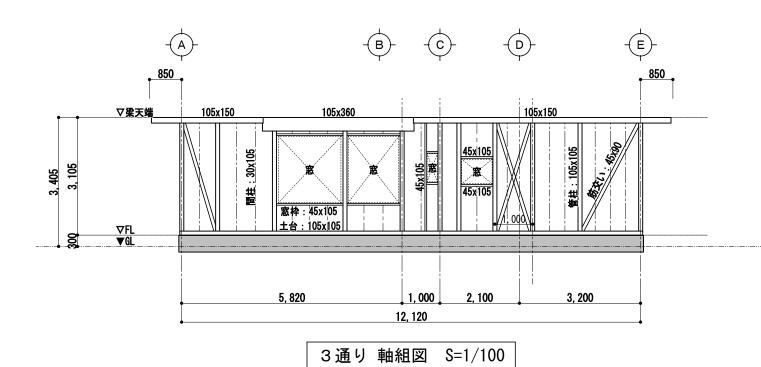


	設計年月日	設計	作図	■ ^{有限} 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面 N 0.
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 ロ 啓 一〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	大分西部森林管理署 院内森林事務所 新築工事	軸 組 図 1	S=1/100	S-8

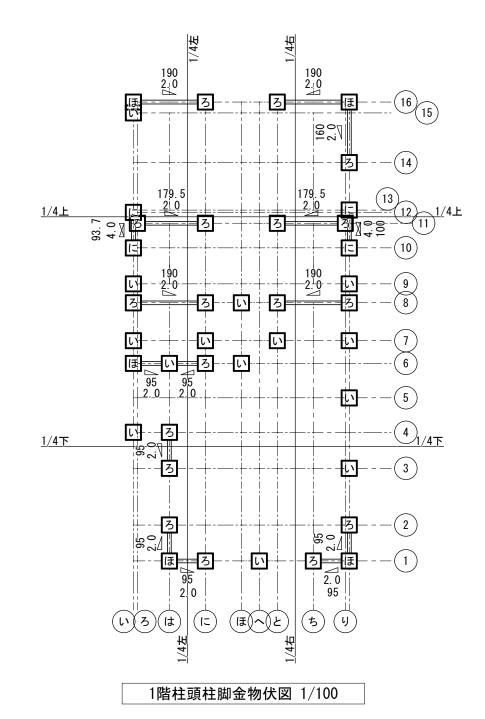


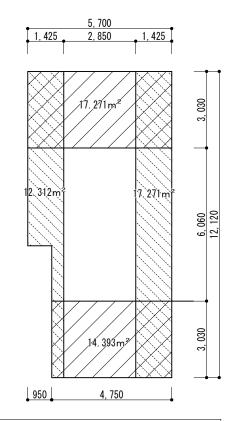




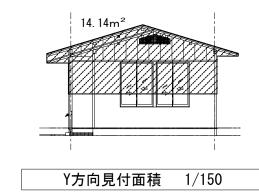


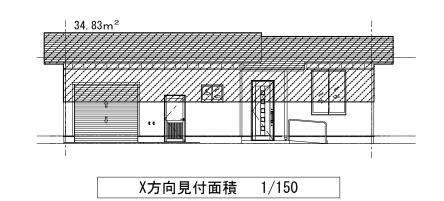
	設計年月日	設計	作図	■ ^{有限} 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 ロ 啓 一〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	大分西部森林管理署 院内森林事務所 新築工事	軸 組 図 2	S=1/100	S-9





則端部分 床面積 S=1/150





特記なき限り 図面は見上げとする。 筋交い記号の上部数字は壁倍率を示す。 2.0 片筋交いを示す。 (45×90) 4.0 たすき筋交いを示す。 (45×90)

接合部の仕様

Nの値	金物記号	必要耐力	金物等(これらと同等以上の接合方法を含む)
		(kN)	
0.0以下	い	0	短ほぞ差し、かすがい打ち
0.65以下	ろ	3. 4	長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物くぎCN65×5本
1.0以下	は	5. 1	T字形金物釘くぎCN65×5本、山形プレート金物釘CN90×8本
1.4以下	10	7. 5	羽子板ボルトφ12mm、短冊金物
1.6以下	ほ	8. 5	羽子板ボルトφ12に長さ50mm径4.5mmスクリュー釘
1.8以下	^	10	10kN用引き寄せ金物
2.8以下	٤	15	15kN用引き寄せ金物
3.7以下	ち	20	20kN用引き寄せ金物
4.7以下	IJ	25	25kN用引き寄せ金物
5.6以下	ぬ	30	15kN用引き寄せ金物×2枚
5.6超		N×5.3	

	設計年月日	設計	作図	^显 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一 〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	大分西部森林管理署 院内森林事務所 新築工事	筋交い計算 1	S=1/100	S-10

令46条の計算

1階必要壁量の計算 単位 [面積(m2),壁量(cm)]

必要壁量(:	地震力)		必要壁量(厘	【圧力:X方向	i)	必要壁量(風圧力:Y方向)				
床面積	係数	必要壁量	見付面積	係数	必要壁量	見付面積	係数	必要壁量		
64. 13	11	705. 38	34. 83	50	1741. 5	14. 14	50	707		
			判定値		1741.5	判定値		707		

1階存在壁量の計算(斜め筋交いはcos θ の2乗とする。)

	T - + M D (0.1 -	- 100		, • ,			
存在壁量()	(方向)			存在壁量(Y	′方向)		
壁長	箇所	倍率(計)	存在壁量	壁長	箇所	倍率(計)	存在壁量
190	4	2	1520	95	3	2	570
179. 5	2	2	718	160	1	2	320
95	4	2	760	93. 7	1	4	374. 8
				100	1	4	400
合計			2998	合計			1664. 8
判定			OK	判定			OK

| 刊定 | 1階側端部分必要壁量の計算

必要壁量(X方向)					必要壁量(Y方向)				
側端部分(上)		側端部分(下)		側端部分(左)		側端部分(右)	
床面積	係数	必要壁量	床面積	係数	必要壁量	床面積	係数	必要壁量	床面積	係数	必要壁量
17. 28	11	190.08	14. 4	11	158. 4	12. 32	11	135. 52	17. 28	11	190. 08

1階側端部分存在壁量の計算

· FEI DO-III HI- >	111 压王至27	HITT					
存在壁量(X方向)			存在壁量(Y方向)		
側端部分(上)			側端部分(左)		
壁長	箇所	倍率(計)	存在壁量	壁長	箇所	倍率(計)	存在壁量
190	2	2	760	95	2	2	380
				93. 7	1	4	374. 8
合計			760	合計			754. 8
側端部分(下)			側端部分(右)		
壁長	箇所	倍率(計)	存在壁量	壁長	箇所	倍率(計)	存在壁量
95	2	2	380	95	1	2	190
				160	1	2	320
				100	1	4	400
合計			380	合計			910

1階充足率の計算

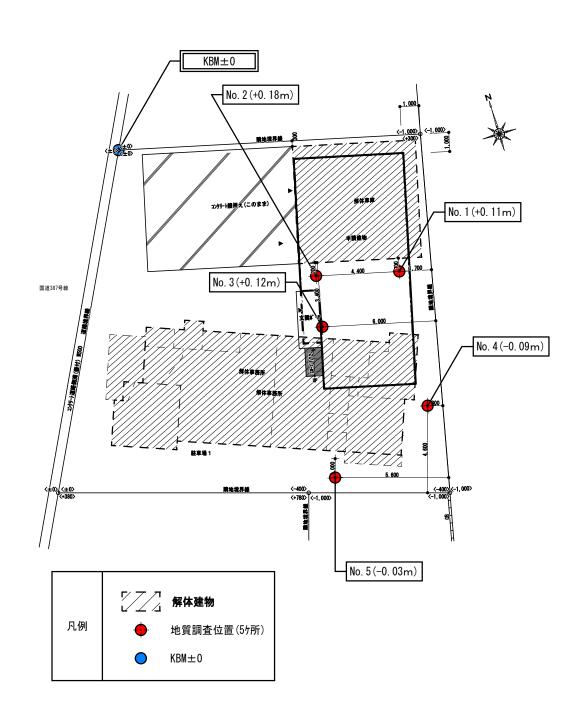
壁率比(X方向)				壁率比(Y方向)			
壁充足率(小)	壁充足率 (大)	壁率比	判定	壁充足率 (小)	壁充足率(大)	壁率比	判定
2. 4	4	0. 6	ОК	4. 79	5. 57	0.86	OK

N値計算による金物選定

通り1	通り2	階	方向	位置	側考慮で ² 筋交い	パネル	神正値		В	L	N値	必要耐力	金物
		<u> </u>			倍率	倍率						(kN)	
t .	1		1 X	右	2		4	2. 5	0.8	0. 4	1.6	8. 5	ほ
			Υ	左	0			2. 5	0.8	0. 4			
				右	2								
E	1		1 X	右	0			1.5	0.5	0. 6	0. 15	0.8	3
			Υ	左	0			0	0.5	0. 6	1		
				右	0								
ち	1		1 X	左右	2			1.5	0.5	0. 6	0. 15	0.8	ろ
			Y	左	0			0	0.5	0. 6	1		
				右	0	0							
ぬ	1		1 X	左	2			2. 5	0.8	0. 4	1.6	8. 5	ほ
			Y	左左	0			2. 5	0.8	0. 4	1		
				右	2	0							
は	2		1 X	左	0			0	0.5	0. 6	0. 15	0.8	ろ
			Υ	左	2			1.5	0.5	0. 6	1		
				右	0	0							
ぬ	2		1 X	左	0		4	0	0.5	0. 6	0. 15	0.8	ろ
			Υ	左左	2			1.5	0.5	0. 6	1		
				右	0	0							
は	3		1 X	左	0			0	0.5	0. 6	0. 15	0.8	ろ
			Y	左左	0			1.5	0.5	0. 6	1		
		L		右	2	0	1		L		L_		L
は	4		1 X	左	0		4	0	0.5	0. 6	0. 65	3. 4	3
			Y	左左	2			2. 5	0.5	0. 6	1		
			Ľ	右	0			2. 5		0.0			L
い	6		1 X	左	0	0	0. 5	2. 5	0.8	0. 4	1. 6	8. 5	ほ
			Y	左左	0			0	0.8	0. 4	-		
			'	右	0			ľ	0.0	0.4			
は	6		1 X	左	2		4	0	0.5	0. 6	-0. 6	-3. 1	い
			Y	左	0			0	0.5	0. 6	1		
			'	右	0		4	ľ	0.3	0.0			
(C	6		1 X	左	2	0		2. 5	0.5	0. 6	0.65	3.4	ろ
			V	右	0				0.5	0.0	1		
			Υ	右	0		-	0	0.5	0. 6			
い	8		1 X	左	0	0		2. 5	0.5	0. 6	0.65	3. 4	ろ
				右	2						1		
			Υ	左右	0			0	0.5	0. 6			
IC.	8		1 X	左	2			1.5	0.5	0. 6	0.15	0.8	ろ
				右	0				0.5				
			Υ	右	0		4	0	0.5	0. 6			
٤	8		1 X	左	0			1.5	0.5	0. 6	0.15	0.8	3
				右	2	0					1		
			Y	左右	0			0	0.5	0. 6			
ぬ	8	1	1 X	左	2	0		2. 5	0.5	0. 6	0.65	3.4	3
				右	0	0							
			Y	左右	0			0	0.5	0. 6			
い	10	1	1 X	左	0			0	0.5	0. 6	1.4	7. 5	ıc
				右	0	0							
			Υ	左	0			4	0.5	0. 6			
ぬ	10	1	1 X	左左	4 0			0	0.5	0. 6	1.4	7. 5	ıc
-				右	0	0							
			Υ	左	0			4	0.5	0. 6			
ろ	11		1 X	左左	4			2. 5	0.5	0. 6	0.65	3.4	3
-	ļ			右	2	0]	5.7	_
			Υ	左	0			0	0.5	0. 6			
IC	11	1	1 X	左左	2			1.5	0.5	0. 6	0.15	0.8	ス
	1			右	0						0.10	0.0	
			Υ	左	0	0	0	0	0.5	0. 6	1		
<u>ا</u>	11	1	1 X	右左	0			1.5	0.5	0. 6	0.15	0.8	7
٢	[''		1 1	右	2			1.5	0.5	0.6	0.15	0.8	2
			Υ	左	0	0	0	0	0.5	0. 6	1		
	111	1	1 V	右	0								7
IJ	11		1 X	左右	0			2. 5	0.5	0. 6	0.65	3.4	3
			Υ	左	0			0	0.5	0. 6	1		
	1	1	1	右	0			l			1	1	1

			刊有風 じてのままり																						
	方向	位置	筋交い パネル 倍率 倍率	補正値	A	В	L	N値	必要耐力 (kN)	金物	通	191	通り2	階	方向	位置	筋交い 倍率	パネル 倍率	補正値	A	В	L	N値	必要耐力	金物
1	v	+		0. 5	2. 5	0.0	0. 4	1.6		17	1		10	 	1 X	+	16年		_	0	0. 5	0.6	1 4	(kN) 7. 5	1-
'	٨	左	0 0	0.5	2. 5	0.8	0. 4	1.6	8.5	الم	1 10	•	12		' ^	左		0	4	U	0.5	0.0	1.4	1.5	1-
-		右	2 0	0.5	0.5	0.0									· ·	右	0				0.5				
	Y	左	0 0	0. 5	2. 5	0.8	0. 4								Υ	左	4		4	4	0.5	0.6			
		右	2 0								4 1-					右	0								
1	Х	左	2 0	-0. 5	1.5	0.5	0. 6	0. 15	0.8	ろ	k	1	13		1 X	左	0			0	0. 5	0.6	1.4	7. 5	15
		右	0 0													右	0								
		左	0 0	0	0	0.5	0. 6								Υ	左	4			4	0. 5	0.6			
		右	0 0													右	0	0							
1	Χ	左	0 0	-0. 5	1.5	0.5	0.6	0.15	0.8	ろ	ka	1	14		1 X	左	0	0	0	0	0.5	0.6	0. 15	0.8	ろ
		右	2 0													右	0	0							
Ī	Υ	左	0 0	0	0	0.5	0.6								Υ	左	0	0	-0.5	1.5	0. 5	0.6			
		右	0 0													右	2	0	1						
1	Χ	左	2 0	0. 5	2. 5	0.8	0. 4	1.6	8. 5	ほ	しい	١	16		1 X	左	0	0	0.5	2. 5	0.8	0.4	1.6	8. 5	ほ
		右	0 0	1												右	2	0	1						
ı	Υ	左	0 0	0. 5	2. 5	0.8	0. 4								Υ	左	0	0	0	0	0.8	0.4			
		右	2 0	1												右	0	0	1						
1		左	0 0	0	0	0.5	0. 6	0.15	0.8	3	15		16		1 X	左	2	0	-0.5	1.5	0. 5	0.6	0. 15	0.8	3
		右	0 0	1												右	0		4						_
İ	Υ	左	2 0	-0. 5	1.5	0.5	0. 6								Υ	左	0			0	0. 5	0.6			
		右	0 0	1											'	右	0		4	_					
1		左	0 0	0	0	0.5	0. 6	0. 15	0.8	ろ	عال		16	<u> </u>	1 X	左	0			1.5	0. 5	0.6	0. 15	0.8	3
١.	^	右	0 0	l ĭ	Ů	0.0	0. 0	0.10	0.0				'"		' ^	右	2		4	1.0	0.0	0.0	0.10	0.0	
ł	Υ	左	2 0	-0. 5	1. 5	0.5	0. 6								Υ	左	0			0	0.5	0.6			
	'	右	0 0	0.0	1.0	0.0	0. 0								'	右	0			ľ	0.0	0.0			
1	v	左	0 0	0	0	0.5	0. 6	0. 15	0.8	Z	b		16		1 X	左	2			2. 5	0.8	0.4	1. 6	8. 5	17
۱'		右	0 0	l "l	U	0.3	0. 0	0.13	0.0	2	00	•	110		' ^	右	0		4	2. 3	0.0	0.4	1.0	0. 0	104
+		左	0 0	-0. 5	1. 5	0.5	0. 6								Υ	左	2			2. 5	0.8	0.4			
		右	2 0	-0.5	1. 3	0.5	0. 0								'	右	0			2. 3	0.0	0.4			
1			0 0	0	0	0.5	0. 6	0, 65	3. 4	7	4 -					12	0	0							
'		左右	0 0	l ۷	U	0.5	0. 0	0.00	3.4	2															
- 1				0.5	0.5	0.5	0.0																		
		左	2 0	0. 5	2. 5	0.5	0. 6																		
		右	0 0	0.5	0.5	0.0		4.0	0.5		_														
1		左	0 0	0. 5	2. 5	0.8	0. 4	1.6	8. 5	は															
ļ		右	2 0																						
		左	0 0	0	0	0.8	0. 4																		
		右	0 0								4														
1		左	2 0	4 1	0	0.5	0. 6	-0. 6	-3.1	い															
ļ		右	2 0																						
	Y	左	0 0	0	0	0.5	0. 6																		
		右	0 0																						
1		左	2 0	4 1	2. 5	0.5	0. 6	0.65	3.4	ろ															
		右	0 0																						
Ī	Υ	左	0 0	0	0	0.5	0. 6																		
		右	0 0																						
1	Х	左	0 0	0. 5	2. 5	0.5	0. 6	0.65	3.4	ろ															
		右	2 0]]																					
1	Υ	左	0 0	0	0	0.5	0. 6				1														
		-		1		1			I	ı	-1														

	設計年月日	設計	作図	■ ^{有限} 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一 〒871-0013 十分県由津市全手8-7 TFI:(0070)-22-6672 FAY:(0070)-22-6085	大分西部森林管理署	筋交い計算 2	S=1/100	S-11
20 州林 怀 自 垤 周				〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	院内森林事務所 新築工事	加入い引昇と	3-1/100	



ボーリング調査位置図 S=1/200

	設計年月日	設計	作図	■ ^{有限} 瀬口建築設計事務所
九州森林管理局				登録: 大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085

	<u>スウェーテ</u>	゛ン式サウンデ	ィング試験 No1	孔口標高+0.11		,	
	貫入 深さ D(m)	推定 柱状図	荷重Wsw Kgf	貫入量1mあたり 半回転数Nsw	換算 N値 N	換算 qa kN/㎡	
_▽KBM+150=設計GL	0. 25 0. 50 0. 75	 傑質土	25_50_75	50. 100 150 200.	3. 8 29. 8 6. 5	52. 4 362. 8 84. 4	79
	1.00 1.25 1.50 1.75	*************************************			2. 2 2. 2 2. 2 79. 3	16. 9 16. 9 16. 9 953. 1	
	スウェーテ	「 ン式サウンデ」 「	ィング試験 No2	孔口標高+0.18			
	貫入 深さ D(m)	推定 柱状図	荷重Wsw Kgf	貫入量1mあたり 半回転数Nsw	換算 N値 N	換算 qa kN/㎡	
_▽ <u>KBM+150=設計GL</u>	0. 25 0. 50 0. 75	 傑質土	25 50 75	50 100 150 200	13. 5 46. 7 17. 8	167. 6 564. 4 218. 8	

	貫入 深さ D(m)	推定 柱状図	荷重Wsw Kgf	貫入量1mあたり 半回転数Nsw	換算 N値 N	換算 qa kN/m³		
_▽KBM+150=設計GL			25 50 75	50 100 150 200				l
	0. 25				13.5	167. 6	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	
	0.50	礫質土			46.7	564. 4	1 442	ı
	0. 75		<i>Y////////////////////////////////////</i>		17. 8	218.8	1	ı
	1.00		V/V//////////////////////////////////	<u> </u>	3.0	30.0	1	ı
	1. 25		V/////////////////////////////////////	///	3.6	39.6	1	ı
	1.50		<i>V_/_/_/</i>		3.0	30.0		ı
	1. 75	粘性土			3.0	30.0		ı
	2.00				5. 2	65. 2	1	ı
	2. 25				5. 4	68. 4	1	ı
	2.50			////	6.8	90.8		ı
	2. 75	礫質土			89. 9	1080	1	ı
								ı

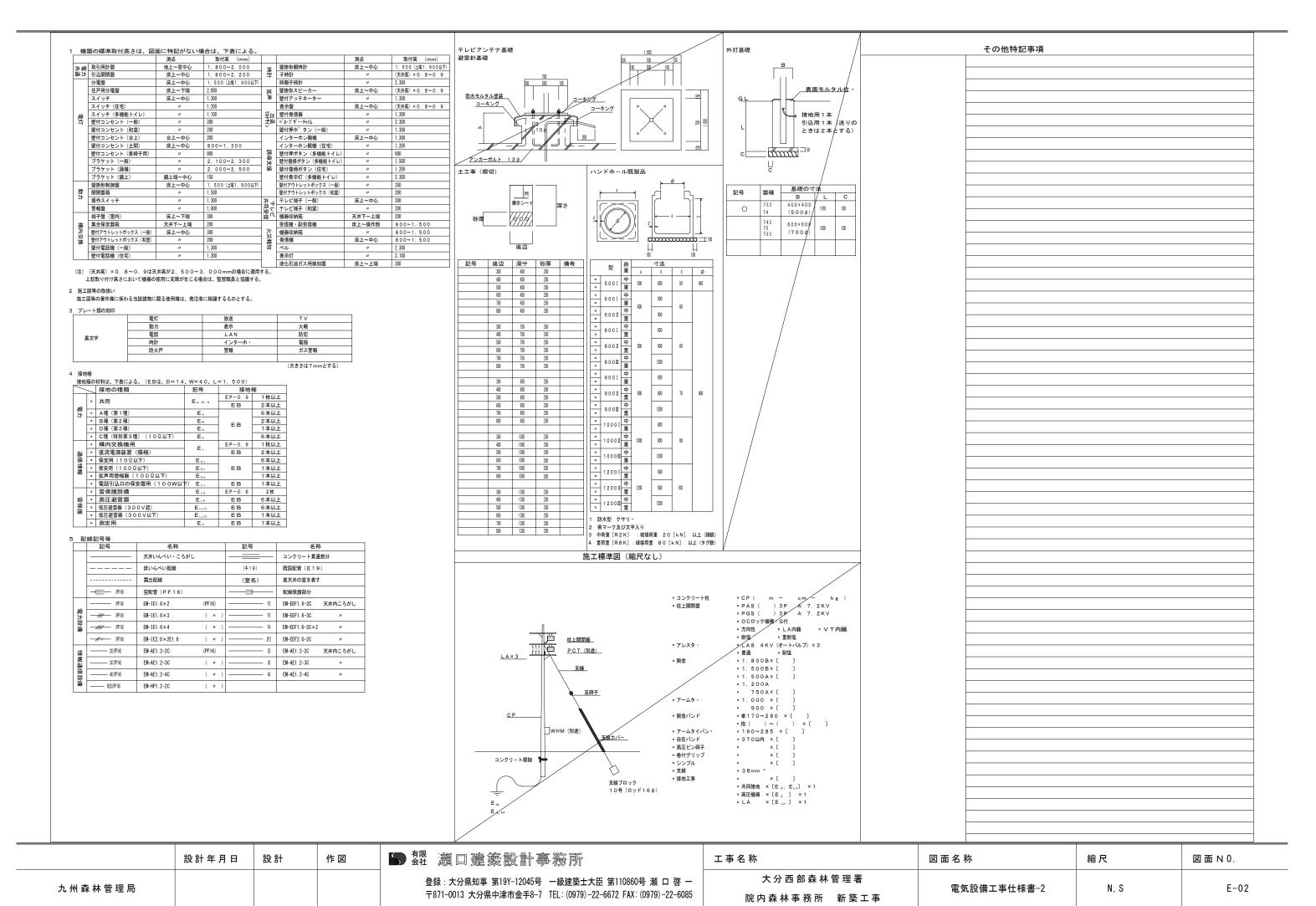
	スウェーテ	<u>デン式サウンデ </u>	ィング試験 No3	孔口標高+0.12			
	貫入 深さ D(m)	推定 柱状図	荷重Wsw Kgf	貫入量1mあたり 半回転数Nsw	換算 N値 N	換算 qa kN/m³	
▽KBM+150=設計GL	l		25 50 75	50 1,00 150 200			
	0, 25 0, 50 0, 75	礫質土			30. 4 54. 2 18. 6	369. 2 654. 0 228. 4	
	1.00 1.25 1.50				7. 6 3. 8 3. 0	103. 6 42. 8 30. 0	
	1, 75 2, 00 2, 25	L 粘性土 L			3. 2 4. 4 3. 2	33, 2 52, 4 33, 2	
	2.50	礫質土	//////		85. 7	1030	

▽KBM+150=設計GL	スウェーテ 貫入 深さ D(m)	・ 推定 柱状図	荷重Wsw Kgf	孔口標高-0.09 貫入量1mあたり 半回転数Nsw	換算 N値 N	換算 qa kN/㎡	
	0. 25 0. 50 0. 75	礫質土	25 50 75	50 100 150 200	7. 4 2. 5	94. 0 36. 4 7. 5	41
	1,00 1,25 1,50 1,75 2,00 2,25 2,50	粘性土			3. 2 3. 2 3. 6 3. 2 3. 6 8. 9	7. 5 16. 9 33. 2 39. 6 33. 2 39. 6 113. 2	
	2. 75	礫質土	////////		137	1646	

	スウェーデ	· ン式サウンデ	<u>ィング試験 No5</u>	孔口標高-0.03			
▽KBM+150=設計GL	貫入 深さ D(m)	推定 柱状図	荷重Wsw Kgf	貫入量1mあたり 半回転数Nsw	換算 N値 N	換算 qa kN/㎡	- П
V KBM+15U=設計UL			-25-50-75				 8• ; =
	0. 25	砂質土			2. 0	30.0	— · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	0.50			[//]	2. 2	33. 2	
	0. 75			/// 	3.0	30.0	
	1.00	del let 1	<i>Y</i>	<i>K/J</i>	3. 4	36.4	
	1. 25	粘性土	<i>V_/\/_/_/_</i>	<u> </u>	3.0	30.0	
	1.50		<i>V_/_/_/</i>		3. 0	30.0	
	1. 75				4. 6	55. 6	
	2.00	礫質土			34. 6	420. 4	
	2. 25	味貝工			87. 6	1052	

工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.	
大分西部森林管理署	地盤調査資料	_	S-12	
院 内 森 林 事 務 所 新 築 工 事	也 盗 觇 且 貝 村		3 12	

工事概要	₹設備工事仕様書 				配管・配線等② 支持金物その他	●分電盤、制御盤以降及び各通信機器間(幹線部分は除く)の配管、配線でその経路、サイズ本数は設備機能を優先し、図面表示と多少相達してもよい。 ●露出配管は誤合ペイント2回達リ (⑥屋外 (外面被覆鋼管を除く) 。屋内 (図面に特記する)。長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上の被覆鉄線を入線する。 ●耐火・耐熱電線はJCMA適合品とする。 ●歴外の支持金物、ボルト及びナットなどは溶融亜鉛メッキ仕上げ叉はステンレス製とする。	〇 発電	1 発電機 2 原動機 3 ラジエータ・ 4 燃料槽	 ○ 三相3線式 (V) ○ ディーゼルエンジ・ ○ 電気給動式 ○ 空気給動式 ○ 軽油 ○ A 里油 ○ 労油 ○ 空冷式 ○ 水冷式 ○ 本工事 (○ 別置
	佐 市・郡 院内町原口434-5				② 対対を初せの他 ② 配線プレート等	◎特記あるもの及び特殊なものを除いて (◎新金属 ・ステンレス ・樹脂 ・)とする。	電影像	5 基礎	。本工事 。別途
建物概要	00.85 元子基	(_2\	ADI = 22 #4		② 防火・耐蝕性等	⊙カバーブレート等の刻印は原則として別表による。⊙雨線外で使用する機器等は全て防水型とする・	49	6 配線ピット及び蓋 7 機器吊上用フック	・本工事 ・別途 ・本工事 (t ヶ所) ・別途
建物名称 構造 院内森林事務所 木油	1 1 1		令別表第一 備考 5項 新築建物		24 断熱結露防止	海岸線4km以内の屋外機材はすべて耐塩型とする・建築工事にてフォームポリスチレン板打ち込みの箇所に取り付ける位置ボックス等は断熱、結構防止処理を		8 消火器 機器詳細	ABC10型、収納箱・別図による。
						行なう。			
					25 身体障害者のための 国際シンボルマーク	。合成樹脂製とし、寸法 t 5 × 150 × 150 で白地に青とする。	•	1 交換機の種類 2 回線数	・ボタン電話装・ ・交換機 (。デジタ・ 。アナログ 。 既設 (別途工事) ・局線 (実装 /容量 ・ 。内線 (実装 /容量 ・)
					26 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」(国土交通	内 次	3 電話機の種類	デジタル・アナログ式
						省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。 1) 設計用水平地震力	瑛	4 配線	◎取り付け電話器 1台につき下記の電線を取り付ける。ワイヤブロテクター 1. 5 m を見込・○ EM-TIEF 0. 65-2 C 2 m
	そつけたものを適用する)					機器の重量 [kgf]に、設計用水平震度を乗じたものとする。なお、特配無き場合、設計用水平震度は次による。	設備	5 機器詳細	
建築物及び屋外院内森林事	事務所		屋外	۱		設計用標準水平震度		5 饭油干和	
工事種目 動力設備 ●	0 0		0			設置場所 機器種別 ・特定の施設 ・一般の施設 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器	の 環 港	1 増幅器の種類	・一般放送用 ・非常放送用 ・デスク形 ・卓上形 ・デスク形 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
電灯設備●		0	0			H屬陸O 機器 2.0 1.5 1.5	報者	2 機器詳細	・別図による。
雷保護設備 ○ 受変電設備 ○		0	0	—————————————————————————————————————		上品配の 屋上及び塔屋 防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5 水槽類 2.0 1.5 1.5 1.0	0	1 出退表示装置	表示の種類 。出退 。情報表示 。トイレ呼出 。()
電力貯蔵設備	0 0	0	0	共通		機器 1.5 1.0 1.0 0.6 中間陰 防縦支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0	〇 重		表示盤・単体・複合盤に組込
発電設備 ○ 電話設備 ●		0	0			中間階 防振支持の機器 1.5 1.5 1.0 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6	费表		回路数 () 発信機 ・埋込 <u>形 ・ 卓上</u> 形
構内交換設備		0	0			機器 1.0 0.6 0.6 0.4 地下・1階 防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6	沖	2 時刻表示装置	- 銀時計 ・壁掛形 ・ 自立形 ・ ラック架組込 回線数 ()
構内情報通信網設備 ●		0	0			地下・1階 防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6	雇	3 その 他	□ max () / ()
防犯・入退室管理設備 〇 拡声設備(非常放送) 〇		0	0 0			(注) 上層階の定義は次による。 2~6 階建の場合は最上階、7~9 階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、	0	1 通話方式	○ 同時通話 ○ 相互通話
映像・音響設備		0	0			13階建以上の場合は上層4階	_	2 形式	親機 。壁掛形 。卓上形 。複合盤に組込 。特記
情報表示設備 〇 出退表示装置 〇		0	0			中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。 重要機器は次のものを示す。	誘 導 支		回線数 ()
時刻表示装置 〇	0 0	0	0			配電盤発電装置(防災用)直流電源装置交流無停電電源装置	2接	3 その他	図面による
誘導支援設備 (インターホン)テレビ共同受信設備		0	0			。 交換機 。 自動火災報知受信機 。 中央監視装置 2) 設計用鉛直地震力	Q	1 受信方式	。共同受信 。 直接受信 。 CATV
テレビ電波障害防除設備		0	0			2/ 改成 内知 地震力 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大	受信	2 支持ポール	。壁面3点支持形 。自立型 基礎 (。 <u>本工事 → 別途</u>)
監視カメラ設備 ○		0	0		② 施工調査	○ 改修標準仕様書によるほか、下記による。 ★対例を(クナエ東) 日(今エ東)	言設備	3 電界強度測定 4 機器詳細	・躯体上がり時に測定結果 の提出 ・別図による。
1動火災報知設備 ○ 1動閉鎖設備 ○		0	0			事前調査(⑥本工事 。 別途工事) 調査項目(⑥工事内容)	1		
ゴス漏れ火災警報設備 ○	0 0	0	0			調査範囲 (。図示 。 工事範囲)	0	1 受信方式	。共同受信 。直接受信 。CATV 。()
K道隔測メータ設・ ○ 中央監視制御設備 ○		0	0			調査方法(・図示 ・ 目視 既存図・ ・非破壊検査による埋設物の調査をする。	尼 小 犀 フ	2 電波障害調査	・着工前及び躯体打上がり時に周辺部の測定 (ヶ所) ・調査項目は各チャンネル毎の電界強度、水平パターン、映像写真を(部)提出すること
						なお、範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。	発設備	3 機器詳細	・別図による。
降機設備 〇	0 0	0	0	\longrightarrow		。はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行うこと。	汝障		<u> </u>
内配電線路 〇	0 0	0	0 •	─ ─	① 設備概要 ② 機器への接続	総排水 ○消火 ○換気 ○空気調和 ○排煙 ○昇降機○本工事制御盤より別途電動機等への接続は本工事とする。	<u>iii</u>		-
構内通信線路 〇 二事仕様	0 0	0	0 0		③ 電動機等の接地			1 自動火災報知装置	方式 ・P形(級) ・R形(級) 受信機 ・単体 ・複合防災盤
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4 電動機等の力率の改善	本工事に含む制御盤には各負荷毎に力率改善コンデンサーを取り付ける。			回線数 ・火報(実装 /容量 ・ ・ 諸警報 (実装 /容量 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
版)」(以下、「標準仕様書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事標準図 ② 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む 特記仕様	ま、すべて国土交通名大臣官房官庁営繕部監修「公共 、「公共建築改修工事編準仕帳書(電気設備工事編 (電気設備工事編) (平成31年版) 」(以下、「積 北場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は合のおえるルズもへ)とたまのたが用する。)(平成31年版)」(以 準図」という。)による。	設備工事編)(平成31年 下、「改修標準仕様書」と	交鏞	4 電動機等の力率の改善 5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地	本工事に含む制御壁には各負荷毎に力率改善コンデンサーを取り付ける。 過負荷、欠相、逆相継電器は熱動型とする・ 本指針付電流計 (定格電流指示) 〇コードベンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥した場所のコンパクト形器具 (2 7 W以下) を除く)	〇 自動火災		副受信機 。 単体 。 複合防災盤 同回線数 。 火報 (実装 / 容量 発信機、表示灯 。 単体 。 総合盤 。 消火栓組込 消火水ンブ連動 。 発信機連動 。 消火栓組込 (単独) 感知器 。 作動確認灯廿
版) 」(以下、「標準仕様書)という。) いう。)及び「公共建築設備工事標準図 ② 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む 特記仕様 章は●印、項目は番号に〇印、特記項目に	、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編 (電気設備工事編) (平成31年版)」(以下、「標 む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事)(平成31年版)」(以 準図」という。)による。 仕様書を適用する。	設備工事編)(平成31年 下、「改修標準仕様書」と	交傭	5 保護継電器 6 その他	適負荷、欠相、逆相線電器は熱動型とする・ 本指針付電流針(定格電流指示) ①コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。(乾燥した場所のコンパクト形器具(2 7 W以下)を除く)なお、接地線は次による。	自動火		副受信機 ・単体 ・複合防災盤 同回縁数 ・火報 (実装 / 容量 ・ ・ ・
版)」(以下、「標準仕権書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事標準図 ② 機械設備工事及び建築工事を木工事に含む 特記仕様 単は●印、項目は番号に〇印、特記項目に 項目	、「公共建築の修工事権率仕株書 (電気設備工事権 (電気設備工事権) (平成31年版) 」(以下、「積 む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は③印をそれぞれつけたものを適用する。)(平成31年版)」(以 準図」という。)による。 仕様書を適用する。 特記	設備工事編)(平成31年下、「改修標準仕様書」と	交補	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地	 適負荷、欠相、逆相線電器は熱動型とする・ 赤指針付電流計(定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。(乾燥した場所のコンパクト形器具(27W以下)を除く) 	自動火災報知		副受信機 。単体 。複合防災盤 同回線数 ・火報 (実装 / 容量 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
版) 」(以下、「標準仕様書)という。) いう。)及び「公共建築設備工事標準図 ② 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む 特記仕様 章は●印、項目は番号に〇印、特記項目に	、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編 (電気設備工事編) (平成31年版)」(以下、「標 む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事) (平成31年版) 」(以 準図」という。) による。 仕様書を適用する。 特記 管督員の承諾を得ること。	下、「改修標準仕様書」と	商	5 保護継電器 6 その他	。通負荷、欠相、逆相線電器は熱動型とする・ ・赤指針付電流計(定格電流指示) ⑥コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、 配管を利用してもよい。(乾燥した場所のコンパクト形器具(27W以下)を除く) なお、接換線は次による。 ケーブル配線の場合は1.6mmの絶線電線(緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの 1芯(緑色)を使用してもよい。 ⑥特記によるもの以外は大型連用型とする	自動火災	2 住戸用自動火災報知装置	副受信機 ・単体 ・複合防災盤 同回線数 ・火板(実装 / 容量 ・ の 接筆板 (実装 / 容量 ・ の 発生機 表示灯 ・ 単体 ・ 総合盤 ・ 消火栓組込 (単独) 消火ポンブ連動 ・発信機連動 ・ 消火栓組込 (単独) 感知器 ・ 作助確認灯付 ・ ・ 作助確認灯付 ・ ・ を合盤 ・ の 到端 ・
版)」(以下、「揮準仕株審」という。) いう。)及び「公共建築設備工事構準図 ② 機械設備工事及び建築工事を本工事に合き 特記仕様 章は●印、項目は番号に〇印、特記項目は 項目 ① 機材等 ② 機材の品質・性能証明	「公共建築の修工事権率仕株者 (電気設備工事権 (電気設備工事権) (平成3 1 年版) 」(以下、「積 也場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は②印をそれぞれつけたものを適用する。 ②日本工業規格品とし、製造者の選定については ②設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を 他) が発行する資料等の写しを監督職員に提出)(平成31年版)」(以 準図」という。)による。 仕様書を適用する。 特記 特記 監督員の承諾を得ること。 することの証明資料又は、	下、「改修標準仕様書」と	交編 ● 飾灯設審	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類	 適負荷、欠相、逆相線電器は熱動型とする・ 赤指針付電流計 (定格電流指示) 〇コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥した場所のコンパクト形器具 (2 7 W以下) を除く)なお、接地線は次による。 ケーブル配線の場合は1.6 mmの絶線電線(緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1芯(緑色)を使用してもよい。 ○特記によるもの以外は大型連用型とする ○電源の種類により色を区別する。 ・埋込型分電盤からの立上り予備配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・ 	自動火災報知		副受信機 ・単体 ・複合防災盤 同回線数 ・火軽(実装 容量 ・ 該等板 (実装 容量 発信機、表示灯 ・単体 ・総合盤 ・ 消火拴組込 (実装 容量 ・ 容量 消火大力運動 ・ 学信機運動 ・ 消火栓組込 (単独) ・ 保助確認灯付 ・ 不以 (単独) ・ 不以 (単独) ・ 本工事(○ 2 A ○ 4 A ○ 別途 ・ 大工 (○ 2 A ○ 4 A ○ 別途 ・ 大工 (○ 2 A ○ 7 A
版)」(以下、「標準仕様書」という。) いう。)及び「公共建業設備工事構準図 ② 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む 特記仕様 章は●印、項目は番号にO印、特記項目は 項目 ① 機材等	「公共建築の核工事編(電気設備工事編(電気設備工事編(電気設備工事編)(平成31年版)」(以下、「積 市場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は②印をそれぞれつけたものを適用する。 ③日本工業規格品とし、製造者の遺定については ・②設備機材は、設計四書に定める品質及び性能を 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出 ・一般用電気工作物 ・一般用電工作物 ・事業用電気工作物においては電気主任技術者を	(甲成31年版) 」(以 準図」という。)による。 仕株審を適用する。 特記 管質の承諾を得ること。 することの証明資料又は、 、て承諾を受ける。 理場におくものとする。	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会		5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類	 適負荷、欠相、逆相線電器は熱動型とする・ 本指針付電流針(定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。(乾燥した場所のコンパクト形器具(27W以下)を除く)なお、接地線は次による。ケーブル配線の場合は1.6mmの絶縁電線(緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1芯(緑色)を使用してもよい。 ○特記によるもの以外は大型連用型とする ○電返記学の電波からの立上リテ備配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ天井の場合は、天井又は梁下20mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 	自動火災報知	2 住戸用自動火災報知装置 3 非常警報装置 4 その他	副受信機 ・単体 ・複合防災整 同回線数 ・火帳(実装 / 容量 ・ の 接蓋板 / 実装 / 容量 ・ の 接蓋板 / 実装 / 容量 ・ の 将信機、表示灯 ・ 単体 ・ 総合盤 ・ 消火栓紙込 (単独) 消火ポンブ連動 ・発信機連動 ・ 消火栓紙込 (単独) 感知器 ・ 作動確認打付 ・ の 野域維予能込 / 消火栓起動リレ ・ 本工事 (・ 2 A ・ 4 A ・ 別途 / パケーロッ・ ・ 火災信号により空課機、送排風機及びポイラー等を停止させる。
版)」(以下、「揮準仕株審」という。) いう。)及び「公共建築設備工事を本工事に合え 特配仕様 章は●印、項目は番号ICO印、特記項目は 項目 ① 機材等 ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気保安技術者	「公共建築の核工事編(電気設備工事編(電気設備工事編(電気設備工事編)(平成31年版)」(以下、「積む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事はの即をそれぞれつけたものを適用する。 ②日本工業規格品とし、製造者の選定については、②設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を地かが発行する資料等の写しを監督報道に提出 ②事業用電気工作物 。一般用電気工作物	(平成31年版)」(以 準個)という。)による。 性報書を適用する。 特記 管質の承諾を得ること。 することの証明資料又は、 て承諾を受ける。 とし、電気工件物の保安の非 とし、電気工件物の保安の非	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。		 5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 	 適負荷、欠相、逆相線電器は熱動型とする・ 赤指針付電流計 (定格電流指示) 〇コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥した場所のコンパクト形器具 (2 7 W以下) を除く)なお、接地線は次による。 ケーブル配線の場合は1.6 mmの絶線電線(緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1芯(緑色)を使用してもよい。 ○特記によるもの以外は大型連用型とする ○電源の種類により色を区別する。 ・埋込型分電盤からの立上り予備配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・ 	自動火災報知設備	3 非常警報装置	副受信機 ・単体 ・複合防災盤 同回線数 ・火軽(実装 容量 ・多量 ・多量 ・多量 ・名量 ・多量 ・名量 ・名量 ・名量 ・多量 ・多量 ・多量 ・多量 ・多量 ・本工事 ・第2本任報 ・第2本任報 ・本工事 ・「また」 ・本工事 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
版)」(以下、「揮準性標書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事標準図 ② 機械設備工事及び建築工事を木工事に含む 特記仕様 章は●印、項目は番号に〇印、特記項目は 項目 ① 機材等 ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気保安技術者 ⑤ 電気工事士 ⑥ 工事用電力・水	「公共建築の核工事編(電気設備工事編 (電気設備工事編) (平成31年版) 」(以下、「積 市場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は®印をそれぞれつけたものを適用する。 ②日本工業規格品とし、製造者の選定については (受設備検付は、設計回書に定める品度及び性能を 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出 ②事業用電気工作物。一般用電気工作物等。 ・一般用電気工作物等。一般用電気工作物が ・事業用電気工作物で高数工作技術者を ・②気気保安技術者は、電気主任技術者を ・②契約電力500kW以上の電気工作物において、 ・②共和電力500kW以上の電気工作物において、 ・②本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は ・ の本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は	(平成31年版)」(以 準図」という。)による。 性株審を適用する。 特記 管員の承諾を得ること。 することの証明資料又は、、 て承諾を受ける。 理場におくものとする。 足し、電気重化物の保安の事。 、第一種電気上によって本産の連 まままによって、 は、これまする。 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り地正する。		5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類	適負荷、欠相、逆相機電器は熱動型とする・ 本指針付電流計 (定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥) た場所のコンパクト形器具 (2 7 W以下) を除く) なお、接地館は次による。ケーブル配線の場合は 1. 6 mmの絶線電線 (緑色) を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの 1 芯 (緑色) を使用してもよい。 ○特記によるもの以外は大型連用型とする ○電源の種類により色を区別する。 『型込型分電盤からの立上リ予幅配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける スラブ天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 二重天井の場合は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。	自動火災報知設備	3 非常誓報装置 4 その他	副受信機
	「公共建築の核工事編学化株書 (電気設備工事編(電気設備工事編(電気設備工事編)(平成31年版)」(以下、「積 に場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は③印をそれぞれつけたものを適用する。 ③日本工業規格品とし、製造者の選定については ・ ②設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を 他 が発行する資料等の写しを監督職員に提出 ・ 事業用電気工作物 ・ 一般用電気工作物 ・ 事業用電気工作物 ・ 一般用電気工作物 ・ 事業用電気工作物 ・ 一般用電気工作技術者 ・ 電気保定技術者は、電気主任技術者の職務を結 ・ 受契約電力500kW以上の電気工作材において、	(平成31年版)」(以 準図」という。)による。 性株審を適用する。 特記 管員の承諾を得ること。 することの証明資料又は、、 て承諾を受ける。 理場におくものとする。 足し、電気重化物の保安の事。 、第一種電気上によって本産の連 まままによって、 は、これまする。 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これますによって、 は、これまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り地正する。	海灯股窑	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受雷部	 適負荷、欠相、連相機電器は熱動型とする・。素指針付電流計 (定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥した場所のコンパクト形器具 (2 7 W以下) を除く) なお、接地線は次による。 ケーブル配線の場合は1.6 mmの絶線電線 (緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1 芯 (緑色) を使用してもよい。 (特記)によるもの以外は大型連用型とする ○電源の種類により色を区別する。 ・埋込型分電盤からの立上り予備配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ天井の場合は、天井又は東下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 二重天井の場合は、天井又は東下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、予備の配線遮断器が4個以下の場合は(22)×1、5個以上の場合は(22)×2とする。 ・ 突針 ・検上導体 ・金属製手摺等 	自動火災報知設備 英體	3 非常誓報装置 4 その他	副受信機 ・ 単体 ・ 複合防災整 同回線数 ・ 火軽 (実装 / 容量 ・ の
版)」(以下、「爆æ仕條書」という。) いう。)及び「公共建業設備工事標準図 ② 機械設備工事及び建業工事を本工事に含む 特記仕様 章は●印、項目は番号に〇印、特記項目は 項目 ① 機材等 ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気保安技術者 ⑤ 電気工事士 ⑥ エ事用電力・水	「公共建築の核工事編(電気設備工事編(電気設備工事編(電気設備工事編)(平成31年版)」(以下、「構会、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事は今日をそれぞれつけたものを適用する。 ②日本工業規格品とし、製造者の選定については、②設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を付加が発行する資料等の写しを監督器員に提出・②事業用電気工作物。事業用電気工作物。事業用電気工作物においては電気工住技術者を創一受契約電力500kW以上の電気工作物の事業用電気工作物の事業用電気工作物の事業用電気工作物の事業用電気工作物の事業用電気工作物の事業用電気工作物の事業用電気工作物の事業用電力、水等の使用料金は、提内に遠ることが ②できる。で全て賃貸金の負担とする。。本工事に必要な宣作署その他関係機関への語手料を記述する。本工事に必要な宣作署その他関係機関への語手料を引き、	(早成31年版)」(以 準図」という。)による。 性様書を適用する。 特記 監督員の承接を得ること。 することの証明資料又は、 て承諾を受ける。 現し、電気工作物の保安の身 い、第一種電気工事士により、 工事に含む。(本受電の基 きない と等に要する費用は請負者の	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む)	爬灯股瘤	5 保護継電器 6 その他 ③ 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受雷部 2 避雷導体 3 接地極	 過負荷、欠相、逆相繼電器は熱動型とする・ ・素指針付電流計 (定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥した場所のコンパクト形器具 (27W以下)を除く)なお、接換館は次による。ケーブル配線の場合は1.6mmの絶縁電線(緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1 芯 (緑色)を使用してもよい。 ①特配によるもの以りは大型連用型とする ②電源の種類により色を区別する。 ・埋込型分電盤からの立上リ予電配管は予慮の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ実井の場合は、天井久は梁下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。二重天井の場合は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、予備の配線遮断器が4個以下の場合は(22)×1、5個以上の場合は(22)×2とする。 	自動火災報知設備	3 非常誓報装置 4 その他	副受信機 ・単体 ・複合防災盤 同回線数 ・火報(実装 / 容量 / 容
版)」(以下、「爆弾性体書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事構準図 ② 機械設備工事及び建築工事を本工事に合き 特記仕様 章は●印、項目は番号に〇印、特記項目に 項目 ① 機材等 ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気保安技術者 ⑤ 電気工事士 ⑥ 工事用電力・水 ⑦ 工事用仮設物	「公共建築の核工事編学仕様書(電気設備工事編 (電気製備工事編)(平成3 1年版)」(以下、「積 で構会、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は②印をそれぞれつけたものを適用する。 ②日本工業規格品とし、製造者の選定については ②設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を 他 が発行する資料等の写しを監督職員に提出 ③事業用電気工作物。 一般用電気工作物 事業用電気工作物においては電気主任技術者を ②契約電力500kW以上の電気工作物において ②本工事に必要な工事用電力、水中使用料金は 構内に返ることが ②できる 全工事に必要なで再発の他関係機関への諸手 の本工事に必要な官方署その他関係機関への諸手 の詳細については、諸管庁等と打ち合わせること ②国土安通省大臣官房官庁警補部監修の「工事事」	(平成31年版)」(以 準個」という。)による。 性精査を適用する。 特配 管質の承諾を得ること。 することの証明資料又は、 て承諾を受ける。 とし、電気工作物の保安の身、 に工事に合きな。(本受電の記 きない ま等に要する費用は請負者の にの機り方(改訂第3版 超	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築設備編)」による・	向 尤取雇	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受需部 2 避雷導体	 適負荷、欠相、逆相線電器は熱動型とする・ ・素指針付電流計 (定格電流指示) 〇コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥した場所のコンパクト形器具 (2 7 W以下) を除く)なお、接地線は次による。 ケーブル配線の場合は1.6 mmの絶線電線 (緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1芯 (緑色)を使用してもよい。 ○特記によるもの以外は大型連用型とする ○電源の理境により色を区別する。 ・埋込型分電壁からの立上り予備配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ実井の場合は、天井又は実下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 二重天井の場合は、天井又はま下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、予備の配線遮断器が4億以下の場合は(22)×1、5億以上の場合は(22)×2とする。 ・突針 ・棟上導体 ・金属製手器等・銅より線(sq)・ ・建築構造体利用 	自動火災報知設備 英體	3 非常誓報装置 4 その他 1 自動附鎖装置	副受信機 ・単体 ・複合防災盤 同回線数 ・単体 ・総合盤 ・消火栓組込 発信機、表示灯 ・単体 ・総合盤 ・消火栓組込 消火水ンブ連動 ・學信機連動 ・消火栓組込 (単独) 総合盤 ・可熱性活力 ・ 消火栓起動リ ・本工事(02A 04A の別途 インターロッ・ ・火災信号により空調機、送排風機及びポイラー等を停止させる。 方式 ・P形(銀) ・ ・ 受信機 ・単体 ・適隔試験端子付 ・ 感知器 ・作動確認好付 ・ ・ ・密知器 ・作動確認好付 ・ ・ ・財工 ・ ・ ・ ・の間による(住宅用火災感知器) ・ ・ ・ 方式 ・
版)」(以下、「標準仕様書」という。) いう。)及び「公共建整設備工事標準回 ② 機械設備工事及び建築工事を本工事に合 特記仕様 章は●印、項目は番号に〇印、特記項目に ① 機材等 ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気保安技術者 ⑤ 電気工事士 ⑤ エ事用電力・水 ⑦ エ事用仮設物 8 官公署への届出等	「公共建築の修工事標率仕様者(電気設備工事編 (電気管備工事報)(平成31年野)」(以下、「積 也場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は@印をそれぞれつけたものを適用する。 ②日本工業規格品とし、製造者の選定については (砂機機材は、設計図書に定める品質及び性能を1 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出 ②事業用電気工作物。 一般用意工作物 。事業用電気工作物。 一般用意工作物においては 電気保安技術者は、電気主任技術者の職務を結 (受別電力500k以上の電気工作物においては の本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は、 構内に進ることが ②できる 。で 全て請負者の負担とする。 。本工事に必要な官序署その他関係機関への語手。 ②詳細については、諸官下等と打ち合わせること。	(平成31年版)」(以 準図」という。)による。 性精審を適用する。 特部記 監督員の承抜を得ること。 することの証明資料又は、 て承諾を受ける。 もし、電気工作物の保安の利。、第一種電気工事士により、 工事に含む。(本受電の起 きない と等に要する費用は請負者の 1の機り方(改訂第3版 類	下、「改修標準仕様書」と 外部機関((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。	· 电欠股编	5 保護継電器 6 その他 ③ 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受雷部 2 避雷導体 3 接地極	 適負荷、欠相、逆相線電器は熱動型とする・ ・素指針付電流計 (定格電流指示) 〇コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥した場所のコンパクト形器具 (2 7 W以下) を除く)なお、接地線は次による。 ケーブル配線の場合は1.6 mmの絶線電線 (緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1芯 (緑色)を使用してもよい。 ○特記によるもの以外は大型連用型とする ○電源の理境により色を区別する。 ・埋込型分電壁からの立上り予備配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ実井の場合は、天井又は実下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 二重天井の場合は、天井又はま下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、予備の配線遮断器が4億以下の場合は(22)×1、5億以上の場合は(22)×2とする。 ・突針 ・棟上導体 ・金属製手器等・銅より線(sq)・ ・建築構造体利用 	自動火災報知設備 英語 自動閉鎖	3 非常管報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その絶	副受信機 ・単体 ・複合 の火報 (実装 容量 ・ 銭器報 発信機 表示灯 ・単体 ・総合盤 ・ 消火拴艇び 消火ボンブ連動 ・免信機連動 ・ 消火柱組込 (単独) 総の器 ・作助確認灯付 ・ 名へ 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
版)」(以下、「韓維仕様書」という。) いう。) 及び「公共建設設備工事標準回 ② 機械設備工事及び建築工事を本工事に合 特記仕様 章は●印、項目は番号に○印、特記項目に ① 機材等 ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気工作物の種類 ⑤ 電気工事を ⑤ 軍用電力・水 フェ事用仮設物 8 官公署への届出等 ④ 工事写真・	「公共建築の核工事標率仕様者(電気級信工事経 (電気銀信工事報)(平成31年版)」(以下、「相 む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は②印をそれぞれつけたものを適用する。 ③日本工業規格品とし、製造者の選定については ・の設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出 ②事業用電気工作物。 一般用電気工作物 。事業用電気工作物においては電気主任技術者を ・の電気保安技術者は、電気主任技術者を ・の電気保安技術者は、電気主任技術者を ・の電気保安技術者は、電気主任技術者を ・の本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は、 ・本工事に必要な官庁事その他関係機関への語手 ・の詳細については、諸管庁等と打ち合わせること ・の主報については、諸管庁等と打ち合わせること ・の完成写真 (Lサイズ) 製本 ・の完成図書等を作成する。 ・の完成図書等を作成する。	(平成31年版)」(以 準個」という。)による。 性報書を適用する。 特配 管質の承諾を得ること。 することの証明資料又は、 て承諾を受ける。 とし、電気工作物の保安の身、 第一種電気工事士により まさない と等に要する費用は請負者の の機り方(改訂第3版 担	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築設備編)」による・ ((部) ((部)	· 电欠股编	5 保護継電器 6 その他 ③ 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受雷部 2 避雷導体 3 接地極	 適負荷、欠相、逆相線電器は熱動型とする・ ・素指針付電流計 (定格電流指示) 〇コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥した場所のコンパクト形器具 (2 7 W以下) を除く)なお、接地線は次による。 ケーブル配線の場合は1.6 mmの絶線電線 (緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1芯 (緑色)を使用してもよい。 ○特記によるもの以外は大型連用型とする ○電源の理境により色を区別する。 ・埋込型分電壁からの立上り予備配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ実井の場合は、天井又は実下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 二重天井の場合は、天井又はま下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、予備の配線遮断器が4億以下の場合は(22)×1、5億以上の場合は(22)×2とする。 ・突針 ・棟上導体 ・金属製手器等・銅より線(sq)・ ・建築構造体利用 	自動火災報知設備 ○ 禁電 ・ 火災 カス	3 非常管報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その絶	副受信機 ・単体 ・複合防災盤 同回線数 ・火軽(実装 容量 ・多量 発信機、表示灯 ・単体 ・総合盤 ・消火拴組及 消火水ンブ速動 ・発信機連動 ・消火栓配込(単独) ・日本 総合盤 ・可熱性指込 消火栓起动(単独) ・本工事(0.2 A 4 A 7) 消火栓起動リ ・本工事(0.2 A 4 A 7) ・ 別途 インターロッ ・火災信号により空間機、送排風機及びポイラー等を停止させる。 ・方式 ・ P形 (銀) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
版)」(以下、「福準仕様書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事標準回 ② 機械設備工事及び建築工事を本工事に合 特記仕様様 章は●印、項目は番号に〇印、特記項目に ② 機材等 ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気工事性 ⑤ 電気工事性 ⑥ 工事用電力・水 ⑦ 工事用仮設物 8 官公署への届出等 ③ 工事写真・ ① 完成図書等	「公共建築の核工事標準仕様書(電気設備工事編 (電気設備工事編)(平成31年期) 「以下、「掲 む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は③印をそれぞれつけたものを適用する。 ①日本工業規格品とし、製造者の遺定については ②股傭機材は、設計図書に定める品質及び性能を 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出 ②事業用電気工作物においては電気工作物において ・電気保安技術者は、電気主任技術者の職務を結 (受別電力500k以以上の電気工作物において ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金式 構内に造ることが 金工事に必要な工事用電力、水等の使用料金式 構内に造ることが 金工事に必要な工事所電力、水等の使用料金式 ・本工事に必要な工事所電力、水等の使用料金式 ・本工事に必要な工事所電力、水等の使用料金式 ・本工事に必要な工事所電力、水等の使用料金式 ・電気保安技・管管・できる。で 金工領負者の負担とする。 ・本工事に必要な可管等との地質係機関への諸手 ・の詳細については、諸管庁等と打ち合わせること ・②記述選者大臣管房度庁営結節監修の「工事写」 ②完成写真 (Lサイズ) 製本 ②完成写真 (Lサイズ) 製本 ②完成図書等を作成する。 完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場	(平成31年版)」(以"報図)という。による。 特記 特記 管質の承諾を得ること。 することの証明資料又は、 で承諾を受ける。 現場におくものとする。 は、電気工作物の保安の事 い第一種電気工事士によります。 に東京ない 特に要する費用は額負者の の撮り方(改訂第3版 損 却)	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築設備編)」による・ ((部)) ((部)	烏	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受雷部 み	 過負荷、欠相、連相機電器は熱動型とする・。素指針付電流計 (定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥した場所のコンパクト形器具 (27W以下)を除く)なお、接換組と次による。ケーブル配線の場合は1.6mmの絶線電線(緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1芯 (緑色)を使用してもよい。 ①特配によるもの以がは大型連用型とする ②電源の種類により色を区別する。 ・埋込型が電盤からの立上リ予電配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ末井の場合は、天井又は東下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。こ重天井の場合は、天井又は東下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、予備の配線遮断器が4個以下の場合は(22)×1、5個以上の場合は(22)×2とする。 ・突針 ・様上導体 ・金属製手摺等・網より線(sq) ・建築構造体利用・単独 (鋼板埋設 ・建築構造体利用・単独 (鋼板埋設 ・建築構造体利用・単独 (鋼板埋設 ・・ ・開放型 ・閉鎖型 ・壁面型 ・特記 	自動火災報知設備 ○ 装置 ○ 火 日動閉鎖 ○ ガ	3 非常管報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その絶	副受信機 ・単体 ・複合防災盤 同回線数 火軽(実装 容量 ・ 銭等板 (実装 / 容量 発信機、表示灯 ・単体 ・総合盤 ・ 浦火拴艇公 消火ボンブ連動 ・免信機連動 ・ 消火栓配込 (単独) 総の盟 ・作助確認灯付 ・ 2 A
版)」(以下、「福準仕様書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事標準回 ② 機械設備工事及び建築工事を本工事に合 特記仕様様 章は●印、項目は番号に○印、特記項目に ① 機材等 ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気工作物の種類 ⑤ 電気工事と ⑤ エ事用電力・水 ⑦ エ事用仮設物 8 官公署への届出等 ③ 工事写真・	「公共建築の核工事編学仕様書(電気設備工事編 (電気製備工事編)(平成31年版)」(以下、「相 む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は②印をそれぞれつけたものを適用する。 ②日本工業規格品とし、製造者の選定については ・砂・一般円電気工作物 ・事業用電気工作物においては電気主任技術者を ・の電気保及技術者は、電気主任技術者を ・の電気保及技術者は、電気主任技術者を ・の電気保及技術者は、電気主任技術者を ・の電気保及技術者は、電気主任技術者を ・の本工事に必要な工事用電力、水等が使用料金は、 ・本工事に必要な工事用電力、水等が使用料金は、 ・本工事に必要な工事用電力、水等が使用料金は、 ・本工事に必要な「等一等その他関係機関への諸手 ・の詳細については、諸官「等と打ち合わせること ・の主導については、諸官「等と打ち合わせること ・の主導にでいては、諸官「等と打ち合わせること ・の完成図書等を作成する。 ・完成図書等を作成する。 ・完成図書にしサイズの、 ・規署及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成	(平成31年版)」(以"報図)という。による。 特記 特記 管質の承諾を得ること。 することの証明資料又は、 で承諾を受ける。 現場におくものとする。 は、電気工作物の保安の事 い第一種電気工事士によります。 に東京ない 特に要する費用は額負者の の撮り方(改訂第3版 損 却)	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築設備編)」による・ ((部)) ((部)	烏	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受雷部導体 3 接地極 4 その他 1 盤形式 2 変圧器の種類	 過負荷、欠相、連相機電器は熱動型とする・。素指針付電流計 (定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥した場所のコンパクト形器具 (2 7 W以下) を除く) なお、接地線は次による。ケーブル配線の場合は1.6 mmの絶線電線 (緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1 芯 (緑色)を使用してもよい。 ○特記によるもの以外は大型連用型とする ○電源の種類により色を区別する。 ・埋込型分電盤からの立上リ予備配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブズ井の場合は、天井又は東下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。二重天井の場合は、天井又は東下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、予備の配線遮断器が4億以下の場合は (2 2) × 1、5億以上の場合は (2 2) × 2 とする。 ・変針 棟上導体 ・金属製手摺等・領より線 (sq) ・建築構造体利用・単独(網板埋設 ・建築構造体利用・建築機構造体利用・建築機構造体利用・単独(網板埋設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	自動火災報知設備 ○ 禁電 ・ 火災 カス	3 非常管報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その絶	副受信機 ・単体 ・複合防災盤 同回総数 ・単体 ・総合盤 ・消火拴艇び 消火ボンブ連動 ・発信機連動 ・消火拴艇び (単独) 第四級 ・作動確認灯付 総合盤 ・可熱性指込 消火栓起込 川途 消火栓起助リ ・本工事(・2 A ・4 A ・別途 川途 ・少災信号により空調機、送排風機及びボイラー等を停止させる。 方式 ・P形(・級) 受信機 ・単体 ・適隔試験端子付 ・認知器 ・作動確認灯付 ・遠隔試験機能付 形式 ・図面による(住宅用火災燃知器) ・
版)」(以下、「梅準仕様書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事標準回 ② 機械設備工事及び建築工事を本工事に合 特記仕様様 章は●印、項目は番号に〇印、特配項目に ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気工作物の種類 電気な供析者 ⑤ 電気工事を設物 8 官公署への届出等 ④ 工事写真・ ① 完成図書等	「公共建築の核工事標準仕様書(電気設備工事編 (電気管備工事編)(平成31年期)」(以下、「精 で場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は③印をそれぞれつけたものを適用する。 ①日本工業規格品とし、製造者の選定については ②設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を 他)が発行する資料等の写しを監智器員に提出 ③事業用電気工作物にあいては電気工任技術者を ②電気保安技術者は、電気主任技術者の職務を結 ②契約電力500k以上の電気工作物において 企本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は 構内に造ることが ②できる 全工報目を受な工事用電力、水等の使用料金は 構内に造ることが ②できる 金工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は は関係であることに ②に取りまである。できる 全工額上交通者大臣官別度に営場部監修の「工事写」 ②定成図書等を作成する。 完成図書等を作成する。 完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 の実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 の実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 の実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成	(平成31年版)」(以 準理図という)による。 特記 管質の承諾を得ること。 することの証明資料又は、 で不承諾を受ける。 現場におくものとする。 主し、電気程度数工年物の保安のより、第一程度数工をない 等に要する費用は請負者の 1部 2部 引 単明書による。 、監督質の承諾を受ける。 ・ を1部 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築設備編)」による・ ((部)(部) ((部)	電灯設備	5 保護継電器 6 その他 ③ 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受雷部 選出事体 3 接地極 4 その他 1 盤形式 2 変圧器の種類 3 基礎 3 基礎	 過負荷、欠相、連相機電器は熱動型とする・。素指針付電流計 (定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥 たり 場所のコンパクト形器具 (27 W以下) を除く)なお、接換組と次による。ケーブル配線の場合は1.6 mmの絶線電線 (緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1 芯 (緑色)を使用してもよい。 (中枢) では、おきののは表の連携により色を区別する。 ・ 埋込型が電盤からの立上リチ電配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ末井の場合は、天井又は東下200 mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・ 二重天井の場合は、天井又は東下200 mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・ 配管は、予備の配線遮断器が4個以下の場合は(22)×1、5個以上の場合は(22)×2とする。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	自動火災報知設備 ○ 装置 ・ 火災警報設 ・ ガス漏れ	3 非常管報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その絶	副受信機 ・単体 ・複合防災盤 同回縁数 ・火報 (実装 容量 ・ 発信機 表示灯 ・単体 ・総合盤 ・ 消火栓組込 (単独) 消火ボンブ連動 ・発信機連動 ・消火栓組込 (単独) <
版)」(以下、「複準性棒書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事標準回 ② 機械設備工事及び建築工事を本工事に合 特記仕仕様 章は●印、項目は番号に〇印、特配項目に ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工件物の種類 電気保安技術者 ⑤ 電気工事の雇出等 ③ エ事用版設物 8 官公署への届出等 ④ 土事写真・ ① 先成図書等	「公共建築の核工事標準仕様者(電気版価工事編 (電気衛工事編)(平成31年版) 「以下、「相 で電気機工事編)(平成31年版) 「以下、「相 む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は②印をそれぞれつけたものを適用する。 ③日本工業規格品とし、製造者の選定については ②股構機材は、設計図書に定める品質及び性能を・ 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出 ③事業用電気工作物。 一般用電気工作物 。事業用電気工作物。 一般用電気工作物 。事業用電気工作物。 一般用電気工作物 。事業用電気工作物。 一般用電気工作物 。で電気保安技術者は、電気主任技術者を ②契約電力500kW以上の電気工作物において・ ②本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は、 (三水事に必要な官庁署その他関係機関への語手 ②をは関連者の負担とする。 。本工事に必要な官庁署その他関係機関への語手 の完成図書等と作成する。 定域回の原図サイズ及び仕様 ②東協 ・現場回の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ②実施工程表を作成する。 完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ②実施工程表を作成する。 完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・機器及び材料の選定は、と監督員の承証を受ける。 ②本設計図の器具配置及び、取付位置は位置関係・ 。製作図、施工図、見本等は、速やかに監督員に 多数に加速などの場合になどを ・製作図、施工図、見本等は、速やかに監督員に を制度の表述を受ける。	(平成31年版)」(以準理図)という。による。 特記 「特記」という。による。 特記 「特記」という。による。 特記 「特記」という。 「特記』という。 「特記』と	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築設備編)」による・ (部) (部) (部) (部)	烏	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受雷部導体 3 接地極 4 その他 1 盤形式 2 変圧器の種類	 適負荷、欠相、連相機電器は熱動型とする・。素指針付電流計 (定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥した場所のコンパクト形器具 (2 7 W以下) を除く) なお、接地線は次による。ケーブル配線の場合は1.6 mmの絶線電線 (緑色) を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1 芯 (緑色) を使用してもよい。 ○特記によるもの以外は大型連用型とする ○電源の種類により母を区別する。 ・埋込型分電盤からの立上り予備配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ天井の場合は、天井又は東下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 コーエチカの場合は、予備の配線遮断器が4個以下の場合は (2 2) × 1、5個以上の場合は (2 2) × 2とする。 ・交針 ・検上導体 ・金属製手摺等・網より線 (sq) ・建築構造体利用・単独 (鋼板埋設 ・建築構造体利用・単独 (鋼板埋設 ・建築構造体利用・単独 (鋼板埋設 ・砂式 ・モールド (・ F種 ・ B種 ・) ・ 配対 ・ 配対型 ・ を式 ・ モールド (・ F種 ・ B種 ・) ・ 本工事 ・ 別途 ・ 本工事 ・ 別途 ・ 本種・C種共同 ・ B種単独 ・ () 	自動火災報知設備 ○ 装置 ○ 火災警報設備	3 非常管報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その絶	副受信機
版)」(以下、「梅準仕様書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事標準回 ② 機械設備工事及び建築工事を本工事に合 特記仕様様 章は●印、項目は番号に〇印、特配項目に ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気工作物の種類 電気な供析者 ⑤ 電気工事を設物 8 官公署への届出等 ④ 工事写真・ ① 完成図書等	「公共建築の核工事標準仕様書(電気設備工事編 (電気管風工事編)(平成31年期)」(以下、「精 で場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は③印をそれぞれつけたものを適用する。 ③日本工業規格品とし、製造者の選定については ③設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を 他)が発行する資料等の写しを監智融員に提出 ④事業用電気工作物においては電気工任技術者を ④電気保受技術者は、電気主任技術者の職務を結 ⑥契約電力500kW以上の電気工作物において ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は、 構内に造ることが ②できる 全て請負者の負担とする。 ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は、 構内に造ることが ②できる 全て請負者の負担とする。。 ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は、 博用に立ることが ②できる 全て請負者の負担とする。。 ・工事以受な工事用電力、水等の使用料金は、 ・製作国については、諸官庁等と打ち合わせること。 ②互及宣者大臣官房官庁営繕部監修の「工事写」 ②完成図書等を作成する。 完成図書等を作成、生優日の承諾を受ける。 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ・実施工程等を作成、監督員の承諾を受ける。 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ・実施工程等を作成、監督員の承諾を受ける。 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作る。 ②素能工程等を作成、監督員の承諾を受ける。 ・製作図、施工図、見本等は、速やかと監督員に ・製作図、施工図、見本等は、速やかに監督員に ・製作図、施工図、見本等は、速やかと監督員に ・製作図、施工図、見本等は、速やかと監督員に ・製作図、施工図、見本等は、速やかと監督員に ・製作図、施工図、現本等は、速やかと監督員に ・製作図、施工図、見本等は、速やかと監督員に ・製作図、施工図、現本等は、速やかと監督員に ・製作図、施工図、現本等は、速やかと監督員に ・製作図、施工図、現本は、速やかと監督員に ・製作図、施工図、現本は、速やかと監督員に ・製作図、施工図、現本は、速やかと監督員に ・製作図、施工図、現本は、速やかと監督員に ・製作図、施工図、現本は、速やかと監督員に ・製作図、施工の、現本は、地への、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の	(平成31年版)」(以 準理図という)による。 特記 管質の承諾を得ること。 することの診理が関係である。 に、電気を受ける。 に、電気を関する。 に、電気を関する。 に、電気を関する。 に、電気を関する。 に、電気を関する。 に、電気を関する。 に、電気を関する。 に、電気を関する。 に、電気を関する。 に、電気を関する。 に、電気を関する。 に、事に含む。 に、要での数 とい、第一部であり、正確なな に示すも成を受ける。 に示すも成を受ける。 に示すも成を受ける。 に示すも成を受ける。 に示すも成を受ける。 に示すも成を受ける。 に示すも成を受ける。 に示すも成を受ける。 にに示するであり、正確なな になりまする。	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築設備編)」による・ (部) (部) (部) (部)	向 灯設瘤	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受需部連絡 4 その他 1 整形式 2 変圧器の種類 3 基礎 4 配砂 ビット及び差 5 接地工事 6 消火器	 過負荷、欠相、連相機電器は熱動型とする・。素指針付電流計 (定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥 た場所のコンパクト形器具 (27 W以下) を除く) なお、接地線は次による。ケーブル配線の場合は1.6 mmの絶線電線 (緑色) を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1 な (緑色) を使用してもよい。 ○特記によるもの以外は大型連用型とする ○電源の種類により色を区別する。 ・埋込型が電盤からの立上リ予幅配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ天井の場合は、天井以まで20 mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。ユニエ井の場合は、天井内まで2上げ、アウトレットボックスを取り付ける。・配管は、予備の配線遮断器が4 個以下の場合は (22) × 1、5 個以上の場合は (22) × 2とする。 ・突針 ・棟上導体 ・金属製手指等・網より線 ・ 8 a a 建築構造体利用・建築機 鋼板理設 ・ 建築構造体利用 ・単独 (鋼板理設 ・ 壁面型 ・ 特記・ 車型 ・ 時記・ 車型 ・ 車型 ・ 再型 ・ 車型 ・ 時記・ 車型 ・ 車型 ・ 時記・ 車型 ・ 車型 ・ 時記・ 車型 ・ 時記・ 車型 ・ 車型	自動火災報知設備	3 非常警報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その地 1 ガス漏れ火災警報装置 2 その他 1 昇降方式 2 用途	副受信機
版)」(以下、「福準仕様書」という。) いう。)及び「公共建業設備工事標準図之 機械設備工事及び建業工事を本工事に合き 特記仕様検 章は●印、項目は番号に〇印、特記項目に 項目 ① 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気保安技術者 ⑤ 電気工事士 ⑥ エ事用電力・水 ⑦ エ事用仮設物 8 官公署への届出等 ⑨ エ事写真・ ⑩ 完成図書等 ⑪ 施工計画書	「公共建築の核工事編学仕様書(電気設備工事編 (電気製備工事編)(平成31年版)」(以下、「積 (電気製備工事編)(平成31年版)」(以下、「積 (電気製備工事編)(平成31年版)」(以下、「積 (でのでは1年版)」(以下、「積 (でのでは1年版)」(以下、「積 (でのでは1年版)」(以下、「積 (でのでは1年版)」(以下、「積 (でのでは1年版)」(以下、「積 (でのでは1年版)」(のでは1年版)。 (のでは1年版)。) (のでは1年版)。) (のでは1年版)。) (のでは1年版)。(のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)を (のでは1年版)に (のでは1年版)を (のでは1年版)に	(平成31年版)」(以"報図」という。)による。 性報書を適用する。 性報書を適用する。 特記 管質の承諾を得ること。 はすることのとする。とし、第一種電気エとない、第一種電気エとないのようない。 はい、第二種電気エとない。第一種電気エとない。 はい、第二種電気エとない。 はい、第二種電気エとない。 はい、第二種電気エとない。 はい、第二種では、は、要では、など、は、事に、など、は、事に、など、は、事に、など、は、事に、など、は、まさない。 は、世に、は、まさない。 は、世に、は、など、は、など、など、は、など、など、など、など、など、など、など、など、など、など、など、など、など、	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築設備編)」による・ (部) (部) (部) 位置は施工図により協議決定する。 暦員と協議する・ るなどの軽微な変更については、	向 灯設瘤	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受雷部 2 避雷導体 3 接地極 4 その他 1 盤形式 2 変圧器の種類 3 基礎 4 配線ビット及び蓋 5 接地工事	・通負荷、欠相、連相機電器は熱動型とする・ ・素指針付電流針(定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥した場所のコンパクト形器具 (27 W以下) を除く) なお、接換組と次による。 ケーブル配線の場合は 1. 6 mmの絶線電線 (緑色) を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの 1 芯 (緑色) を使用してもよい。 (中国公本ともの以外は大型連用型とする) 電源の種類により色を区別する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	自動火災報知設備 会置 の 大災警報設備 の おろ漏れ の 易	3 非常警報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その地 1 ガス漏れ火災警報装置 2 その他 1 昇降方式	副受信機
版)」(以下、「標準性検書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事標準図 ② 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む 特記仕様 章は●印、項目は番号に〇印、特記項目に ① 機材等 ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の程類 ④ 電気工作物の者 ⑤ 電気工作物の者 ⑤ 電気工作数例者 ⑤ 電気工事力 ⑥ 工事用仮設物 8 官公署への届出等 ③ 工事写真・ ⑥ 工事可真・ ⑥ 工事所の設物 8 官公署等 ① 完成図書等 ① 完成図書等 ① 原形後旧	「公共建築の核工事標準仕様書(電気設備工事場((電気設備工事場)(平成31年期) 「以下、「精 で場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は③印をそれぞれつけたものを適用する。 ③日本工業規格品とし、製造者の選定については ③設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を 他)が発行する資料等の写しを監智器員に提出 ③事業用電気工作物 。一般用電気工作物 。事業用電気工作物においては電気工作物活いでは電気保安技術者は、電気主任技術者の職務を結 ②契約電力500k以上の電気工作物において 企本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は 構内に造ることが ②できる 全て請負者の負担とする。 ・本工事に必要な工管用電力、水等の使用料金は 構内に造ることが ②できる 全て請負者の負担とする。。 ・本工事に必要な工管用電力の経済との記述 ②完成回書等を作成する。 完成回書等を作成し、監督員の承諾を受ける ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成。 ②実施工程象を作成し、監督員の承諾を受ける。 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作る。 ②素施工程象を作成し、監督員の承諾を受ける。 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作る。 ②素施工程象を作成し、監督員の承諾を受ける。 ②素施工程象を作成し、監督員の承諾を受ける。 ②素施工程象で作成し、監督員の承諾を受ける。 ②素施工程等上のでは、遠へが (回面及び仕様書に明記のない場合文は、疑いを ②環場の収まり、取り合いなどの関係では、法、位 監督員の指示によって行うものとし、請負金級 ②本工事の施工に伴う既設の破損箇所等は従来に ②成年コンクリート床、壁などの貫進部の识明付	(平成31年版)」(以"報図1というによる。 特記 というによる。 特記 というによる。 特記 というによる。 特記 というによる。 特記 というによる。 特記 というによる。 は、第一位のでは、 は、第一位のであり、 は、第一位のであり、 は、第一位のであり、 は、第一位のであり、 は、第一位のであり、 は、第一位のであり、 は、第一位のであり、 は、第一位のであり、 に示さした場合は、連やの更する。 にでは、連やの更する。 にでは、に近なのであり、 に示さした場合は、連やの更する。 にでは、に対していた。 にでは、 にできる。 にでは、 にできる。 にでして、 にできる。 にでして、 にできる。 にでして、 にできる。 にでして、 にできる。 にでして、 にでして、 にできる。 にでして、 にできる。 にでして、 にできる。 にでして、 にでして、 にできる。 にでして、 にできる。 にでして、 にできる。 にでして、 にできる。 にでして、 にていて、 にていて、 にていて、 にていて、 にていて、 にていて、 にていていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	下、「改修標準仕様書」と 外部機関((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築設備編)」による・ (部) (部) (部) の 意世は施工図により協議決定する。 経済と協議する・ あなどの軽微な変更については、 ドカッターによる・	向 灯設瘤	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受雷部 2 避雷導体 3 接地極 4 その他 1 盤形式 2 変圧器の種類 3 基礎 4 配線エ事 6 消火器 7 概器詳細 1 形式	 過負荷、欠相、連相機電器は熱動型とする・ ・ 素指針付電流針(定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥した場所のコンパクト形器具 (27W以下)を除く)なお、接地飽は次による。ケーブル配線の場合は1.6mmの絶線電線(緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1芯(緑色)を使用してもよい。 ・ 特記によるもの以外は大型連用型とする ・ 電弧の軽振により色を区別する。 ・ 埋込型が電盤からの立上リ予幅配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ天井の場合は、天井欠は梁下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。ユニエ井の場合は、天井内はで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。・ 記管は、予備の配線遮断器が4倍以下の場合は(22)×1、5億以上の場合は(22)×2とする。・ ・ 空針 ・ 線上導体 ・ 金属製手器等・ 銅より線(s q) ・ 建築構造体利用・ 単独(鋼板埋設 ・ 建築構造体利用・ 単独(鋼板埋設 ・ 地本)・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	自動火災報知設備	3 非常警報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その地 1 ガス漏れ火災警報装置 1 ガス漏れ火災警報装置 2 用流 3 高調波対策 4 機器詳細	副受信機
版)」(以下、「標準性検書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事権学図文 機械設備工事及び建築工事を本工事に合き 特記仕様表 章は◆印、項目は番号に〇印、特記項目に ① 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の得類 ④ 電気工作物の得類 ⑤ 電気工事士 ⑥ 工事用版設物 8 官公署への届出等 ③ 工事写真・ ① 施工計画書 ② 疑微な変更 ④ 原形復旧 ⑥ 振工計画書	「公共建築の核工事編率仕様書(電気設備工事編((電気製価工事編)(平成3 1年版) 「以下、「相 で備気機工事編(平成3 1年版) 「以下、「相 で動き、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は②印をそれぞれつけたものを適用する。 ②日本工業規格品とし、製造者の選定については ・の設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を ・他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出 ②事業用電気工作物。 一般用電気工作物 ・事業用電気工作物においては電気主任技術者を ・の電気保及技術者は、電気主任技術者を ・の電気保及技術者は、電気主任技術者を ・ので表の変な工事用電力、水等の使用料金は、 ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は、 ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は、 ・本工事に必要なである。で 全て請負者の負担とする。 ・本工事に必要なである。で 全て請負者の負担とする。 ・本工事に必要なである。 ・本工事に必要なである。 ・本工事に必要なである。 ・本工事に必要なである。 ・本に関連のでは、は、ゲーカーリストを作成 ・受完成図書等を作成する。 ・完成図書を作成する。 ・発成図書を作成する。 ・教作図の施工図、見本等は、速やかに整備を受ける。 ・製作図の施工図、見本等は、速やかに整備を受ける。 ・製作図の施工図、見本等は、速やかに整備を受ける。 ・製作図の施工図、見本等は、速やかに登場にでいる ・製作図の施工図、見本等は、速やかに登場にでは、 ・製作図の施工図、見本等は、速やかに登場にでは、 ・製作図が表示は、できかした。 ・製作図の施工の、を可能のでは、 ・製作図の施工の、を可能のでは、 ・製作図の施工の、を可能のでは、 ・製作図の施工に伴う所説の破損箇所等は従来に ・②既存コンクリート味、壁などの質通節の穴明け付 ・企理付け差異、、床置き機器、天井付け機器の撤去が ・工事の発による。	(平成31年版)」(以 準個)という。)による。 特配 管質の承諾を得ること。 ですることのとする。 2階(おくものとする。 とし、第一種常工・本受電のという。 2階におくものとする。 とし、第一種常工・本受電のという。 2階におくものとする。 とし、第一種含む。(本受電の基準をいよります。) 1部 2部 別 別明書による。 、完計・部であり、る。 には、音気では、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、る。 には、音気であり、こ。 には、音気であり、音をない。 には、音をない。 には、音をない。 には、音をない。 には、音をない。 はない。	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築設備編)」による・ (部) (部) (部) 立置は施工図により協議決定する。 路員と協議する・ るなどの軽微な変更については、 ドカッターによる・ 天井面の変色等は補修を行う。	商的資金	5 保護継電器 6 その他 ① 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受雷部導体 3 接地極 4 その他 1 盤形式 2 変圧器の種類 3 基礎 4 配線ビット及び蓋 5 接地工事 6 消火器詳細	 過負荷、欠相、連相機電器は熱動型とする・ ・ 素指針付電流針(定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥した場所のコンパクト形器具 (27 W以下) を除く) なお、接換組な次による。 ケーブル配線の場合は 1. 6 mmの絶線電線 (線色) を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの 1 芯 (線色) を使用してもよい。 ・ (特配)とあもの以外は大型連用型とする ・ (電込型分電盤からの立上リ予電配管は予慮の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ末井の場合は、天井又は使下 20 0 mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・ 三重天井の場合は、天井又は使下 20 0 mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・ 三重天井の場合は、天井又は使下 20 0 mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・ 電管は、予備の配線遮断器が4 個以下の場合は(22)×1、5 個以上の場合は(22)×2とする。 ・ 突針 ・ 様上導体 ・ 金属製手摺等・ 領より線 (s q) ・ 建築構造体利用・ 建築構造体利用・ 建築構造体利用・ 建築構造体利用・ 建築構造体利用・	自動火災報知設備	3 非常警報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その地 1 ガス漏れ火災警報装置 1 男路方式 2 用途 3 高盟波対策 4 機器計編 1 地中線式の余長	■受信機 の単体 の複合的災盤 同回総数 火軽 (実装 / 容量 ・ の 接合態 の 消火拴組公 / 海火大型
版)」(以下、「標準性検書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事標準図 想機設備工事及び建築工事を本工事に合 特記仕様 章は●印、項目は番号に○印、特記項目に ① 機材等 ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の模類 電気工事な力を 電気工事士 ⑥ 工事用成設物 8 官公署への届出等 ③ 工事等真・ ⑥ 工事写真・ ⑥ 工事音(② 振な変更 ① 経数な変更 ① 経数な変更 ① 経数な変更 ① 原形復旧 ② 経数な変更 ① 原形復旧 ⑤ 類点な変更 ② 概数なの補修	「公共建築の核工事標率仕様者(電気設備工事編((電気製価工事編)(平成3 1 年版) 」(以下 「相 む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は②印をそれぞれつけたものを適用する。 ③日本工業規格品とし、製造者の選定については ②股構機材は、設計図書に定める品質及び性能を 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出 ③事業用電気工作物。 一般用電気工作物 。事業用電気工作物。 一般用電気工作物 。事業用電気工作物においては電気主任技術者を ②電気保安技術者は、電気主任技術者を ②製物電力500kW以上の電気工作物において。 (今本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は、 ②本工事に必要な官庁署その他関係機関への語手 ②手成で表でといては、諸官で等と打ち合わせること。 ②目本交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写」 ②主成図書 ②上げイズ) 製本 ②完成図書等を作成する。 完成図書等を作成する。 完成図書等を作成する。 完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 。機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ②実施工程接を作成し、監督員の承証を受ける。 ②本版日図の器具配置及び、取付位置は位置関係: 。製作図、施工図、見本等は、速やかに監督員に ②関本の収まり、取り合いなどの関係です法、 ・製作図、施工図、見本等は、速やかに監督員に ②関本の収まり、取り合いなどの関係です法、 ・製作図、施工図、見本等は、速やかに監督員に ②関本の収まり、取り合いなどの関係です法、 ・製作図、施工図、見本等は、速やかに監督員に ②関本の収まり、取り合いなどの関係です法、 ・製作図、施工図、見本等は、速やかに監督員に ②関本では、 ②関本では、 ②の関本では、 ②は、 ②の関本では、 ②のは、 ②のは、 ②のは、 ③のは、 ④のは、 ④のは、 ④のは、 ④のは、 ④のは、 ④のは、 ④のは、 ④のは、 ④のは、 ④のは、 ④のは、 ④のは、 ④のは、 ④のは、 ④のは、	(平成31年版)」(以 準理図という)による。 特記 管質の承諾を得ること。 持記 管質の承諾を得ること。 することの診明資料又は、 元承諾を受ける。 思場におくものとするのをはし、電気程電気工をない に電気程電気工をのよります。 で表し、電気程電気工をのよります。 は、電気程電気工をのよります。 であります。 であります。 とは、これであります。 とは、これでを受ける。 に要する費用は請負者の 1部 2部 別明書によるの表話を受ける。 に示さした場合はと、連やの更する。 に又は、工法を多か。 に収壊は行わない。 に収壊は行わる。 に収壊は行わる。 に収壊は行わる。 に収壊は行わる。 に収め取りが、それ、壁面、 の取り付けボルトれ、望面、 の取り付けボルトれ、	下、「改修標準仕様書」と 外部機関((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築設備編)」による・ (部) (部) (部) (部) が のを関し、より協議決定する。 をなどの軽微な変更については、 ドカッターによる・ 、 天井面の変色等は補修を行う。 。 。	海灯設備	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受雷部 2 避雷導極 4 その他 1 盤形式 2 変圧器の種類 3 基礎 4 配線エ事 6 消火器 7 概器詳細 1 形式 2 蓄電池 3 基礎 3 基礎	 過負荷、欠相、連相機電器は熱動型とする・ ・素指針付電流針(定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。(乾燥した場所のコンパクト形器具(27W以下)を除く)なお、接地飽は次による。ケーブル配線の場合は1.6mmの絶線電線(緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1芯(緑色)を使用してもよい。 ・特記によるもの以外は大型連用型とする ・電辺型が電盤からの立上リ予幅配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・重正井の場合は、天井内は空下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。・正正井の場合は、天井内は空上げ、アウトレットボックスを取り付ける。・配管は、予備の配線遮断器が4億以下の場合は(22)×1、5億以上の場合は(22)×2とする。・ ・突針 ・ 権上導体 ・ 金属製手器等・ 卵より線(sq) ・ 建築構造体利用・ 単独(頻布埋設 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	自動火災報知設備 会装置 火災警報設備 会議	3 非常警報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その他 1 ガス漏れ火災警報装置 1 昇降方式 2 2 用油金 3 高調波対策 4 機器詳細 1 地中線式の余長 2 地中線理設表示 3 装柱機材	副受信機
版)」(以下、「韓維仕様書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事権率回 ② 機械設備工事及び建業主義を工事に合 特記仕様検 章は●印、項目は番号に〇印、特記項目に ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気保ます土 ⑤ エ事用電かか 8 官公事者への届出等 ⑨ エ事写真・ ⑥ 完成図書等 ⑥ 完成図書等 ⑥ 能工計画書	「公共建築の核工事標率仕様書(電気設備工事場((電気製価工事制)(平成31年版) 「以下、「相 む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は②印をそれぞれつけたものを適用する。 ③日本工業規格品とし、製造者の選定については ②設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出 ③事業用電気工作物。 一般用電気工作物 。事業用電気工作物においては電気主任技術者を ②電気保安技術者は、電気主任技術者を制 ②製物電力500kW以上の電気工作物において。 (※本工事に必要な工事用電力、水中使用料金は、 ②本工事に必要な工事用電力、水中使用料金は、 ②本工事に必要な官庁署その他関係機関への語手 ②手成では、第官で等と打ち合わせること。 ②目立交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写」 ②主成図書 ②元成図書等を作成する。 完成図書等を作成する。 完成図書等を作成する。 完成図書等を作成する。 一次の一次では、第官で等と打ち合かとこと。 ②完成写真 (Lサイズ) 製本 ②完成写真 (Lサイズ) 製本 ②完成写真 (Lサイズ) 製本 ②完成写真 (Lサイズ) 製本 ②完成回書等を作成する。 完成図書原記で及び、取付位置は位置問題に 。製作図の施工図、見本等は、速やかに監督員に ②関場の収まり、取り合いなどの関係です法、 ・製作図、施工図、見本等は、速やかに監督員に ②国面及び仕様書に閉記のない場合叉は、疑いを ②現場の収まり、取り合いなどの関係です法、 ・製作図、施工図、見本等は、速やかに監督員に ②関本では、 ②関本では、 の単位では、 の単位では、 の単位では、 の単位では、 の単位では、 の単位では、 の単位では、 の単位でするの、 ・ の単位でするの、 ・ の単位でする。 ・ のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、	(平成31年版)」(以 理図」という。)による。 特配 管質の承諾を得ること。 特配 管質の承諾を得ること。 では、第一種会社の表現では、 では、第一種会社の表現では、 では、第一種会社の表現では、 では、第一種会社の表現では、 は、第一種会社の表現では、 を等に要する費用は請負者の では、第一種会社のであり、 には、第一種会社のであり、 には、第一種会社のであり、 には、第一種会社のであり、 には、第一種会社のであり、 には、第一種会社のであり、 には、第一種会社のであり、 には、第一種会社のであり、 には、第一種会社のであり、 には、第一種会社のであり、 には、第一種会社のであり、 には、第一種会社のであり、 には、第一種会社のであり、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築設備編)」による・ (部) (部) (部) (部) たびこの軽微な変更については、 ドカッターによる・ 天井面の変色等は補修を行う。 。 。 処理について指示を受ける。 ・ 小形二次電池 。	海灯設備	5 保護継電器 6 その他 ① 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 愛書事体 3 接地極 4 その他 1 盤形式 2 変圧器の種類 3 基礎 4 配線ビット及び蓋 5 接地工事 6 消火器詳細 1 形式 2 蓄電池	 適負荷、欠相、連相機電器は熱動型とする・。素指針付電流計 (定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。 (乾燥した場所のコンパクト形器具 (2 7 W以下) を除く) なお、接地線は次による。 ケーブル配線の場合は1.6 mmの絶線電線 (緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1 芯 (緑色)を使用してもよい。 ○特記によるもの以外は大型連用型とする ○電源の種類により母を区別する。 ・埋込型分電盤からの立上リ予備配管は予備の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ天井の場合は、天井又は実下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ユニエオの場合は、天井又は実下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、予備の配線遮断器が4個以下の場合は (2 2) × 1、5個以上の場合は (2 2) × 2とする。 ・定管は、予備の配線遮断器が4個以下の場合は (2 2) × 1、5個以上の場合は (2 2) × 2とする。 ・変針 棟上導体 ・金属製手摺等・銀より線 (sq) ・建築構造体利用・単独 (網板埋設 ・建築構造体利用・建築機造体利用・建築機造体利用・建築機造体利用・建築機造体のでは、の場面・水工事・別途・本工事・別途・本工事・別途・本工事・別途・本工事・別途・本工事・別途・本工事・別途・本工事・別途・本工事・別途・本工事・別途・本工事・別途・本種単独 ・の() ・ 各種単独 ・選電器単独 ・ () ・ 各種単独 ・ 選出器単独 ・ () ・ 公園でして、受験が新・・の別途 ・ () ・ 別図による。 ・ 国内キュービクル形 ・ 間放形 ・ 調査鉛蓄電池 (ペント式 ・制御弁式 ・ ()) ・ アルカリ蓄電池・ 減液等機装置 ・ 温度等機装置 	自動火災報知設備	3 非常管報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その地 1 ガス漏れ火災警報装置 1 ガス漏れ火災警報装置 1 男路方式 2 用途 3 高調波対策 4 機器詳細 1 地中線式の余長 2 地中線理設表示	副受信機 。単体 。複合防災盤 同回総数
版)」(以下、「輝準仕権書」という。) いう。)及び「公共建業設備工事権学園之 機械設備工事及び建築主事を本工事に合 特記仕様核 章は●印、項目は番号に〇印、特記項目に ① 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気工作物の種類 ④ 電気果果 工事用電政設物 8 官公署への周出等 ⑤ 工事写真・ ⑥ 工事写真・ ⑥ 正計画書 ② を数な変更 ⑥ 旋工計画書	「公共建築の核工事標準仕様書(電気設備工事場((電気管備工事場)(平成31年版) 「以下 「精 で場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は③印をそれぞれつけたものを適用する。 ③日本工業規格品とし、製造者の遺定については (②設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を 他) が発行する資料等の写しを監督職員に提出 ③事業用電気工作物 。 一般用電気工作物表 ・事業用電気工作物 。 一般用電気工作物表 ・事業用電気工作物 。 一般用電気工作物表 ・電気保安技術者は、電気主任技術者の職務を結 (②契約電力500k以以上の電気工作物においては 構内に造ることが ②できる 全工算し金を女工事用電力、水等の使用料金は 構内に造ることが ②できる ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金 ・できることが 全て請負者の負担とする。 ・本工事に必要な工事所電力、水等ので用料金は ・本工事に必要な百庁署その他関係機関への話手 ②完成図書等を作成する。 完成図書を1にサイズ入 製本 ・完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ②完成写真 (Lサイズ) 製本 ・完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ②完成写真 (Lサイズ) 製本 ・完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ②完成写真 (Lサイズ) 製本 ・完成図の原因サイズ及び仕様 ②現場 ・環境のでは、速行力は位置は空間関係 ・機器のが指針に生態関して整理した整理に の本は中の能力は一般表の機器に ・製作のといては整督員に「PCB使用電 ・再に関係といり場合は整理を ・可能として清掃、成果に ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成産を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、の能と ・可能として清掃、の能と ・可能として清掃、の能と ・可能として清掃、の能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能を ・可能と	(平成31年版)」(以 理図1という)による。 特記 管質の表現では、 特記 管質の不能を得ること。 ですることの証明である。 には、年間である。 には、年間である。 には、第一におくものとする。 には、第一におくものとする。 には、第一におくものとする。 には、第一におくものとする。 には、第一におくものとする。 には、第一におくものとする。 は、第一におくものとする。 は、第一におくものとする。 は、第一におくものとする。 は、第一におくるのとする。 は、第一におくるのとする。 は、第一におくるの表現といる。 に、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、またいまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、またいまといまない。 は、またいまといまない。 は、またいまといまない。 は、またいまといまないまない。 は、またいまといまない。 は、またいまといまない。 は、またいまといまない。 は、またいまないまない。 は、またいまないまない。 は、またいまない。 は、またいまないまない。 は、またいまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまない	下、「改修標準仕様書」と 外部機関((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築股債編)」による・ ((部) ((部) ((部) ((部) ((部) ((部) ((部) ((部	海灯設備	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 愛習雷神体 4 その他 1 愛習雷神極 4 その他 1 整形式 2 変圧器 4 配線ビリト及び蓋 5 接地工事 6 消火器詳細 1 形式 2 蓄礎 2 末 2 素 3 基礎 4 元 2 表 3 基礎 4 元 2 表 3 基礎 4 元 2 素 3 基礎 4 元 4 元 3 基礎 4 光 2 器 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4	 過負荷、欠相、逆相緩電器は熱動型とする・。素指針付電流針(定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。(乾燥 た場所のコンパクト形器具(27 W以下)を除く)なお。接地線は次による。ケーブル配線の場合は1.6 mmの絶縁電線(緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1 な (緑色)を使用してもよい。 ○特記によるもの以外は大型連用型とする。 ○電源の種類により色を区別する。 ・埋込型外電盤からの立上リ予幅配管は予慮の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ユ亜天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	自動火災報知設備 ○装置 ○火災警報設備 ○設備 ○線路 ○構内	3 非常警報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その他 1 ガス漏れ火災警報装置 1 昇降方式 2 2 用油金 3 高調波対策 4 機器詳細 1 地中線式の余長 2 地中線理設表示 3 装柱機材	副受信機
版)」(以下、「輝準性株書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事及び建築主義を工事生物を工事に会す 特記仕様業 章は●印、項目は番号I-O印、特記項目は 現 目 ① 機材砂備工事及び建築工事を本工事に会す 特記仕様業 章は●印、項目は番号I-O印、特記項目は ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気 工作物の種類 ④ 電気 保安技術者 ⑤ 電気 保安技術者 ⑤ 電気 果田 東田	「公共建築の体工事権率仕様者(電気設値工事機((電気管値工事機)(平成31年版) 「以下、「精 で場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は③印をそれぞれつけたものを適用する。 ④日本工業規格品とし、製造者の選定については ④設備機材は、設計回塞に定める品質及が性能を ・他が発行する資料等の写しを監督器員に提出 ・事業用電気工作物にあいては電気五任技術者を ・電気保安技術者は、電気主任技術者の職務を緒 ・受約物電力500kW以上の電気工作物においては電気工作の書工作を ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は 構内に造ることが ②できる 全て請負者の負担とする。 ・本工事」と必要な官庁業その他関係機関への諸手と ・野耕園については、諸官庁等と打ち合わせる事と ・受耗の国書を作成の主と ・回覧の原因サイズ及び仕様 ②現成 ・規範となります。 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ・実施図書等を作成する。 完成図書 完成図書等を作成、監督員の承諾を受ける。 ・製料図、施工図、見大等は、速やかし監督負いを ・製作図、施工図、見大等は、速やかし監督長いを ・製作図、施工図、見大等は、速やかし監督長いを ・の関係の収まり、取り合いなどの関係ですは会 ・製作図、施工図、見大等は、速やかし監督長いを ・の関係の収まり、取り合いなどの関係ですは、金値 ・製作図、施工の、見大等は、速やかし監督長いを ・の関係の収まり、取り合いなどの関係ですは、金値 ・製作図、施工図、見大等は、速やかし監督長いを ・の関係は、までは、までは、までは、 ・の関係をは、までは、までは、 ・の関係としていては監督長にでする ・の、こま区分表による。 ・引達しを要するもの ・のともと思るもの (。 ・のとは表生といては監督長に「COB使用電 ・の、当まなに表する。 ・の、までは、までは、までは、までは、 ・の、までは、までは、までは、までは、 ・の、までは、までは、までは、 ・の、までは、までは、までは、 ・の、までは、までは、 ・の、までは、までは、 ・の、までは、までは、 ・の、までは、までは、 ・の、までは、までは、 ・の、までは、	(平成31年版)」(以 理図1という)による。 特記 管質の表現では、 特記 管質の不能を得ること。 ですることの証明である。 には、年間である。 には、年間である。 には、第一におくものとする。 には、第一におくものとする。 には、第一におくものとする。 には、第一におくものとする。 には、第一におくものとする。 には、第一におくものとする。 は、第一におくものとする。 は、第一におくものとする。 は、第一におくものとする。 は、第一におくるのとする。 は、第一におくるのとする。 は、第一におくるの表現といる。 に、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、またいまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、またいまといまない。 は、またいまといまない。 は、またいまといまない。 は、またいまといまないまない。 は、またいまといまない。 は、またいまといまない。 は、またいまといまない。 は、またいまないまない。 は、またいまないまない。 は、またいまない。 は、またいまないまない。 は、またいまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまない	下、「改修標準仕様書」と 外部機関((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築股債編)」による・ ((部) ((部) ((部) ((部) ((部) ((部) ((部) ((部	海灯設備	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 愛習雷神体 4 その他 1 愛習雷神極 4 その他 1 整形式 2 変圧器 4 配線ビリト及び蓋 5 接地工事 6 消火器詳細 1 形式 2 蓄礎 2 末 2 素 3 基礎 4 元 2 表 3 基礎 4 元 2 表 3 基礎 4 元 2 素 3 基礎 4 元 4 元 3 基礎 4 光 2 器 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4	 過負荷、欠相、逆相緩電器は熱動型とする・。素指針付電流針(定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。(乾燥 た場所のコンパクト形器具(27 W以下)を除く)なお。接地線は次による。ケーブル配線の場合は1.6 mmの絶縁電線(緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1 な (緑色)を使用してもよい。 ○特記によるもの以外は大型連用型とする。 ○電源の種類により色を区別する。 ・埋込型外電盤からの立上リ予幅配管は予慮の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ユ亜天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	自動火災報知設備 ○装置 ○火災警報設備 ○ 設備 ○ 線路 ○ 構内記電	3 非常管報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その地 1 ガス漏れ火災警報装置 1 昇降方式 2 用途 3 高盟波対策 4 機器計劃 1 地中線定設表示 3 装柱機材 4 外灯 5 その他	副受信機 の単体 の複合的災盤 同回線数 火軽 (実装 / 容量 ・ の 接急館 の 大水 (実装 / 容量 ・ の 接急館 の 大水 (実装 / 容量 ・ の 接急館 の 大水 (実装 / 容量 ・ の 表に機 表示灯 ・ 単体 の 総合館 の 清水 を超込 (単独) の 野越 本 (中助確認が) の 表に表しまり 空調機 の 連 は の は (実装 / 容量 ・ の 作助確認が) の ま出 を (地元 の) の の の の の の の の の の の の の の の の の
版)」(以下、「標準性検書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事標準図 復機設備工事及び建築工事を本工事に合 特記仕様 章は●印、項目は番号に○印、特記項目に ① 機材の品質・性能証明 ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気工事電力・水 ① 工事用仮設物 8 官公署への届出等 ③ 工事費・ ① 完成図書等 ① 施工計画書 ② 接級な変更 ① 原形復旧 ⑤ 事用機器	「公共建築の核工事標準仕様書(電気設備工事場((電気管備工事場)(平成31年版) 「以下 「精 で場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は③印をそれぞれつけたものを適用する。 ③日本工業規格品とし、製造者の遺定については (②設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を 他) が発行する資料等の写しを監督職員に提出 ③事業用電気工作物 。 一般用電気工作物表 ・事業用電気工作物 。 一般用電気工作物表 ・事業用電気工作物 。 一般用電気工作物表 ・電気保安技術者は、電気主任技術者の職務を結 (②契約電力500k以以上の電気工作物においては 構内に造ることが ②できる 全工算し金を女工事用電力、水等の使用料金は 構内に造ることが ②できる ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金 ・できることが 全て請負者の負担とする。 ・本工事に必要な工事所電力、水等ので用料金は ・本工事に必要な百庁署その他関係機関への話手 ②完成図書等を作成する。 完成図書を1にサイズ入 製本 ・完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ②完成写真 (Lサイズ) 製本 ・完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ②完成写真 (Lサイズ) 製本 ・完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ②完成写真 (Lサイズ) 製本 ・完成図の原因サイズ及び仕様 ②現場 ・環境のでは、速行力は位置は空間関係 ・機器のが指針に生態関して整理した整理に の本は中の能力は一般表の機器に ・製作のといては整督員に「PCB使用電 ・再に関係といり場合は整理を ・可能として清掃、成果に ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成産を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、成果を ・可能として清掃、の能と ・可能として清掃、の能と ・可能として清掃、の能と ・可能として清掃、の能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能と ・可能を ・可能と	(平成31年版)」(以 理図1という)による。 特記 管質の表現では、 特記 管質の不能を得ること。 ですることの証明である。 には、年間である。 には、年間である。 には、第一におくものとする。 には、第一におくものとする。 には、第一におくものとする。 には、第一におくものとする。 には、第一におくものとする。 には、第一におくものとする。 は、第一におくものとする。 は、第一におくものとする。 は、第一におくものとする。 は、第一におくるのとする。 は、第一におくるのとする。 は、第一におくるの表現といる。 に、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 には、またいまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、またいまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、第一にないまする。 は、またいまといまない。 は、またいまといまない。 は、またいまといまない。 は、またいまといまないまない。 は、またいまといまない。 は、またいまといまない。 は、またいまといまない。 は、またいまないまない。 は、またいまないまない。 は、またいまない。 は、またいまないまない。 は、またいまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまない	下、「改修標準仕様書」と 外部機関((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築股債編)」による・ ((部) ((部) ((部) ((部) ((部) ((部) ((部) ((部	海灯設備	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 愛習雷神体 4 その他 1 愛習雷神極 4 その他 1 整形式 2 変圧器 4 配線ビリト及び蓋 5 接地工事 6 消火器詳細 1 形式 2 蓄礎 2 末 2 素 3 基礎 4 元 2 表 3 基礎 4 元 2 表 3 基礎 4 元 2 素 3 基礎 4 元 4 元 3 基礎 4 光 2 器 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4	 過負荷、欠相、逆相緩電器は熱動型とする・。素指針付電流針(定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。(乾燥 た場所のコンパクト形器具(27 W以下)を除く)なお。接地線は次による。ケーブル配線の場合は1.6 mmの絶縁電線(緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1 な (緑色)を使用してもよい。 ○特記によるもの以外は大型連用型とする。 ○電源の種類により色を区別する。 ・埋込型外電盤からの立上リ予幅配管は予慮の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ユ亜天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	自動火災報知設備	3 非常警報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その他 1 ガス漏れ火災警報装置 1 ガス漏れ火災警報装置 2 用油 3 高調設対策 4 機器詳細 1 地中線式の余長 2 地中線式の余長 3 装柱機材 4 外灯 5 その他 1 地中線式の余長	■受信機 の 単体 の 複合防災盤 同回縁数 の 火輪 (実装 / 容量 ・ の 進撃権 (実装 / 容量 ・ の 接撃権 (実装 / 容量 ・ の 発信機 表示灯 ・ 単体 の 総合盤 の 海火栓組込 (単独) の の の の の の の の の の の の の の の の の の の
版)」(以下、「福建仕様書」という。) いう。)及び「公共建設設備工事標準図 ② 機械設備工事及び建築工事を本工事に合 特記仕様検 章は●印、項目は番号に○印、特記項目に ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気工事を大力・水 丁事用仮設物 8 官公署への届出等 ③ 工事電力・水 ① 上京の最出等 ④ 電気要更 ⑥ エ計画書 ⑥ 原形復旧 ⑥ 原形復旧 ⑥ 原形復旧 ⑥ 解表との補修 ⑥ 電気などの補修 ⑥ 電気などの補修 ⑥ 電気などの のの配出等 ④ 電気などの のの配出等 ④ 電気などの のの配出等 ④ 電が、な変更 ⑥ 原形復旧 ⑥ 原形復旧 ⑥ 解表後の補修 ⑥ 電外の処理	「公共建築の核工事標準仕様書(電気設備工事場((電気管備工事場)(平成31年版) 「以下 「精 で場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は②印をそれぞれつけたものを適用する。 ③日本工業規格品とし、製造者の遺定については (②設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を 他) が発行する資料等の写しを監督職員に提出 ③事業用電気工作物。 一般用電気工作物表 ・事業用電気工作物。 一般用電気工作物表 ・事業用電気工作物においては電気主任技術者を (②契約電力500k以以上の電気工作物においては 構内に造ることが ②できる 全工算し会を女工事用電力、水等の使用料金は 構内に造ることが ②できる 会工事工を必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事所電力、水等ので用料金は ・本工事に必要な工事所電力、の語手 ②完成図書等を作成する。 完成図書を作成する。 完成図書を作成する。 完成図書を作成する。 完成図書を作成し、監督員の承諾を受ける。 ・、完成図書 (Lサイズ) 製本 ・ 完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・ 機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 (②実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。 ・ 完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・ 機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ②完成写真 (Lサイズ) 製本 ・ 完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・ 電景の不諾を受けること、 ・ 完成図の原図サイズ及び関係では、 ・ 取り会は、と変り、 ・ 製作のと、と変い表しな関係では、 ・ のまのとの関係では、 ・ のまのとの関係では、 ・ のまの表による。 ・ 引強しを要するもの (。 ・ のまの表との表と表による。 ・ 引強しを要するもの (。 ・ のまの表との表と表による。 ・ 引強とを要するもの (。 ・ のまの表と表との表と表といまして、 ・ のまの表と表との表との表との表とまして、 ・ のまの表との関係では、 ・ のまの表との関係では、 ・ のまの表との関係を表との関係を表との表との表との表と表との表と表と表との表と表と表と表と表と表と表と表と表と	(平成31年版)」(以 理図1という)による。 特記 管質の表現では、 特記 管質の不能を得ること。 ですることの証明である。 には、電気電気工作なの表現では、、第一電気であり、 には、電気電気工作の表現では、 におくものとする。 には、電気電気工作の表現では、 におくものとする。 には、工作なの表現では、 におくものとする。 には、工作なの表現では、 は、第一電気であり、 は、第一であり、 は、第一であり、 に要する費用は購負者の が、 に要する費用はよる。 にの場り方(改訂第18節を受ける。 にといるであり、ことではない。 にといるであり、ことには、 にない。 には、工作ない。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	下、「改修標準仕様書」と 外部機関((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築股債編)」による・ ((部) ((部) ((部) ((部) ((部) ((部) ((部) ((部	海灯設備	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 愛習雷神体 4 その他 1 愛習雷神極 4 その他 1 整形式 2 変圧器 4 配線ビリト及び蓋 5 接地工事 6 消火器詳細 1 形式 2 蓄礎 2 末 2 素 3 基礎 4 元 2 表 3 基礎 4 元 2 表 3 基礎 4 元 2 素 3 基礎 4 元 4 元 3 基礎 4 光 2 器 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4 元 4	 過負荷、欠相、逆相緩電器は熱動型とする・。素指針付電流針(定格電流指示) ②コードペンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接地する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。(乾燥 た場所のコンパクト形器具(27 W以下)を除く)なお。接地線は次による。ケーブル配線の場合は1.6 mmの絶縁電線(緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの1 な (緑色)を使用してもよい。 ○特記によるもの以外は大型連用型とする。 ○電源の種類により色を区別する。 ・埋込型外電盤からの立上リ予幅配管は予慮の配線用遮断器数に応じて次のように設ける・スラブ天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ユ亜天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	自動火災報知設備 一 装置 一 火災警報設備 一 設備 一 線路 一	3 非常管報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その地 1 ガス漏れ火災警報装置 1 昇降方式 2 用途 3 高盟波対策 4 機器計劃 1 地中線定設表示 3 装柱機材 4 外灯 5 その他	副受信機
版)」(以下、「標準性検書」という。) いう。)及び「公共建築設備工事標準図 2 機械設備工事及び建立工事を本工事に合 「積極性検索」は●印、項目は番号(○○印、特記項目に ① 機材の品質・性能証明 ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気工作物の種類 ⑤ 電気用電力・水 ⑦ エ事用仮設物 8 官公署 への届出等 ⑤ エ事用の設物 8 官公署 への届出等 ⑥ エ計画書 ① 疑成図書等 ① た成図書等 ① た成図書等 ② 軽微な変更 ② 原形復旧 ⑤ 新生物の処理 ③ 電気用機器	「公共建築の核工事標準仕様書(電気設備工事場((電気管備工事場)(平成31年版) 「以下 「精 で場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は②印をそれぞれつけたものを適用する。 ③日本工業規格品とし、製造者の遺定については (②設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を 他) が発行する資料等の写しを監督職員に提出 ③事業用電気工作物。 一般用電気工作物表 ・事業用電気工作物。 一般用電気工作物表 ・事業用電気工作物においては電気主任技術者を (②契約電力500k以以上の電気工作物においては 構内に造ることが ②できる 全工算し会を女工事用電力、水等の使用料金は 構内に造ることが ②できる 会工事工を必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は ・本工事に必要な工事所電力、水等ので用料金は ・本工事に必要な工事所電力、の語手 ②完成図書等を作成する。 完成図書を作成する。 完成図書を作成する。 完成図書を作成する。 完成図書を作成し、監督員の承諾を受ける。 ・、完成図書 (Lサイズ) 製本 ・ 完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・ 機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 (②実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。 ・ 完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・ 機器及び材料の選定は、メーカーリストを作成 ②完成写真 (Lサイズ) 製本 ・ 完成図の原図サイズ及び仕様 ②現場 ・ 電景の不諾を受けること、 ・ 完成図の原図サイズ及び関係では、 ・ 取り会は、と変り、 ・ 製作のと、と変い表しな関係では、 ・ のまのとの関係では、 ・ のまのとの関係では、 ・ のまの表による。 ・ 引強しを要するもの (。 ・ のまの表との表と表による。 ・ 引強しを要するもの (。 ・ のまの表との表と表による。 ・ 引強とを要するもの (。 ・ のまの表と表との表と表といまして、 ・ のまの表と表との表との表との表とまして、 ・ のまの表との関係では、 ・ のまの表との関係では、 ・ のまの表との関係を表との関係を表との表との表との表と表との表と表と表との表と表と表と表と表と表と表と表と表と	(平成31年版)」(以 「特記 「特記 「特記 「特記 「特記 「特記 「特記 「特記	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築設備編)」による・ ((部)) ((部)) ((部)) ((部)) 。 位置は施工図により協議決定する。 を替などの軽微な変更については、 ドカッターによる・ 天井面の変色等は補修を行う。。。 ・ル形二次電池 。 り付ける。ただし、絶縁劣化等 出遊切処理	向灯設縮	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受雷部体 3 接地地他 1 盤形式 2 変圧器の種類 3 基礎総ピット及び蓋 5 接地工事 6 海火器評細 1 形式 2 基礎 2 表現 3 基礎 4 表現 4 表現 4 表現 4 表現 4 表現 4 表現 5 機器詳細	・通負荷、欠相、逆相離電器は熱動型とする・ ・素相針付電池村・佐和電流指示) ②コードベンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接触する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。(依機した場所のコンパクト形器具(27W以下)を除く) なお、接地輸出次による。 ケーブル配線の場合は1.6 mmの終端電線(緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの 1.5 (場色)を使用してもよい。 ②特記によるもの以外は大型連用型とする ○電源の種類により色を区別する。 ・理型型を整からの立上り季配配管は子債の配線用遮断器数に応じて次のように設ける。 スラブス井の場合は、天井又は梁下20 mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・里型型の電からの立上り季配管はデータトレットボックスを取り付ける。 ・正要は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・電景上線(第本理路・ 3 a a a a a a a a a a a a a a a a a a	自動火災報知設備	3 非常管報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その地 1 ガス漏れ火災警報装置 1 男路方式 2 2 用途 3 3 高盟政対策 4 4 機器詳細 1 地中線定設表示 3 3 禁柱機材 4 5 その他 1 地中線可の余長 2 1 地中線理設表示 4 2 地中線理設表示	耐臭性酸
版)」(以下、「揮準性機畫」という。) いう。)及び「公共建築法備工事及び建築工事を本工事に会 特配仕様様 章は●印、項目は番号に〇印、特配項目に ① 機材の品質・性能証明 ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気工作物の種類 ⑥ 電気工事士 ⑥ 工事用仮設物 8 官公署 への届出等 ② 工事事用仮設物 8 官公署 への届出等 ② 正計画書 ① 完成図書等 ① 施工計画書	「公共建築の株工事権率仕様者(電気設備工事場((電気設備工事場)(平成31年駅) 「以下、「精 で場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は③印をそれぞれつけたものを適用する。 ④日本工業規格品とし、製造者の選定については ⑥設備機材は、設計回雲に定める品質及び性能を 他)が発行する資料等の事しを監督器員に提出 ⑤事業用電気工作物。 一般用電気工作物 。事業用電気工作物においては電気五任技術者を ②戦約電力500kW以上の電気工作物においては電気五任技術者を ②戦約電力500kW以上の電気工作物において (会本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は 構内に遠ることが ②できる 全て請負者の負担とする。 金工事に必要なす時常差での他関係機関への諸手と ②詳細については、諸官庁等と打ち合わせること。 ②質が重点をでは、まで、 ②に返回書を作成が、電気主なが、「本事」、 ②完成図書等を作成する。 完成図書等を作成が、電気の 完成図書集を作成、、監督員の承諾を受ける の実施工程集を作成、、監督員の承諾を受ける ・製作図、施工図、最大では、速やかし監督を ・製作図、施工図、最大では、速やかし監督を ・製作図、施工図、最大等は、速やかし監督を ・製作図、施工図、最大等は、速やかし監督を ・製作図、施工図、最大等は、速やかし監督を ・製作図、施工図、最大等は、速やかし監督を ・製作図、施工図、最大等は、速やかし監督を ・製作図、施工図、最大等は、速やかし監督を ・製作図、施工図、表では、速やかし監督を ・製作図、施工図、表では、速でが、は、 ・製作図、施工図分表による。 ・引渡しを要するもの (。。 ・ののより、取り合いなどの関係です法、値 を ・型・とのでは、まです。 ・型・は、までは、までは、 ・型・は、までは、 ・型・は、までは、 ・型・は、までは、 ・型・は、 ・関・は、 ・型・は、 ・型・は、 ・型・は、 ・型・は、 ・型・は、 ・型・は、 ・型・は、 ・電・は、 ・種、 ・型・は、 ・種、 ・種、 ・種、 ・種、 ・種、 ・種、 ・種、 ・種	(平成31年版)」(以 「特記 「特記 「特記 「特記 「特記 「特記 「特記 「特記	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築設備編)」による・ ((部)) ((部)) ((部)) ((部)) 。 位置は施工図により協議決定する。 を替などの軽微な変更については、 ドカッターによる・ 天井面の変色等は補修を行う。。。 ・ル形二次電池 。 り付ける。ただし、絶縁劣化等 出遊切処理	向幻影·	5 保護継電器 6 その他 ① 照明器具の接地 ② 配線器具類 3 予備配管 4 その他 1 受雷部	・過食荷、欠相、連相観電器は熱動型とする・ ・	自動火災報知設備	3 非常管報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その他 1 ガス漏れ火災警報装置 1 月降方式 2 用途 3 高間波対策 4 機器詳細 1 地中線式の余長 2 地中線型設表示 3 装板棟付 4 外灯 5 その他 1 地中線型設表示 3 その他	副受信機 。 単体 ・総合館 ・ 海火投網及
版)」(以下、「揮準性機畫」という。) いう。)及び「公共建築法備工事及び建築工事を本工事に会 特配仕様様 章は●印、項目は番号に〇印、特配項目に ① 機材の品質・性能証明 ② 機材の品質・性能証明 ③ 電気工作物の種類 ④ 電気工作物の種類 ⑥ 電気工事士 ⑥ 工事用仮設物 8 官公署 への届出等 ② 工事報の配出等 ② 上海 の原配出等 ② 上海 の原配出等 ③ 配工計画書	「公共建築の株工事権率仕様者(電気設備工事場((電気設備工事場)(平成31年駅) 「以下、「精 で場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事 は③印をそれぞれつけたものを適用する。 ④日本工業規格品とし、製造者の選定については ⑥設備機材は、設計回雲に定める品質及び性能を 他)が発行する資料等の事しを監督器員に提出 ⑤事業用電気工作物。 一般用電気工作物 。事業用電気工作物においては電気五任技術者を ②戦約電力500kW以上の電気工作物においては電気五任技術者を ②戦約電力500kW以上の電気工作物において (会本工事に必要な工事用電力、水等の使用料金は 構内に遠ることが ②できる 全て請負者の負担とする。 金工事に必要なす時常差での他関係機関への諸手と ②詳細については、諸官庁等と打ち合わせること。 ②質が重点をでは、まで、 ②に返回書を作成が、電気主なが、「本事」、 ②完成図書等を作成する。 完成図書等を作成が、電気の 完成図書集を作成、、監督員の承諾を受ける の実施工程集を作成、、監督員の承諾を受ける ・製作図、施工図、最大では、速やかし監督を ・製作図、施工図、最大では、速やかし監督を ・製作図、施工図、最大等は、速やかし監督を ・製作図、施工図、最大等は、速やかし監督を ・製作図、施工図、最大等は、速やかし監督を ・製作図、施工図、最大等は、速やかし監督を ・製作図、施工図、最大等は、速やかし監督を ・製作図、施工図、最大等は、速やかし監督を ・製作図、施工図、表では、速やかし監督を ・製作図、施工図、表では、速でが、は、 ・製作図、施工図分表による。 ・引渡しを要するもの (。。 ・ののより、取り合いなどの関係です法、値 を ・型・とのでは、まです。 ・型・は、までは、までは、 ・型・は、までは、 ・型・は、までは、 ・型・は、までは、 ・型・は、 ・関・は、 ・型・は、 ・型・は、 ・型・は、 ・型・は、 ・型・は、 ・型・は、 ・型・は、 ・電・は、 ・種、 ・型・は、 ・種、 ・種、 ・種、 ・種、 ・種、 ・種、 ・種、 ・種	(平成31年版)」(以 「特記 「特記 「特記 「特記 「特記 「特記 「特記 「特記	下、「改修標準仕様書」と 外部機関 ((社)公共建築協会 業務を行う。 り施工する。 基本料金も引渡しまで本工事に含む) の負担とする。 建築設備編)」による・ ((部)) ((部)) ((部)) ((部)) 。 位置は施工図により協議決定する。 を替などの軽微な変更については、 ドカッターによる・ 天井面の変色等は補修を行う。。。 ・ル形二次電池 。 り付ける。ただし、絶縁劣化等 出遊切処理	向 s 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	保護維電器 その他	・通負荷、欠相、逆相離電器は熱動型とする・ ・素相針付電池村・佐和電流指示) ②コードベンダント以外は放電灯器具及び水気のある場所の白熱灯器具は接触する。なお金属管配管の場合は、配管を利用してもよい。(依機した場所のコンパクト形器具(27W以下)を除く) なお、接地輸出次による。 ケーブル配線の場合は1.6 mmの終端電線(緑色)を添える。ただし、電灯配線と同一太さのケーブルの 1.5 (場色)を使用してもよい。 ②特記によるもの以外は大型連用型とする ○電源の種類により色を区別する。 ・理型型を整からの立上り季配配管は子債の配線用遮断器数に応じて次のように設ける。 スラブス井の場合は、天井又は梁下20 mmまで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・里型型の電からの立上り季配管はデータトレットボックスを取り付ける。 ・正要は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・配管は、天井内まで立上げ、アウトレットボックスを取り付ける。 ・電景上線(第本理路・ 3 a a a a a a a a a a a a a a a a a a	自動火災報知設備	3 非常管報装置 4 その他 1 自動閉鎖装置 2 その地 1 ガス漏れ火災警報装置 1 ガス漏れ火災警報装置 2 をの他 1 昇降方式 2 用途 3 高調波対策 4 機器詳細 1 地中線式の余長 2 地中線埋設表示 3 装柱機材 4 外灯 5 その他 1 地中線埋設表示 3 大の他 2 地中線埋設表示 3 大の他	副受信機 。 単体 ・総合館 ・ 海火投網及



		7.3h.505 / A \	南 复(5)	=0./# (3.4)	Dil SA	信	.	考
項	工事施工区分	建築(A)	電気(E)	設備(M)	別途	1/4	Ħ	考
1	コンクリート躯体貫通スリーブ取付		•	•				
2	同上周囲補強							
3	鉄骨貫通スリーブ(溶接一体)							
4	天井切込み(天井下地含む)							
5	同上補強及び補修仕上(同上)	•						
6	床及び壁面の切込み開口(設備工事に関係のもの)		•	•				
7	同上補強及び補修仕上 (同 上)	•						
8	床下トレンチ及びピット	0						
9	同上換気口							
10	床下点検用ハッチ(蓋・枠・縁上部仕上共)							
11	天井点検用ハッチ (同上)							
12	パイプシャフト点検用ハッチ (同上)	0						
13	発電機及びキュービクル基礎工事(補強筋共)							
14	同上アンカーボルト箱入れ、穴開け							
15	屋内各種機器基礎工事(補強筋共)							
16	同上アンカーボルト箱入れ、穴開け							
17	屋上設置用機器基礎工事(補強筋共)	0						
18	同上アンカーボルト箱入れ、穴開け			0				
19	機械室内消音断熱仕上							
20	シャッター(操作盤・スイッチ・操作線共)							
21	同上電源供給及び操作盤への接続工事							
22	自動ドア(操作盤・スイッチ・接続共)							
23	同上電源供給及びスイッチへの配管配線							
24	電気錠(本体)							

項	工事施工区分	建築(A)	電気(E)	設備(M)	別途	備	考
49	カーテン及びブラインド				•		
50	外部に面する吸排気ガラリ			•			
51	同上ダクト接続用金具			•			
52	ドアガラリ、換気口(内部)	•					
53	外部に面する換気口			•			
54	一般フード(厨房・調理・湯沸室等)			0			
55	外部に面するウェザーカバー			•			
56	壁付け換気扇類			•			
57	同上取付枠			•			
58	外部に面する換気扇取付後の防水シーリング			•			
59	天井埋込換気扇及びダクト、ベントキャップ			•			
60	防火区画等の貫通処理		0	0			
61	避雷針及び同接地工事						
62	自動制御用2次側配管・配線		0	•			
63	空調設備制御盤と2次側電気配管・配線		•	•			
64	動力設備制御盤と2次側電気配管・配線		•				
65	テレビ電波障害近隣対策用配管						
66	電話交換機、試験台、MDF類						
67	同上用直流電源装置、充電器、蓄電池類						
68	同上用配管入線工事						
69	電話機及び接続						
70	エレベーター(扉共)						
71	同上用三方枠						
72	同上電源供給						

項	工事施工区分	建築(A)	電気(E)	設備(M)	別途	備	考	
25	電気錠 電源供給及び接続機器							
26	煙感知器連動による防火戸自動開放閉鎖装置	0						
27	同上配管配線、レリーズ取付接続、受信盤取付		0					
28	煙感知連動によるシャッター自動閉鎖装置							
29	同上配管配線、リレーズ取付接続、受信盤取付							
30	液面電極棒(支持固定装置共)							
31	同上用リレー(制御盤内臓)							
32	液面電極棒とリレーとの配管配線接続工事							
33	屋内消火栓ボックス							
34	同上表示ランプ、組込ベル、発信機とその取付工事							
35	雨水樋及び養生管、ルーフドレン	•						
36	雨水竪樋末端と側溝又は雨水桝との接続工事	•		•				
37	雨水会所桝及び雨水排水工事			•				
38	雑排水桝、汚水桝及び排水工事			•				
39	側溝最終桝と排水会所桝との接続工事			•				
40	流し台、ガス台	•		0				
41	一般陶器製流し台			•				
42	厨房機器							
43	タオル掛、雑巾掛			•				
44	吊戸棚	•						
45	紙巻器・手摺			•				
46	カガミ・洗面カウンター			•				
47	カーテンボックス、ブラインドボックス	•						
48	カーテンレール	•						

項	工事施工区分	建築(A)	電気(E)	設備(M)	別途	備	考
73	同上インターホン及び入線エレヘ゛ーター内配管・配線						
74							
75							
76							
11							
78							
79							
80	受電通水後竣工引渡し迄の電気、カ゛ス、上下水道使用料金	•	•	•			
81	同上 基本料金 (電気)	•	•	•			
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							

	設計年月日	設計	作図	圖 瀬口建築設計事務所
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 ロ 啓 一
76 川林竹目 47 内				〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085

工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.	
大分西部森林管理署	工事区分表	N. S	E-3	
院内森林事務所 新築工事	工爭戶方衣	N, 3	L-3	

盤名称	結線図	回路		開閉	器	相	電圧	負荷名称	容量		—— 考
溢 4 M	布板丛	番号	SB	ELCB	P • AF/AT	1世	(V)	貝 們 石	(VA)	1)用 ·	4
L-1 鋼板製壁掛露出型 指定色仕上											
1 φ 3W200/100V	×	101	0		2 • 50/20	1	100	事務室 照明			
	MCCB3P	102		0	2 • 50/20	1	100	倉庫他 照明			
	100/75	301	0		2 • 50/20	1	100	倉庫他 コンセント			
		302		0	2 - 50/20	1	100	便所 コンセント			
		303	0		2 • 50/20	1	100	電気温水器用 コンセント			
		304	0		2 • 50/20	1	100	事務室 コンセント			
		305		0	2 • 50/20	1	100	事務室 コンセント			
		306		0	2 • 50/20	1	100	電気温水器用 コンセント			
	_	307	0		2 • 50/20	1	100	冷蔵庫用 コンセント			
	_	308		0	2 • 50/20	1	100	事務室 コンセント			
	_	309		0	2 • 50/20	1	100	コピー機用 コンセント			
		310	0		2 - 50/20	1	100	予備			
	_	311	0		2 • 50/20	1	100	予備			
		401		0	2 • 50/20	1	200	空調室外機(PAC-1)			
	ET ET (ELB)										
S-1 屋外防水壁掛型 SUS製 指定色仕上											
1 φ 3W200/100V				0	3 - 100/75	1	200/100				
	ET _O										

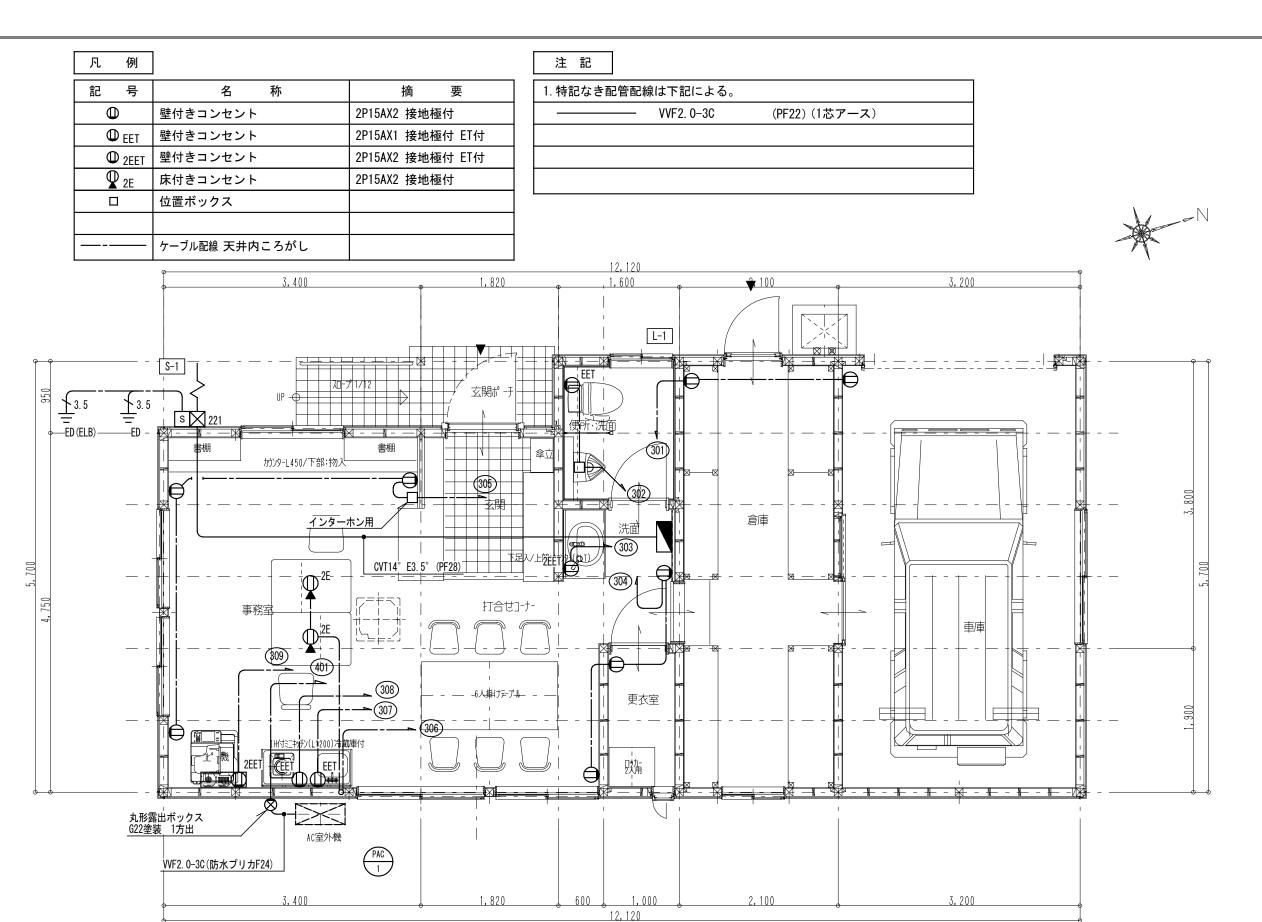
T-1 鋼板製壁掛露出型 指定色仕上

電話	電話	その他		
保安器10P SP	端末器 SP	-		

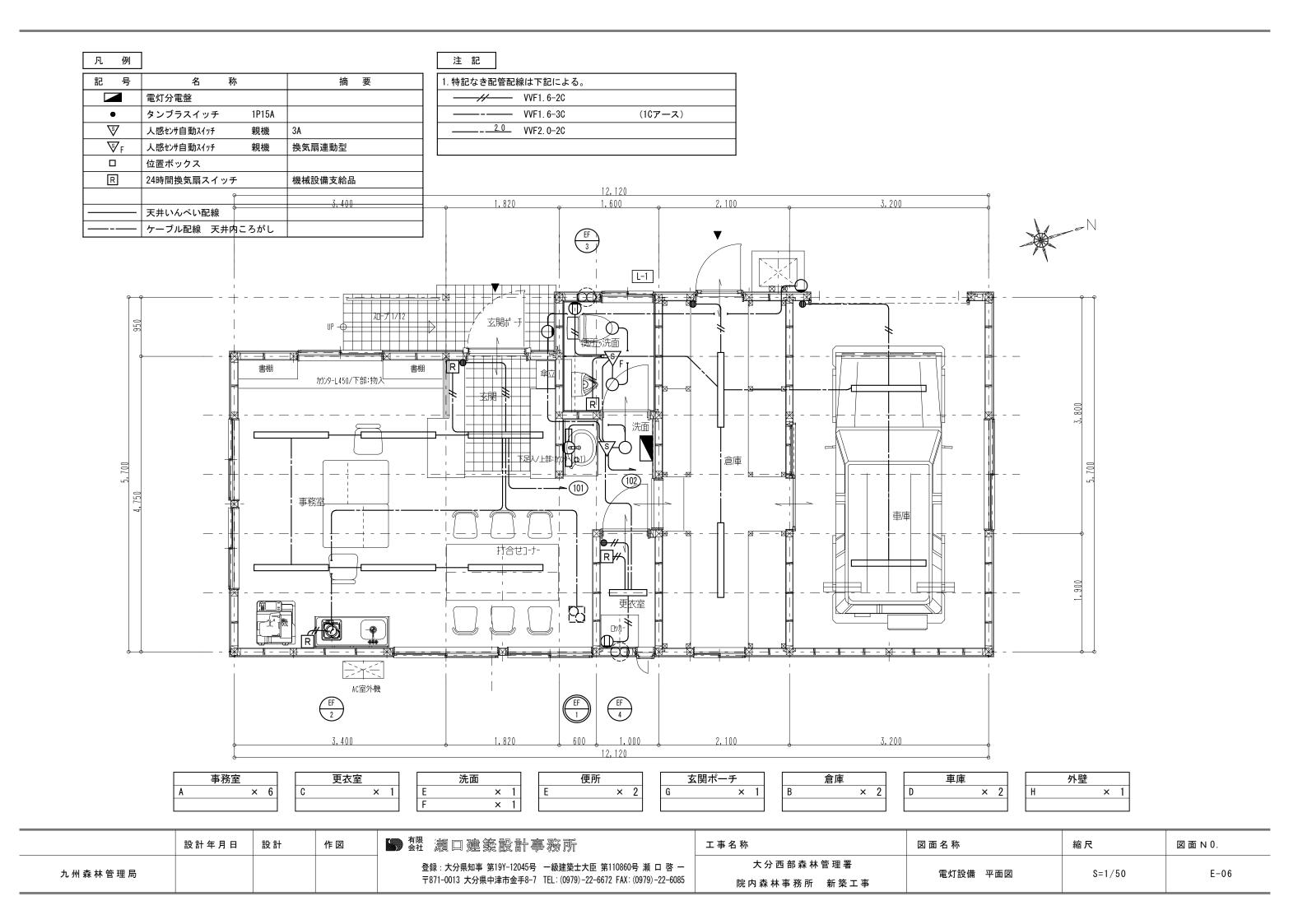
照明器具姿図

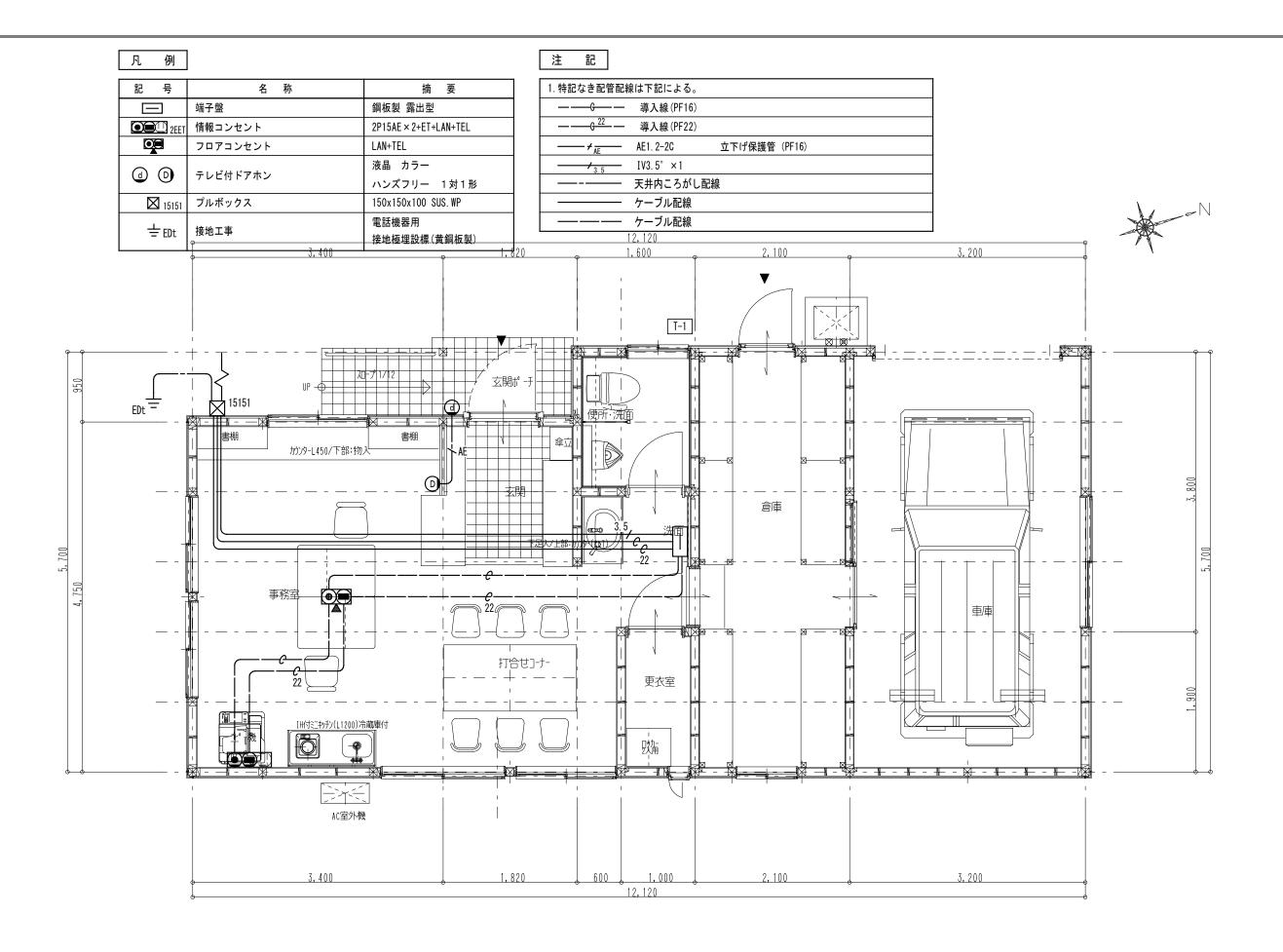
	吴 经 凶		
A	LED 埋込型40形 下面開放型	E	LED ダウンライト
€		<u>.</u>	
消費電力3 本体: 亜鉛 反射板: 鋼 ライトバー 光源寿命40	52001mタイプ 1.9W、定格出力型、電圧100~242V 解板 (高反射白色粉体塗装) (カパー):ボリカーボネート(乳白) 000時間(光束維持率65%) 000K)、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵	5000K、Ra85 光源遮光角15度、光 器具光束:6101m 反射板(上部):プラ 反射板(下部):鋼板	? (ひと粒) タイプ〉、電源ユニット内蔵、一般光色タ・5、拡散タイプ 5、拡散タイプ 源海命40000時間(光束維持率85%) 6、消費電力:4、2W、電圧:100-242V スチック(ホワイト) 5、(ホワイトつや消し仕上) や消し仕上)、埋込穴φ100
パナソニック 埋込X	LX450PENTLE9 相当品	パナソニック XND	0639WNLE9 相当品
В	LED 直付型40形	F	LED ブラケット
一般	プ、2000 I mタイプ 13、1W、定格出力型、電圧100~242V 板 (白色粉体) まポリカーボネート (乳白) 4000 0時間 (光束維持率85%) 5000 K)、Ra83 はライトバー側に内蔵	拡散が カバー 両面(き (5000K)、Ra83 施表8401m、消費電力9.5W、電圧100V タイプ、天井直付型・壁直付 ・プラスチック (乳白) 地数タイプ 450 H=65 出しろ64
パナソニック 直付X	LX410AENPLE9 相当品	パナソニック LGB	85042LE1 相当品
С	LED 直付型20形	G	LED ブラケット
消費・計算を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	ブ、1600 l mタイプ 11.6W、定格出力型、電圧100~242V 板(白色粉体型) ー (カバー):ボリカーボネート(乳白) 4000の時間(実維持率85%) 5000K)、Ra83 はライトバー側に内蔵	器具光束5 拡散マネイジ ツパイー: プラ 本体! 照度 調!	方式、NaPiOn・明るさセンサ付 クリル(乳白) スチック (ホワイト) 登機能付
パナソニック 直付X D	LX210AENCLE9 相当品	パナソニック LGW H	/C80360LE1 相当品
- 般9 イブ、2 5 消費電力 2 5 消費 3 2 5 1 5 1 6 3 1 1 5 1 6 3 1 1 6 3 1 1 7 1 1 8 1 1	M、定格出力型、電圧100~242V クロムフリー・高反射白色粉体塗装) イトバー:ポリカーボネート(乳白)+アクリルコーティン の時間(光実維持革85%) 昼白色(5000K)、Ra83	電球色(実際開発)	LED プラケット 2700K)、Ra80 1841m、消費電力4、3W、電圧100V majl掛パネカ式、明るさセンサ付アクリル (乳白) 、 (プラチナメタリック)

	設計年月日	設計	作図	★ 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	大分西部森林管理署院内森林事務所 新築工事	盤結線図・照明器具姿図	N, S	E-04



	設計年月日	設計	作図	多	工事名称	図面名称	縮尺	図面 N 0.
九州森林管理局			登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 ロ 啓 一		コンセント設備 平面図	S=1/50	E-05	
20川林作日生间				〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL: (0979)-22-6672 FAX: (0979)-22-6085	院 内 森 林 事 務 所 新 築 工 事			コンピント欧洲 「岡岡





	設計年月日	設計	作図	看R 類口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面 N 0.
九 州 森 林 管 理 局		登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一	大分西部森林管理署	弱電設備 平面図	S=1/50	E-07		
		〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	院 内 森 林 事 務 所 新 築 工 事		,			

機械設備工事仕様書

1. 工 事 概 要

1. 工事場所 市 宇佐 郡 院内 大字原口434-5

2. 建物概要

建物名称	構造	階 数	延べ面積 (m [°])	消 防 法 施 行 令 別 表 第 一	備考
院内森林事務所	木造	1	64. 12	15項	新築建物

3 エ 事 種 目 (●印を付けたものを適用する)

建物別及び屋外		I	事	種 別	
工事種目	院内森林事務所				屋外
● 空気調和設備	8				
● 換気設備	•				
〇 排煙設備					
○ 自動制御設備					
● 衛生器具設備	8				
● 給水設備	8				
● 排水設備	8				
● 給湯設備	8				
〇 消火設備	0				
○ 厨房設備					
● ガス設備	8				
○ 浄化槽設備	0				
0					
● 撤去工事	8				
● 仮設工事	8				

4. 設備 概要(本工事における、工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。 ①印を付けたものが該当する。なお、改修の場合は既存概要を示す。)

方式及び種別	設 備 概 要
空調方式	・ダクト方式 ・ ファンコイルユニット ・ダクト併用方式 〇パッケージ方式
主要熱源機器	・ファンコイル方式 ・
自動制御方式	・電気式 ①電子式 ・デジタル式 ・中央監視制御
給 水 方 式	③水道直結方式 ・高置タンク方式(⊙ 市水 ・)・ポンプ直送方式(・市水 ・雨水) ・直結増圧方式
排水方式	○建物内汚水、雑排水 (・ 分流 ○ 合流)建物外放流先(1) 汚水 ○直放流下水管 ・浄化槽(2) 雑排水 ○直放流下水管 ・浄化槽 ・側溝
消防用設備等の種別	・屋内消火栓設備 ・スプリンクラー設備 ・不活性ガス消火設備 ・泡消火設備 ・砂粉末消火設備 ・屋外消火栓設備 ・連結送水管設備 ・連結散水設備
ガ ス の 種 別	・都市ガス(種別 、高位発熱量 MJ/Nm3、低位発熱量 MJ/Nm3 供給圧力 Pa,供給事業者名) ・液化石油ガス

2. 工 事 仕 様

九州森林管理局

(1) 現場説明書(現場説明に対する質問回答書を含む)、本特記仕様及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣 / 然場が引き、然場が引に対する実際回日音を目が、不可能には及び回回に乱なされているが予測は、デュと回上及回目八年 官房官庁営籍部監修の「公共建築工事標準仕棟書(機械設備工事編)(平成25年版)」(以下、「複準仕様書」という。) 「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成25年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建 築設備工事標準図(機械設備工事編) (平成25年版)」(以下、標準図という。)による。

設計

作図

(2)電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様書を適用する。

設計年月日

2 .	特	話	仕	様
	(1)	章は	は●印	の付いたもの、項目は番号に〇印の付いたものを適用する。
	(2)	特記	事項	は、 ⊙ 印の付いたものを適用する。

有するものとする。

本工事 ⊙ 別途

• (

(基本料金等を含む)

⊙構内敷きならし

再利用をはかる

現場説明書による

(2) 化学物質を放散させる機材等

測定対象物質、測定方法及び測定筒所は(・ 現場説明書 ・

⊙ 配管施工(配管工事) ⊙ 建築板金(ダクト製作及び取付)

調查項目 · 配管系統

· 図示 ·

工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。

• 図示 •

この工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用は、すべて受注者の負担とする。

構内指定場所へのたい積 ・ 構外搬出

国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課営繕技術管理室監修の機械設備工事承諾図様式集(平成22年版)

引き渡しを要するもの ・ あり () ① なし 引き渡しを要するもの以外は構外搬出適切処理 (構外搬出処理費は ・ 別途 ・本工事) とする。

現場説明書による

工事名称

大分西部森林管理署

院内森林事務所 新築工事

建設大臣官房庁営繕部監修「工事写真の撮り方」(改訂第2版 建築設備編)による。

○ 完成図等 ○ 作成する 完成図の原図サイズ及び仕様 ○ 現場説明書による

・ 風量調整 ・ 室内外空気の温湿度の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 初期運転状態の記録

(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目を書いたアクリル樹脂製の案内板を機械室に設ける。 案内板の大きさは、約 m²とする。

 既設配管を含む部分の試験
 ④ 要 (方法及び圧力
 10K
) ガスは別途ガス供給規程

 ・ 不要

換気扇、圧力扇、及び標準仕様書に記載無く、特記のない電動機の規格は、製造者規格による標準品としてよい。

保全に関する資料の部数

・本工事で設置とする。(改修標準仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。)

冷凍空気調和機器施工(冷凍空調機器の据付)

調査範囲

調査方法

構内につくることが (・ できる ① できない)

既存部分の養生は、改修標準仕様書第1編3章による。

⊙ 根切り土の中の良質土 ⊙ 山砂の類

・ 工程写真 (Lサイズ) 製本 1部 (部)・ 完成写真 (Lサイズ) 製本 1部 (部)

本工事・別途調整項目(測定箇所等は監督職員の指示による。)

(1)機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。

なお、検査費は(・ 本工事 ・ 別途)とする。

振動の測定 飲料水の水質の測定

・内部足場等(・ 外部足場等(・

○別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。

事前調査 ⊙ 本工事 ・ 別途 調査内容

特 記 事 項

(1)本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有するべき品質及び性能を

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安業務を

○設けない ・設ける(・ 既存の建物内の一部を使用する。 ・ 構内に新設する (m2程度)

本工事の建物内部に使用する建築材料等の選定に当たっては、揮発性有機化合物の拡散による健康への影響に 配慮し、化学物質安全データシート (MSDS) の提出について、監督職員と事前に協議を行うこと。

) による。

熱絶縁施工(保温工事)

項目

1 材料・機材等

2 室内空気中の化学物質

の濃度測定

3 電気保安技術者

4 技能士の適用

5 監督員事務所

7 官公署その他へ

8 工事用電力・ 水・その他

9 工事用仮設物 10 足場・さん橋類

11 卷 生

共

事

12 建設発生土の処理

13 埋め戻し土・盛土

14 機材の承諾図

15 発生材の処理等

16 工事写真等

17 図面の製本

19 案内板

20 総合調整

21 試験

22 電 動 機

23 容量等の表示

24 非破壊検査

18 完成時の提出図書

の届出手続き等

6 施工調査

登録: 大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一 〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL: (0979)-22-6672 FAX: (0979)-22-6085

非破壊検査等による調査を実施する。

検査対象箇所(

					-
		設計用標準水平 <u>震度</u> ・ 特定の施設	① 一般の施設		
			器 重要機器 一般機器		
		上層階、			
		屋上及び塔屋 防振措置機器 2.0 2.0 1.5 2.0 1.5 2.0 1.5 2.0 1.5 2.0 1.5 2.0 2.0 1.5 2.0 2.			
		機 器 1.5 1.0	1. 0 0. 6		
		中間階 防振措置機器 1.5 1.5			
		水 槽 類 1.5 1.0 機 器 1.0 0.6			
		地階及び1階 防振措置機器 1.0 1.0			
		水槽類 1.5 1.0			
		注1)上層階・中間階の定義は次のとおりとする 上層階とは、 2~6階建の場合は最上階		- 屋2階	
			13階建以上の場合は上		
		中間階とは、 地階、1階を除く各階で上層	「階に該当しない階。		
		注2)機器種別の欄の「機器」は、防震設置機器	. 水槽額以外の機器を示す。		
		重要機器とは、以下の機器とする。	C C C C C C C C C C C C C C C C C C C		
		・ ボイラー ・ 冷凍機 ・)			
		空気調和機(・ ユニット形・ 水槽類(・ 受水タンク ・		77 – 216)	
		· 消火設備機器 · 排煙設備	幾器		
		(2) 設計用鉛直地震力は、設計水平地震力の 1/2 と	+		
		(2) 政計用和自地展別は、政計小十地展別の1/22	y 3 0.		
	26 配 管	(1)建物導入部の変位吸収方法は、標準図(建物導)	、部の変位吸収配管要領)によ	る。	
_		(a)・(b)・(c)(2)溶接部の非破壊検査・不要・要	()		
		(3) ステンレス配管施工	,		
		1) コンクリート壁・床への埋め込み、スリーブ賞	通部及びその他躯体との絶縁 [箇所には、プラスチックテープ	
		を1/2重ね1回巻きを施す。 2)保温のアルミ、ネット、巻き線、菊座等が直接	控飾し かいょうに 拡下する		
		3) 地中埋設管は、管を土壌に接触させないように			
		4) 地中埋設から地上あるいはピット等に至る管に		を設ける。	
		5) ステンレス管に使用する60A以上の弁はステンレ	ス鋼弁とする。		
般	27 地中埋設標等	地中埋設配管(排水管を除く)			
		(1)地中埋設標・要(・	給水管・ガス管・) ・ 不要	
		(2) 地中埋設テープ(3) 要(・ 鋼管についてはポリエチレン製ダブル、樹脂ใ	んから パスピー・ ガス管 ⊙ をについてはアルミ製ダブルと) ・ 不要 - する。	
		2,2,		. , , ,	
	28 はつり	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図]面に特記のない場合はダイヤ	モンドカッターによる。	
	29 塗 装	次の範囲内の裸の亜鉛鉄板、配管(亜鉛メッキされたも	の)、吊りボルトは塗装を行	iā.	
	30 保温	標準仕様事等9週によるほか、図売に柱配のかい根合け	て印による ただし タエ	事種日本別にお守されたものは除く	
	30 抹 温	標準仕様書第2編によるほか、図面に特記のない場合は ・衛生配管の保温材の種類 (○ 給水管 ◎ 給湯管		▶惺目で別に指定されたものは除く。)	
共		材料 屋内露出 機械室等	屋内隠ぺい ピット内	屋外露出	
		*゚リスチレンフォーム ロックウール		0	
			⊚ Ο Δ		
		・空調配管の保温材の種類 (○ 冷温水管 ◎冷媒管 材料 屋内露出 機械室等		屋外露出	
		木・リスチレンフォーム		0	
		ロックウール グラスウール			
		9 7 1 9 1			
通		・ダクトの保温材の種類			
		材料 屋内露出 機械室等	屋内隠ぺい ピット内	屋外露出	
		ロックウール			
		ロックウール グラスウール			
		グラスウール		## + A + \	
		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、メ			
		グラスウール			
		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、メモの仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mmとする。			
事		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、メモの仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mmとする。 ・配管の保温の外装	厚さは配管の呼び径25mm以下	のものは50mm、呼び径32mm以上の	
事		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、メモの仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mとする。 ・配管の保温の外装 屋 一般居室・廊下 ・合成樹脂製カー 機械室・書庫・倉庫 ・アルミガラス・	厚さは配管の呼び径25mm以下 ・カラー亜鉛象 クロス	のものは50mm、呼び径32mm以上の	
事		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、X その仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mmとする。 ・配管の保温の外装 ・配管の保温の外装 ・一般居室・廊下 ・合成樹脂製か、	厚さは配管の呼び径25mm以下 ボー・カラー亜鉛針 ウロス ウロス	のものは50mm、呼び径32mm以上の	
事		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、米その仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mmとする。 ・配管の保温の外装 屋 一般居室・廊下 ・合成樹脂製力・ アルミガラス・ クアルミガラス・ アルミガラス・ アルミガラス・ アルミガラス・ アルミガラス・ アルミガラス・ アアルミガラス・ アイ・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	厚さは配管の呼び径25mm以下 パー・カラー亜鉛針 ウロス ラスクロス ラスクロス	のものは50mm、呼び径32mm以上の	
事		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、X その仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mmとする。 ・配管の保温の外装 ・配管の保温の外装 ・一般用室・廊下 ・合成樹脂製力・ クアルミガラス ス井内・PS内 ・ アルミガラス 東下・暗渠内 ・	厚さは配管の呼び径25mm以下 パー ・カラー亜鉛動 クロス クロス ラスクロス ス (冷媒管) 板 ・溶融7をよう4~	のものは50mm、呼び径32mm以上の 装板 亜鉛鉄板	
事		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、X その仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mmとする。 ・配管の保温の外装 ・配管の保温の外装 ・一般居室・廊下 ・合成樹脂製力・ アルミガラス 天井内・PS内 ・アルミガラス テ井内・PS内 ・	厚さは配管の呼び径25mm以下 パー・カラー亜鉛を クロス クロス ラスクロス ス (冷蝶管) 坂 ・溶融7をニウムー 坂 ・溶融7をニウムー	のものは50mm、呼び径32mm以上の 装板 亜鉛鉄板 亜鉛鉄板	
事		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、X その仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mmとする。 ・配管の保温の外装 ・配管の保温の外装 ・一般用室・廊下 ・合成樹脂製力・ クアルミガラス ス井内・PS内 ・ アルミガラス 東下・暗渠内 ・	厚さは配管の呼び径25mm以下 パー・カラー亜鉛を クロス クロス ラスクロス ス (冷蝶管) 坂 ・溶融7をニウムー 坂 ・溶融7をニウムー	のものは50mm、呼び径32mm以上の 装板 亜鉛鉄板 亜鉛鉄板	
事		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、パモの仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mmとする。 ・配管の保温の外装 ・配管の保温の外装 ・一般居室・廊下 ・合成樹脂製か、	厚さは配管の呼び径25mm以下 パー・カラー亜鉛象 クロス クロス ラスクロス ス (冷蝶管) 版・溶融7メミニウムー 版・ネ融7メミニウムー 数・ステンレス鋼板製	のものは50mm、呼び径32mm以上の	
		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、パモの仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mmとする。 ・配管の保温の外装 ・配管の保温の外装 ・一般居室・廊下 ・	厚さは配管の呼び径25mm以下 パー ・カラー亜鉛金 クロス クロス ラスクロス ス (冷媒管) 版 ・溶融7メニニウムー版 ・溶融7メニニウムー 製 ・ステンレス鋼板製 クロス ・カラー亜鉛銭	のものは50mm、呼び径32mm以上の	
事		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、ス その仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。 ものは40mとする。 ・配管の保温の外装 一般居室・廊下 ・合成樹脂製カースカー、・一般居室・廊下 ・プルミガラス・アルミガラス・アナル・ガース・アルミガラス・アナルミガース・アンレス鋼と関係は、 (全) 塩化ビニル樹脂・ダクト管の保温の外装 「(注) 保温化粧ケースは(② 塩化ビニル樹脂・ダクト管の保温の外装 「機械室・倉庫・書庫 ・アルミガラス・カラー・一般居室・廊下 ・ステンレス鋼	厚さは配管の呼び径25mm以下 バー・カラー亜鉛数 クロス クロス ラスクロス ス (冷媒管) 版 ・溶融7ルニウムー版 ・ オール・カラー亜鉛数 クロス・カラー亜鉛数	のものは50mm、呼び径32mm以上の	
		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、パモの仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mmとする。 ・配管の保温の外装 屋 機械室・書庫・倉庫 ・ アルミガラス 天井内・PS内	厚さは配管の呼び径25mm以下 バー・カラー亜鉛数 クロス クロス ラスクロス ス (冷媒管) 版 ・溶融7ルニウムー版 ・ オール・カラー亜鉛数 クロス・カラー亜鉛数	のものは50mm、呼び径32mm以上の	
		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、パモの仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mmとする。 ・配管の保温の外装 屋 機械室・書庫・倉庫 ・ アルミガラス	厚さは配管の呼び径25mm以下 パー ・カラー亜鉛数 クロス ラコスフス ス (冷媒管) 版 ・溶融7xニーウムー 版 ・溶融7xニーウムー 製 ・ステンレス鋼板製 クロス ・カラー亜鉛数	のものは50mm、呼び径32mm以上の <u>株板</u> <u>亜鉛鉄板</u> 亜鉛鉄板 ・ カラー鉄板製)とする。 	
		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、パモの仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mmとする。 ・配管の保温の外装 屋 機械室・書庫・倉庫 ・ アルミガラス 天井内・PS内	厚さは配管の呼び径25mm以下 パー ・カラー亜鉛動 クロス クロス ラスクロス ス (冷媒管) 板 ・溶融7k;=ウムー 板 ・ステンレス鋼板製 クロス ・カラー亜鉛動板	のものは50mm、呼び径32mm以上の	
		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、パ その仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。 ものは40mmとする。 ・配管の保温の外装 一般居室・廊下 ・合成樹脂製力・ 天井内・PS内 ・アルミガラス 天井内・PS内 ・ 一般足をサーションス領 東下・暗渠内 ・ 一条をアルミガラス 原外露出 ・ ○ステンレス鋼 (注)保温化粧ケースは (・ 塩化ビニル樹脂 ・ダクト管の保温の外装 「機械室・倉庫・書庫 ・アルミガラス 中般居室・廊下 ・ ステンレス鋼 スランしス鋼 ・カラー亜鉛鉄	厚さは配管の呼び径25mm以下 パー ・カラー亜鉛動 クロス クロス ラスクロス ス (冷媒管) 板 ・溶融7k;=ウムー 板 ・ステンレス鋼板製 クロス ・カラー亜鉛動板	のものは50mm、呼び径32mm以上の	
	31 電線類	グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、パ その仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。 ものは40mmとする。 ・配管の保温の外装 一般居室・廊下 ・合成樹脂製力・ 天井内・PS内 ・アルミガラス 天井内・PS内 ・ 一般足をサーションス領 東下・暗渠内 ・ 一条をアルミガラス 原外露出 ・ ○ステンレス鋼 (注)保温化粧ケースは (・ 塩化ビニル樹脂 ・ダクト管の保温の外装 「機械室・倉庫・書庫 ・アルミガラス 中般居室・廊下 ・ ステンレス鋼 スランしス鋼 ・カラー亜鉛鉄	厚さは配管の呼び径25mm以下 パー・カラー亜鉛針 クロス クロス ス (冷媒管) 版・溶融7ルミーウムー 数・ステンレス鋼板製 クロス・カラー亜鉛銭 板・溶融7ルミーウムー	のものは50mm、呼び径32mm以上の	
	31 電線類 32 吊り及び支持金物	グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、ス その仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。 ものは40mとする。 ・配管の保温の外装 屋 一般居室・廊下 ・合成樹脂製カー般居室・廊下・デルミガラス 天井内・PS内 ・デルミガラス 天井内・PS内 ・デルミガラス スチウ・暗弧内 ・ グステンレス鋼 多湿箇所 () 塩化ビニル樹脂 ・ダクト管の保温の外装 屋 横板室・倉庫・書庫 ・アルミガラス 内 ・カラー亜鉛鉄・脚 ・カラー亜鉛鉄・出 屋外露出 ・ステンレス鋼	厚さは配管の呼び径25mm以下 パー・カラー亜鉛象 クロス ラスクロス ス (冷蝶管) 板 ・溶融7メミニウムー 板 ・ オランレス鋼板製 クロス ・カラー亜鉛象 板 ・ 溶融7メミニウムー	のものは50mm、呼び径32mm以上の	
	32 吊り及び支持金物	グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、パモの仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mとする。 ・配管の保温の外装 一般居室・廊下 ・合成樹脂製力・ アルミガラス 天井内・PS内 ・ アルミガラス 天井内・PS内 ・ アルミガラス 東下・暗渠内 ・	厚さは配管の呼び径25mm以下 バー・カラー亜鉛数 クロス クロス ラスクロス ス (冷線管) 版 ・溶融7メミーウム- 版 ・溶酸7メミーウム- 製 ・ステンレス鋼板製 クロス・カラー亜鉛数 版 ・溶融7メミーウム- 版 ・溶融7メミーウム- 版 ・溶融7メミーウム-	のものは50mm、呼び径32mm以上の	
		グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、パモの仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mmとする。 ・配管の保温の外装 一般居室・廊下 ・合成樹脂製力・ 一般居室・廊下 ・ 一次・ボール・ 一 一 で アルミガラス・	厚さは配管の呼び径25mm以下 バー・カラー亜鉛数 クロス クロス ラスクロス ス (冷線管) 版 ・溶融7メミーウム- 版 ・溶酸7メミーウム- 製 ・ステンレス鋼板製 クロス・カラー亜鉛数 版 ・溶融7メミーウム- 版 ・溶融7メミーウム- 版 ・溶融7メミーウム-	のものは50mm、呼び径32mm以上の	
	32 吊り及び支持金物	グラスウール ・屋外露出部(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、パモの仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。ものは40mとする。 ・配管の保温の外装 一般居室・廊下 ・合成樹脂製力・ アルミガラス 天井内・PS内 ・ アルミガラス 天井内・PS内 ・ アルミガラス 東下・暗渠内 ・	厚さは配管の呼び径25mm以下 パー・カラー亜鉛質 クロス クロス ス (冷媒管) 版・溶融7ルミーウムー版・溶融7ルミーウムー 製・ステンレス鋼板製 クロス・カラー亜鉛質 版板・溶融7ルミーウムー による。	のものは50mm、呼び径32mm以上の	

縮尺

N, S

図面N0.

M-1

図面名称

機械設備工事仕様書-1

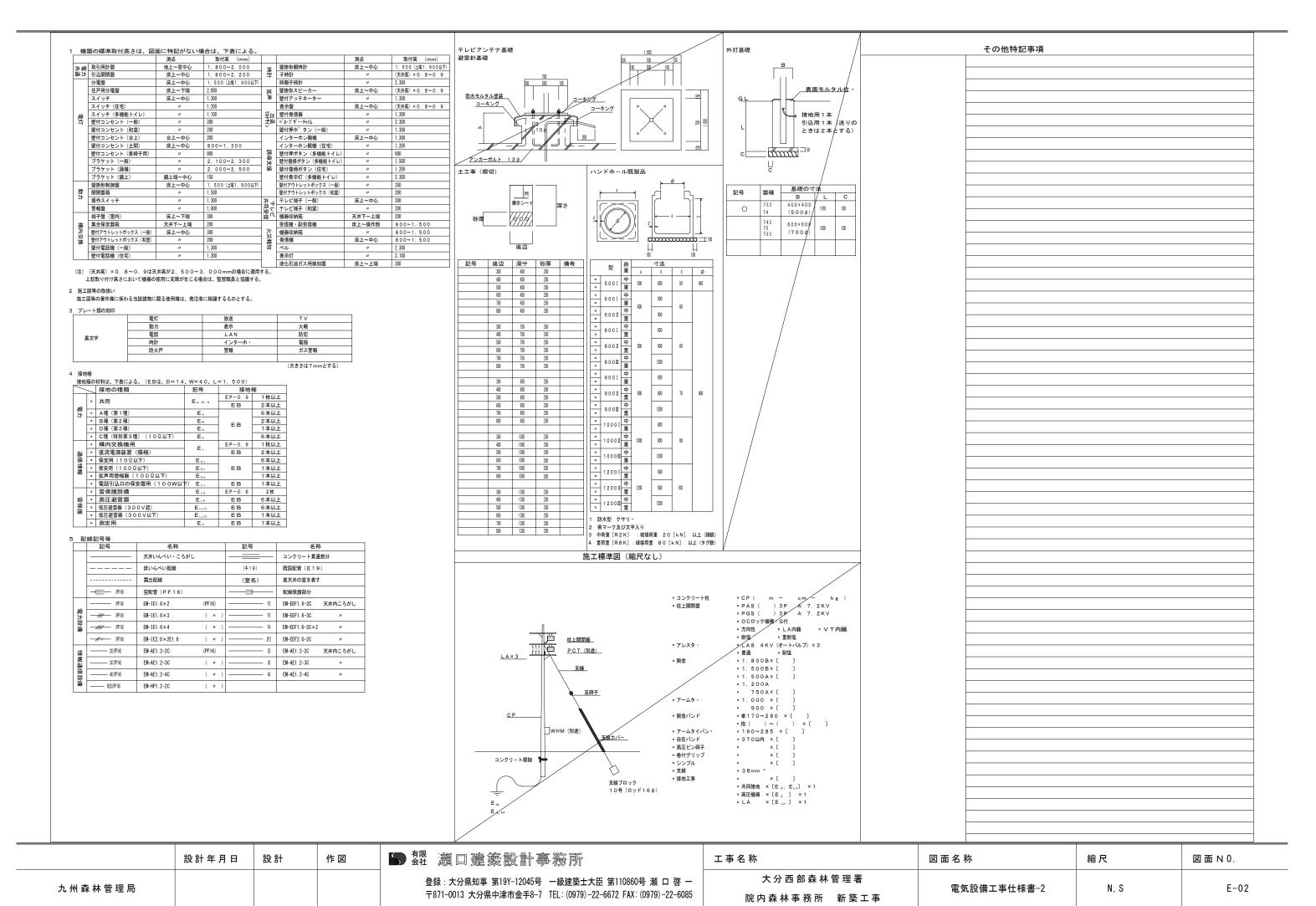
耐震措置の計算及び施工方法は、次に示す事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針(国土交通省国土技術政策

設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、次に示す地域係数

研究所、独立行政法人建築研究所監修2005年版)」による。

及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 地域係数は1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じた物とする。

25 耐震措置



		7.3h.505 / A \	南 复(5)	=0./# (3.4)	Dil SA	信	.	考
項	工事施工区分	建築(A)	電気(E)	設備(M)	別途	1/4	Ħ	考
1	コンクリート躯体貫通スリーブ取付		•	•				
2	同上周囲補強							
3	鉄骨貫通スリーブ(溶接一体)							
4	天井切込み(天井下地含む)							
5	同上補強及び補修仕上(同上)	•						
6	床及び壁面の切込み開口(設備工事に関係のもの)		•	•				
7	同上補強及び補修仕上 (同 上)	•						
8	床下トレンチ及びピット	0						
9	同上換気口							
10	床下点検用ハッチ(蓋・枠・縁上部仕上共)							
11	天井点検用ハッチ (同上)							
12	パイプシャフト点検用ハッチ (同上)	0						
13	発電機及びキュービクル基礎工事(補強筋共)							
14	同上アンカーボルト箱入れ、穴開け							
15	屋内各種機器基礎工事(補強筋共)							
16	同上アンカーボルト箱入れ、穴開け							
17	屋上設置用機器基礎工事(補強筋共)	0						
18	同上アンカーボルト箱入れ、穴開け			0				
19	機械室内消音断熱仕上							
20	シャッター(操作盤・スイッチ・操作線共)							
21	同上電源供給及び操作盤への接続工事							
22	自動ドア(操作盤・スイッチ・接続共)							
23	同上電源供給及びスイッチへの配管配線							
24	電気錠(本体)							

項	工事施工区分	建築(A)	電気(E)	設備(M)	別途	備	考
49	カーテン及びブラインド				•		
50	外部に面する吸排気ガラリ			•			
51	同上ダクト接続用金具			•			
52	ドアガラリ、換気口(内部)	•					
53	外部に面する換気口			•			
54	一般フード(厨房・調理・湯沸室等)			0			
55	外部に面するウェザーカバー			•			
56	壁付け換気扇類			•			
57	同上取付枠			•			
58	外部に面する換気扇取付後の防水シーリング			•			
59	天井埋込換気扇及びダクト、ベントキャップ			•			
60	防火区画等の貫通処理		0	0			
61	避雷針及び同接地工事						
62	自動制御用2次側配管・配線		0	•			
63	空調設備制御盤と2次側電気配管・配線		•	•			
64	動力設備制御盤と2次側電気配管・配線		•				
65	テレビ電波障害近隣対策用配管						
66	電話交換機、試験台、MDF類						
67	同上用直流電源装置、充電器、蓄電池類						
68	同上用配管入線工事						
69	電話機及び接続						
70	エレベーター(扉共)						
71	同上用三方枠						
72	同上電源供給						

項	工事施工区分	建築(A)	電気(E)	設備(M)	別途	備	考	
25	電気錠 電源供給及び接続機器							
26	煙感知器連動による防火戸自動開放閉鎖装置	0						
27	同上配管配線、レリーズ取付接続、受信盤取付		0					
28	煙感知連動によるシャッター自動閉鎖装置							
29	同上配管配線、リレーズ取付接続、受信盤取付							
30	液面電極棒(支持固定装置共)							
31	同上用リレー(制御盤内臓)							
32	液面電極棒とリレーとの配管配線接続工事							
33	屋内消火栓ボックス							
34	同上表示ランプ、組込ベル、発信機とその取付工事							
35	雨水樋及び養生管、ルーフドレン	•						
36	雨水竪樋末端と側溝又は雨水桝との接続工事	•		•				
37	雨水会所桝及び雨水排水工事			•				
38	雑排水桝、汚水桝及び排水工事			•				
39	側溝最終桝と排水会所桝との接続工事			•				
40	流し台、ガス台	•		0				
41	一般陶器製流し台			•				
42	厨房機器							
43	タオル掛、雑巾掛			•				
44	吊戸棚	•						
45	紙巻器・手摺			•				
46	カガミ・洗面カウンター			•				
47	カーテンボックス、ブラインドボックス	•						
48	カーテンレール	•						

項	工事施工区分	建築(A)	電気(E)	設備(M)	別途	備	考
73	同上インターホン及び入線エレヘ゛ーター内配管・配線						
74							
75							
76							
11							
78							
79							
80	受電通水後竣工引渡し迄の電気、カ゛ス、上下水道使用料金	•	•	•			
81	同上 基本料金 (電気)	•	•	•			
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							

	設計年月日	設計	作図	圖 瀬口建築設計事務所
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 ロ 啓 一
76 川林竹目 47 内				〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085

工事名称	図面名称	縮尺	図面 N 0.		
大分西部森林管理署	⊤ 東 反 公 丰	N. S	E-3		
院内森林事務所 新築工事	工事区分表	N, 3	E-3		

盤名称	結線図	回路		開閉	器	相	電圧	負荷名称	容量		—— 考
溢 4 M	布板丛	番号	番号 SB		P • AF/AT	1世	(V)	貝 們 石	(VA)	1)用 ·	4
L-1 鋼板製壁掛露出型 指定色仕上											
1 φ 3W200/100V	×	101	0		2 • 50/20	1	100	事務室 照明			
	MCCB3P	102		0	2 • 50/20	1	100	倉庫他 照明			
	100/75	301	0		2 • 50/20	1	100	倉庫他 コンセント			
		302		0	2 - 50/20	1	100	便所 コンセント			
		303	0		2 • 50/20	1	100	電気温水器用 コンセント			
		304	0		2 • 50/20	1	100	事務室 コンセント			
		305		0	2 • 50/20	1	100	事務室 コンセント			
		306		0	2 • 50/20	1	100	電気温水器用 コンセント			
	_	307	0		2 • 50/20	1	100	冷蔵庫用 コンセント			
	_	308		0	2 • 50/20	1	100	事務室 コンセント			
	_	309		0	2 • 50/20	1	100	コピー機用 コンセント			
		310	0		2 - 50/20	1	100	予備			
	_	311	0		2 • 50/20	1	100	予備			
		401		0	2 • 50/20	1	200	空調室外機(PAC-1)			
	ET ET (ELB)										
S-1 屋外防水壁掛型 SUS製 指定色仕上											
1 φ 3W200/100V				0	3 - 100/75	1	200/100				
	ET _O										

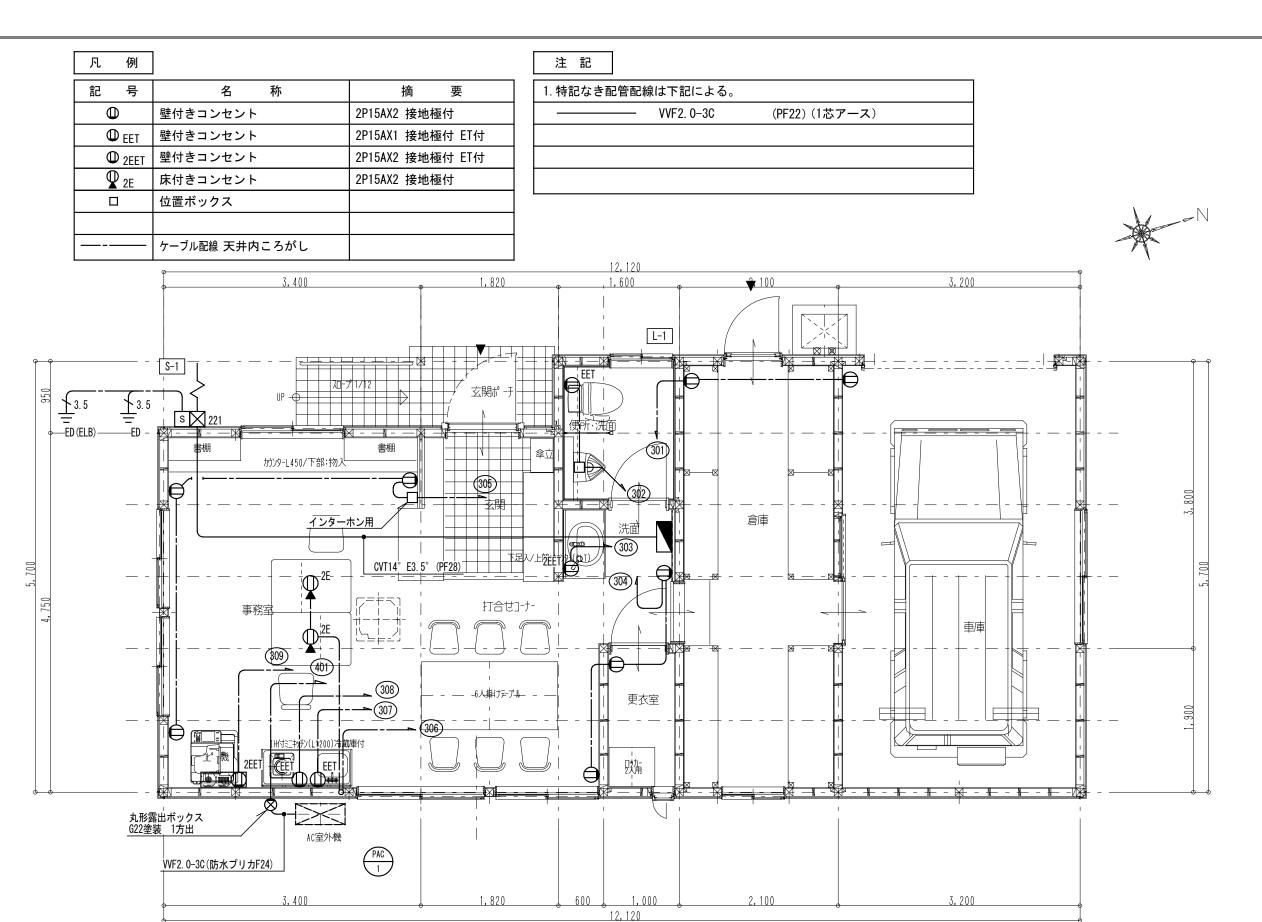
T-1 鋼板製壁掛露出型 指定色仕上

電話	電話	その他		
保安器10P SP	端末器 SP	-		

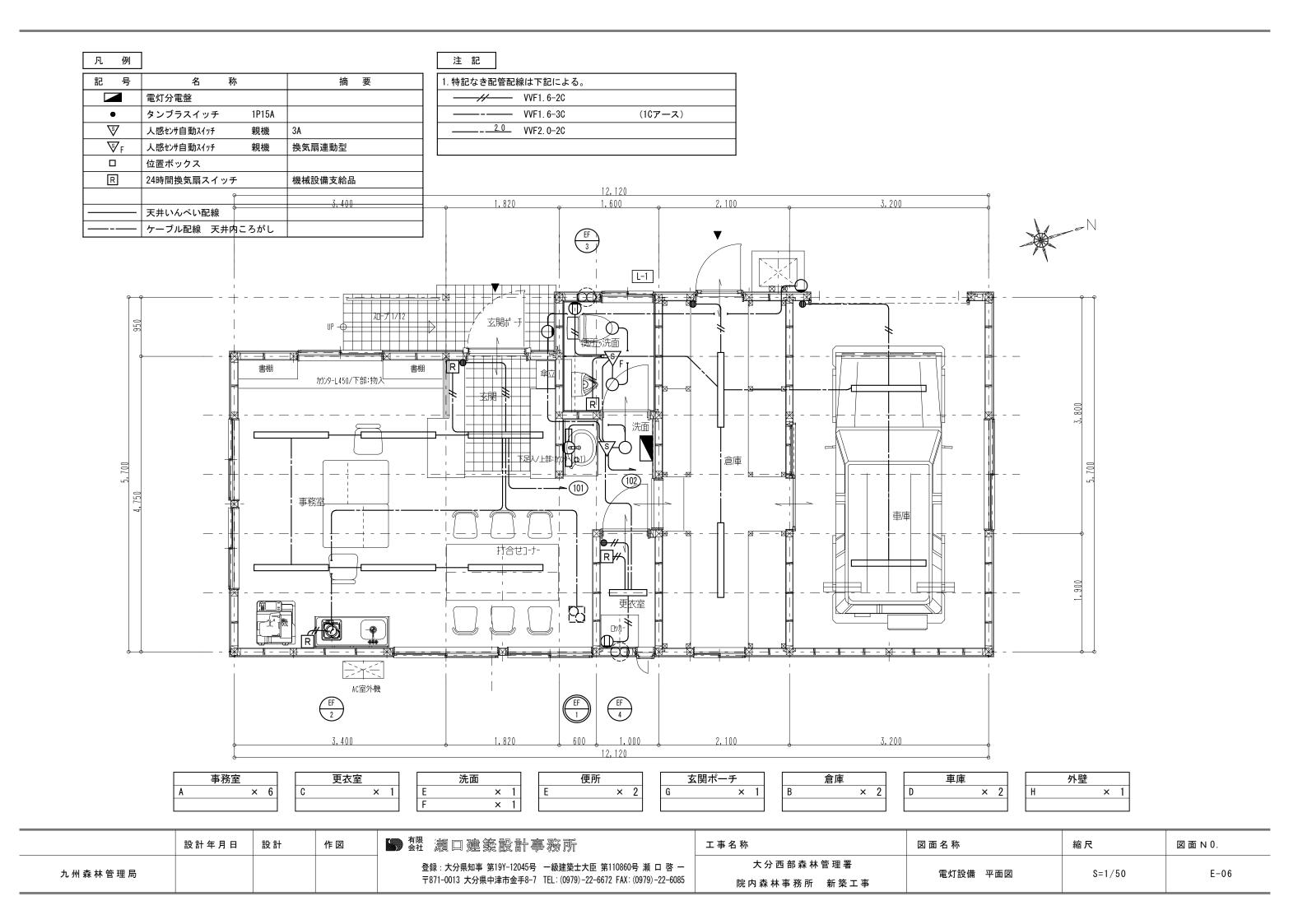
照明器具姿図

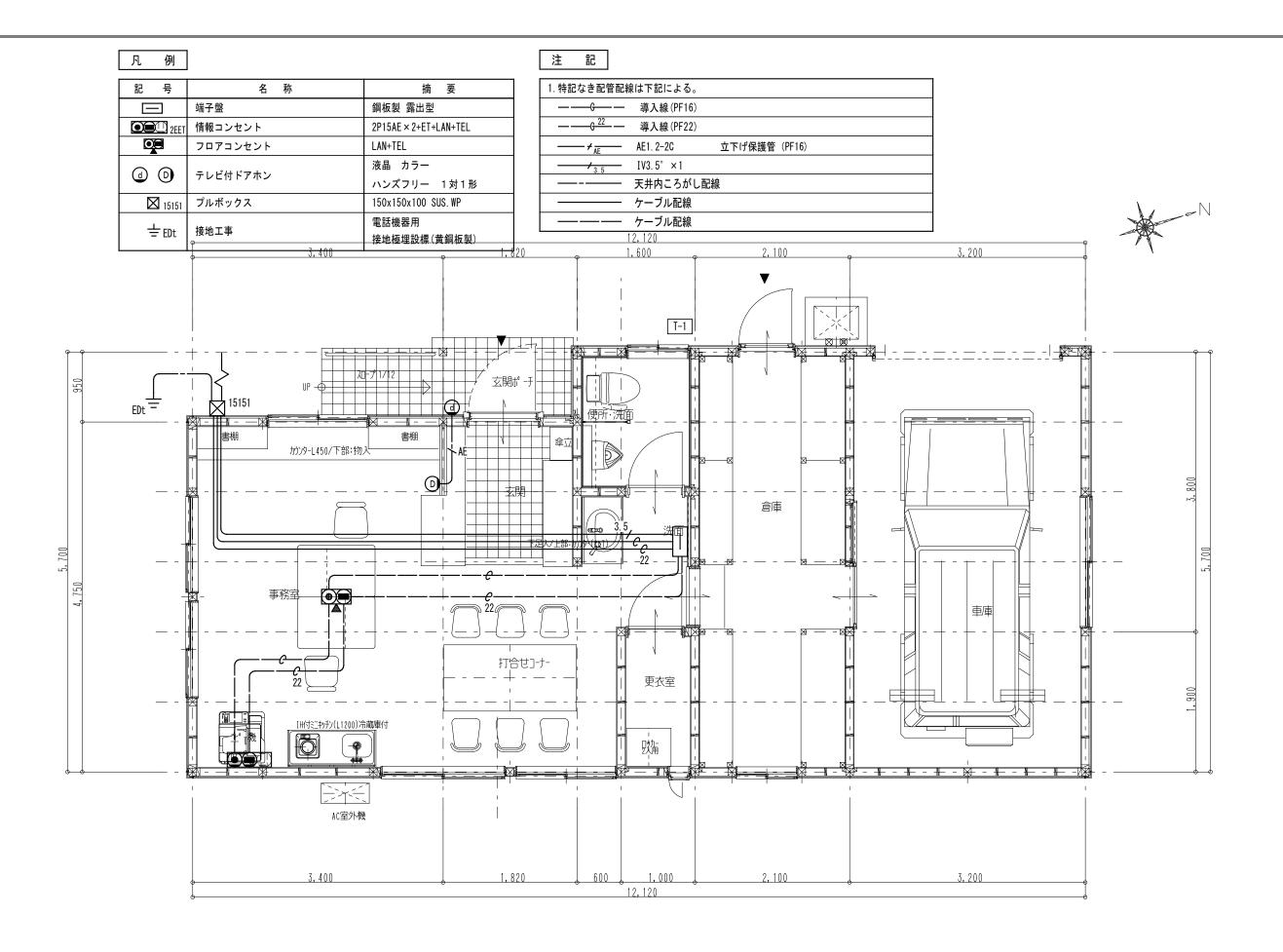
	吴 经 凶					
A	LED 埋込型40形 下面開放型	E	LED ダウンライト			
€						
消費電力3 本体: 亜鉛 反射板: 鋼 ライトバー 光源寿命40	52001mタイプ 1.9W、定格出力型、電圧100~242V 解板 (高反射白色粉体塗装) (カパー):ボリカーボネート(乳白) 000時間(光束維持率65%) 000K)、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵	LED内蔵<ワンコア(ひと粒)タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角 15度、光源寿命4000時間(光束維持率85%) 器具光束:6101m、消費電力: 4、2W、電圧:100-242V 反射板(上部):ブラスチック(ホワイト) 反射板(下部): 銅板(ホワイトつや消し仕上) 枠:銅板(ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ100				
パナソニック 埋込X	LX450PENTLE9 相当品	パナソニック XND	0639WNLE9 相当品			
В	LED 直付型40形	F	LED ブラケット			
一般	ブ、2000 l mタイプ 13、1W、定格出力型、電圧100~242V 板 (白色粉体) ポリカーボネート (乳白) 4000 の時間 (光束維持率85%) 5000 K)、Ra83 はライトバー側に内蔵	拡散が カバー 両面(き (5000K)、Ra83 施表8401m、消費電力9.5W、電圧100V タイプ、天井直付型・壁直付 ・プラスチック (乳白) 地数タイプ 450 H=65 出しろ64			
パナソニック 直付X	LX410AENPLE9 相当品	パナソニック LGB	85042LE1 相当品			
С	LED 直付型20形	G	LED ブラケット			
消費・計算を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	ブ、1600 l mタイプ 11.6W、定格出力型、電圧100~242V 板(白色粉体型) ー (カバー):ボリカーボネート(乳白) 4000の時間(実維持率85%) 5000K)、Ra83 はライトバー側に内蔵	器具光束5 拡散マネイジ ツパイー: プラ 本体! 照度 調!	方式、NaPiOn・明るさセンサ付 クリル(乳白) スチック (ホワイト) 登機能付			
パナソニック 直付X D	LX210AENCLE9 相当品	パナソニック LGW H	/C80360LE1 相当品			
- 般9 イブ、2 5 消費電力 2 5 消費 3 2 5 1 5 1 6 3 1 1 5 1 6 3 1 1 6 3 1 1 7 1 1 8 1 1	M、定格出力型、電圧100~242V クロムフリー・高反射白色粉体塗装) イトバー:ポリカーボネート(乳白)+アクリルコーティン の時間(光実維持革85%) 昼白色(5000K)、Ra83	電球色(実際開発)	LED プラケット 2700K)、Ra80 1841m、消費電力4、3W、電圧100V majl掛パネカ式、明るさセンサ付アクリル (乳白) 、 (プラチナメタリック)			

	設計年月日	設計	作図	★ 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	大分西部森林管理署院内森林事務所 新築工事	盤結線図・照明器具姿図	N, S	E-04



	設計年月日	設計	作図	多	工事名称	図面名称	縮尺	図面 N 0.
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 ロ 啓 一		コンセント設備 平面図	S=1/50	E-05
20川林作日年间				〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL: (0979)-22-6672 FAX: (0979)-22-6085	院 内 森 林 事 務 所 新 築 工 事	コンピント欧洲 「岡岡	0-17 00	2 00

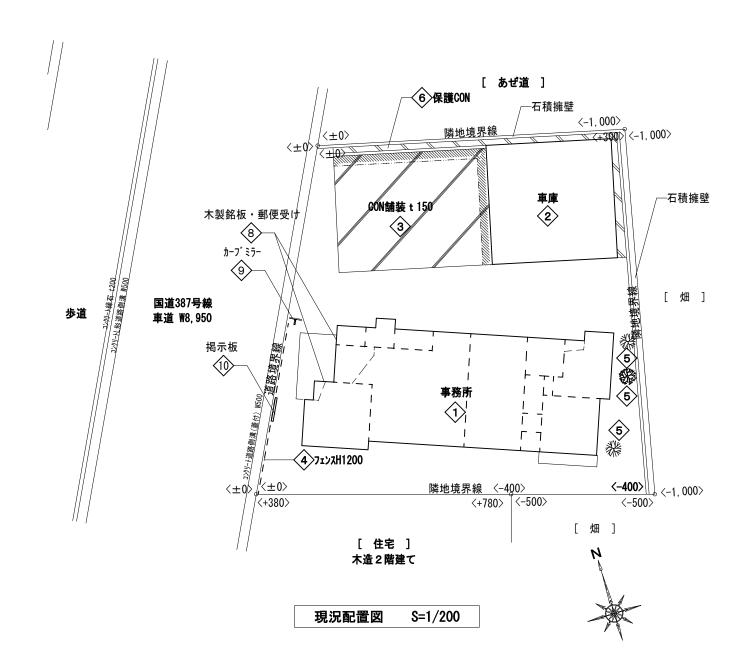




	設計年月日	設計	作図	看R 類口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面 N 0.
九 州 森 林 管 理 局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一	大分西部森林管理署	弱電設備 平面図	S=1/50	E-07
			〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL: (0979) -22-6672 FAX: (0979) -22-6085		院 内 森 林 事 務 所 新 築 工 事		,	

	———————————————————— 解体特記仕様書		③ 工事実績情報サービス (CORINS)への登録	※適用する (請負精算額が500万円以上の場合)	適用しない (1.1.4)		①. 仮 囲 い	○設ける(位置、延長等は図示)	・設けない	
	/IT (M) 17 ILL ILT IS		④ 施 工 体 制	・下請契約がある場合は、施工体制台帳及び施工体系図を	提出する。 (1.1.5)			・万能鋼板 (H=) ① 単管シート (H= 2,000)	・波形鉄板(H=	,
I 工事概要 1. 工事番号・名称	大分西部森林管理署院内森林事務所建築工事		⑤技術管理	・建設業法に基づく主任技術者または建設工事に係る資材 技術管理者を任命し、現場に派遣(作業時常駐)して技	の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)に基づく 術管理にあたること。		②. 騒音粉塵等	・防音パネル (H=) ・パネルゲート (W= 6,300 H: ・シートゲート (W= H:)
	大分県宇佐市院内町原口434-5		⑥現場管理	・別途関連工事がある場合、その施工者と綿密な連絡をと	り、全工事に支障のないよう施工すること。		O # 1. ***		· —··	(0.0.4
	都市計画区域 (・内 〇外) 用途地域 () 防火地域等 (・防火 ・準防火 〇指定なし ・22条) その他の地域・地区 ()		7. 電気保安技術者	・適用する ※適用しない	(1.3.3)		③ 散水養生4. 交通誘導員	・建物周辺は、粉塵防止や火災発生に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	着えて散水を行うこと。	(2. 2. 1
4. 建物概要	,		8 施工条件	●関連工事による施工時期の調整 · 有	(内容:) (1.1.7)		5. 監督員事務所	※設けない		(2.3
1)建物名称2)主要用途	大分西部森林管理署院内森林事務所 事務所				をしない ・指定あり (1.3.5)			・設ける・既存建物内の一部・構内に新設する(i)		
3)敷 地 面 積 4)建 築 面 積 5)延 ベ 床 面 積	3 3 4 m² 1 2 7 m² 1 2 7 m²			・工事用車両の駐車場所・有	をしない ※指定あり (建設リサイクル法による) (図示) ・無 (図示) ・無	設 工 事	⑥. 工事表示板	・備え付ける備品(※建設業法第40条及び建設リサイク) ル法第33条に規定する標識を掲示するこ	<u>۔</u> کی
	建築物及び附帯する敷地内工作物の解体工事			・関係機関等との協議の未成立事項 ・有			_	・構内既存の施設 ・利用できる (※		
6. 棟 別 概 要			_	・関係機関等との協議の結果・特定条件の付加・有・無	(內容:)		 工事用水 工事用電力	※施設管理者との協議による ・構内既存の施設 ・利用できる(※		
棟名称 事務所	用途・種別 構造・階数 床面積 事務所 木造 平屋 ≒90.0		② 施工計画書等の提出	・工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速や	かに監督員に提出し、承諾を得ること。 (1.2.2)		9. 工事用通路	※施設管理者との協議による ※指定しない・指定する(図示		
車庫	車庫 S造 平屋 ≒37.0 71以、舗装 図示による		O MARKED AND CARRY	・施工計画書作成のための現地調査を十分に行うこと。	1. 7 油体4.0Amp + /k-à 1 於故号 (10. その他		よ所定の位置に施錠できる小屋等に保管す	
21 112	ZAZZ SIMAX BEZZINESS		① 建築除却届の提出	・工事着手に先立ち、建築基準法第15条第1項の規定に ・着工前各工程における作業状況、解体材の分別状況、完				・作楽通路は、指定通路表示を行い、 ・工事関係部分の出入りに表示を行う ・火災防止に配慮し火元責任者を配す		= 2.
				て提出のこと。 ※着工前 1部	※各工程における作業状況 1部			人类例上1-16版 5人况更正古 2 16.7		
	計			※解体材の分別、集積、搬出、搬入状況 1部	※完了時 1部					
			② 施工中の安全確保	・占用埋設物との近接工事による施工方法、作業時間の制	* #		① 分 別 解 体	・請負人は建設リサイクル法第9条の	ᇣᆕᇆᄽᇇᄭᄜᆂᇫᆕᇉ	
				・安全訓練等の実施 ※実施する ・工事着手後、原則として作業員全員参加により、月当た	・実施しない り半日以上の時間を割り当て安全訓練を実施する。		② 解 体 方 法			数水竿/
			③ 交通安全確保	・交通安全施設等の対策・有(監督員と協議)	※無 (1.3.7)		② 解 体 万 法	粉塵の防止に努めること。	城器具等の選定を心がけ、防音シートや制 に係る施工方法に関する基準(建設リサイン)	
解体工事仕様 1. 共通仕様			(4) 災害時の安全確保	・工事の施工中に災害及び事故が発生した場合は、直ちに!	監督員に報告すると共に、別に指示する。 (1.3.8)		③ 工 事 範 囲	○建築物 ○地上部 ○	地下部 ・杭 ・()
図面及び特記仕様に記	戦されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書」「建築改修コ 仕様書」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)最新版による。	事標準仕様書」	⑤ 施工中の環境保全等	・施工計画中の環境対策の項目に環境配慮計画書を記載し、 ・工事期間中は、作業環境の改善、工事現場の美化等に努				○電気設備 ○建物内配管配線	・抗 ○ (車庫 ●電気設備機器	
2. 特記仕様				・対象外工事 () ・事故報告書を指示する期日までに監督員に提出する。				●建物への引込線 ・ ○建物内配管 ・ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○衛生設備機器	• ()
2)特記事項は、⊙印)印のついたものを適用する。]のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたもの	を適用する。	通 事 (6) 発生材の処理	・建設廃棄物処理事項による	(1. 3. 10)			●建物への引込管 ●空調設備 ●屋内配管配線 ・建物内風道	●敷地への引込管・ (• ()
3)特記事項に記載の	:た場合は、共に適用する。)() 内の表示番号は、建築物解体工事共通仕様書の当該項目、当 特記なきかぎりミリメートルとする。	該図又は当該表を示す。	- 現	・指定管理者に引渡しを要するもの (玄関ドアの錠前シリンダー、流し椀カップトラップ(E 消火器1本(パーチャウス内)、階段室内手すり) ・引渡し物は、清掃及び水洗いをして引渡すものとする。	(1.3.10.(ア)) 目皿と一体のもの)、水道量水器、ガスメーター			● がス設備 ● 建物内配管 ● 建物への引込管 ● ● ・ 門、門扉 ● ・ 原 ● ・ 原 ● C B ・ (東 ● C B ・ で ・ で ● C B ・ で	●ガス設備機器●敷地への引込管・ 直栽	・ () ① (植栽伐採後の抜根) ・ ()
			① 建設リサイクル法	・落札が決定した業者は、建設リサイクル法第 1 1 条の規 別表 1 ~ 3 のうち当談工事に該当する別表及び工程表を するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化 づいて書面により報告すること。	作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出 等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基			● 計器、備品類等の撤去 計器、 情品類等の撤去 計器、 (オイルタンク内のオイ, ビット (洗浄槽、便槽	#品類等 建物管理者 ル ※	用 工事請負者
項 目	特記事項		① 工事経過記録の報告	・工事経過報告書を、毎月 回監督職員に提出する。(提				使用されていた酸、ア 医療系特別管理産業廃 放射性廃棄物	ルカリ、薬品等 ※	
① 一般事項	・工事にあたっては、工事請負契約及び同約款を遵守し、本特記仕様書、 により完全に施工すること。 ・工事にあたっては、騒音規制法等の関係諸法令を遵守し、必要な措置を記		(9) 公共事業労務費調査に	内容:日誌、天候、工事進捗状況、工事進捗状況写真、・本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、	ての他監督職員の指示する争項。 調査票等に必要事項を正確に記入し監督職員に提出する等、	③ 解		フロン類、ハロン使用	機器	*
	・ エキにのだっては、騒音及制法等の関係的法中を遅せて、必要な信息をも ・ エ事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督員に報告の上、計 ・ エ事に伴う官公庁への届出等の手続き(その費用を含む。)及びエ事用。	行示に従うこと。	対する協力	必要な協力を行う。また、本工事の工期経過後において		体 方 法			・工作物移設 ・表示看板(財産管理	
	請負業者の負担とする。 ・工事による発生材は、産業廃棄物処理法、建設リサイクル法等の関係諸治				査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規		④ 埋設管の処理	① 土中埋設管(給水、排水、電気、ガ 全て撤去する。なお、諸官庁への申	ス)については、監督員の指示によりプラ 請手続きは本工事とする。	ラグ止等の処置をし、原則として (3.12
	処分すること。 ・請負業者は、監督員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事のF			っておく。	頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行 該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降		⑤. 電柱及び引込線	●敷地内電柱、有線柱、電話配線、引き申請業務含め本工事とする。	込線および計量器撤去申請については関係	系機関協議の上、
	 ・工事着手前に監督員と打合せの上、近隣住民及び関係町内会等に対してコなどを配布し周知するとともに、必要に応じて近隣建物の壁、建具の建てクラック状況を写真撮影し事後に備えること。さらに、工事の施工により 	入れ状況、内外装・土間等の		の下請負人を含む。)が上記同様の義務を負う旨定める。			6. 都市ガス、水道、	・大分ガスの引込管および量水器の撤	去申請については関係機関協議の上、申請	
	クラックが水を与其根形しき使に噛んること。 さらに、エサの地土によい 合には、原状に復旧すること。 ・工事にあたっては、近隣住民や通行人に対する安全の確保に努めること。		(1) 再資源化等	・建設リサイクル法、建設副産物適正処理要綱等を遵守し			下水道管引込及び 量水器撤去	・水道の引込管および量水器、下水道	管の撤去申請については関係機関協議の」	上、申請業務含め本工事とする。
○ 適 用 基 準 等	・資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)		で割り、 で請人の指導で割り、 廃棄物の処理	・請負人は建設廃棄物の再資源化等を適切に行うよう下請 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律を遵守し、マニフェ			7. 杭 の 撤 去	・撤去する ・撤去しない工法 ・破砕工法 (ケーシング併)	用ロックオーガー工法) ・ウォーター	(3.5 -ジェット併起高周波バイブロエ法
	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法) ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法) ・特定製品に係るフロン類回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(フロン類回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(フロン類回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(フロ	1ン回収破壊法)		・通積載等の違法運行の防止を図るとともに、道路交通法				・破砕跡は、山砂にて充填する。		
i	・特定級品に除るノロン頭回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(ノ)・特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)・建設工事安全施工技術指針	→ 1A MX - (X /AA /	である。	・冷暖房機、冷蔵庫、冷凍庫を撤去するときは、フロンガ			8. 杭の位置の報告		·現場 · 図示	,
	· 建設工事公衆災害防止対策要網 · 建設副産物適正処理推進要網		少 火災保険等	・工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付保険の種類・火災保険※建設工事 保険期間※工事着手から工事目的物引き割	事保険		⑨. 埋め戻し及び盛土⑩. 地 均 し	○種別○A種・B種・不陸直し・(・C種 ・D種 ・()
	・建設工事等から生ずる廃棄物の適正処理について(通知)平成13年06月01日 ・建設物の解体等に係る石錦飛散防止等対策マニュアル	3環廃産276号	(3) 関係法令等の遵守		渡しまで 寿)対策に係る諸申請関係法令(騒音規正法・振動規正法等)		① 建設発生±の処分	· 有 · 無	,	
	・PCB使用電気機器の取り扱いについて (旧通産省通達)			に照らし合わせ、必要な手続きを行い、工事を施工のこ	٤.		12. 工事用地の復旧	指定処分場へ持ち込むこと ※塵埃、コンクリート屑等を撤去し、:		
			少 埋蔵文化財その他の物件	・工事施工にあたり、文化財その他埋蔵物を発見した場合! 監督員に従う。	は、直ちにその状況を監督員に報告し、その後の措置は			・塵埃、コンクリート屑等を撤去し、	凹部良土を入れ工事用地全面にローラー 梟	55日でする。
			で 不法無線局の排除	・請負者は電波法令を遵守し、不法無線局を搭載した車両	を使用してはならない。					
						'				
	設計年月日設計	作図							縮尺	図面 N 0.
	設計年月日設計		型 建築設計	- 添 	十八亚如木井笠田里	<u> </u>	図面名	称	縮尺	図面N0.

	① 再資源化及び最終処分	- 引渡しを要するものについては、 (1.3.10) による - 建設廃棄物	① 委 託 契 約	・請負者 (搬出事業者) は建設廃棄物の適正処理をするため、 で建設廃棄物処理委託契約 (2者契約)を行い、その写し?			
		受入れ施設名・所在地 (km) ・混合廃棄物については、選別等を行う中間処理施設を活用し再資源化の促進に努めること。	② マニフェスト	・「マニフェスト(産業廃棄物管理票)」は、交付後、原本を監督			
		※ 再資源化を図るもの 種類 受入れ施設名 所 在 地 距離 (km) ・コンクリート廃材	③ その 他	・労働災害及びその他の事故発生等を防止するための注意と ・毎日工事打合せを実施し、公害及び第三者に対する事故防」 ・工事請負者は、工事若手前に当該工事に必要な労働者数を	上に努めること。		
		- 7.77.7h-12/ウリー-ト廃材 - コンクリート及び鉄から 他	1	・工事請負者は、公共職業安定所の紹介による失業者の雇用に			
		なる建設資材・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1				/
		・蛍光灯	1				/
	,	・塩化ビニル ・タイヤ	1				
建設			1				
廃 棄 物		・その他の廃棄物(安定型) 種 類 受入れ施設名 所 在 地 距離 (km)	1				
の処理		・コンクリート廃材 ・アスファルト境廃材	1				
		・ガラス陶器屑 ・ゴム屑、タイヤ	1				
		- 鉄屑 (薄鉄板等) - 廃プラスチック類	1				/
		・アスファルト防水層	1				
		・その他の廃棄物(管理型)					
		種 類 受入れ施設名 所 在 地 距離 (km)	1				
		・木屑、生木、根株 ・豊、スタイロ豊	1				
		・廃石膏ボード	1				
			1				
			1				
			1				
	1. 石綿含有混合 廃棄物	- 石綿含有混合廃棄物 (5.4.1 (1)) 種類場所 場所	1				
与特別)		1				/
管理			1				
生業 廃	2. PCB含有機器類	・PCB含有機器類の処理 (5.4.1(2))	1				
帯物の		PCB(ポリ塩化ピフェニール)含有機器 ・有(安定器 台、変圧器 台) ・無 ※ただし、変圧器のうち6台は含有量調査を行い判断する	1				
型 理	3. PCB含有シーリング材	・PCB含有シーリング材の撤去 (5.4.1(3)) ・手剥ぎ工法 ・微量PCBの分析調査 ・行う	1				
	4. 特別な建設副産物 の回収及び処分	・ 微重用 じものが何詞室 ・ 行う ・ 電気照明等 P C B を含有する機器は、当該部分を取り外して鉄箱に納め、所定の表示を行い、	1				
	0142023	ESCONOCE CINCOGN CENTRE CONTROL CONTRO	1				
			1				
			1				
			1				
	1. 石綿含有の確認	・石綿 ・有 ・無 (労働安全衛生法施行令 第57条の3による) 有の場合、大気汚染防止法に基づく粉塵排出等作業に ・該当 ・非該当	1				
	2. 養生等	・養生 (※養生シート囲い ・ビニールシート囲い) (6.5.2)	1				
6	3. 工 法	・手ばらし工法 ・石総含有成形板は、湿潤化のうえ、原形のまま丈夫なブラスチック袋等に入れるなど飛散防止の措置を講ずる。	1				
石綿含	4. 運 搬	(飛散防止剤等により飛散防止の措置を講ずる) ・石綿含有成形板の運搬に当たっては、運搬車輌の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止措置を講ずる。 (6.5.4)	1				
有建材	5. 確認及び後片付け	・除去作業が終了後、高性能真空掃除機で床等を清掃する。 (6.5.5)					
の除去		・処分は、(5.4.1) による。 石総の使用状況					
		室 名 使用部位 材 質 含有率 その他					
			/				
		設計年月日 設計 作図 編 編 編 編 編 編 編 編 編 編 編 編 編 編 編 編 編 編	口建築設計事	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 工事名称	図面名称	縮尺 図面 N 0.
		30 A 4		-級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一			
	九州森林管理局			EL: (0979)-22-6672 FAX: (0979)-22-6085	院内森林事務所 新築工事	解体特記仕様書-2	N, S K-02



	解体対象物リスト												
記号	名称	規模·面積	概要	工事種別									
1>	事務所	平屋建て 89.82㎡	木造	解体撤去									
(2)	車庫	平屋建て 37.00㎡	鉄骨造 ヨドガレージ	解体撤去									
3>	CON舗装	t 150 有筋	一部カッター入れ撤去	一部解体撤去(斜線部分) カッタ-入れ13m、撤去6.8㎡									
4	フェンスH1200	H=1, 200 L=9, 000	ネットフェンス カラー	解体撤去(基礎共)									
(5)	樹木	3本	既存のまま	既存のまま									
<u>6</u>	保護コンクリート	t 50 無筋		既存のまま 解体による影響部分はモルタル補修									
\Diamond	境界ブロック	w120 x h 200 L=7, 900	既存のまま	既存のまま									
8	木製銘板 郵便受け	各1か所		改築後の事務所内へ移設 改築後の玄関へ再取付									
9>	カーフ゛ミラー	1 か所		解体撤去 (基礎共)									
10>	掲示板	W1200 x H900+支柱H1100 支柱、枠組み(木製)	掲示板アルミサッシW1200×H900	解体撤去 (基礎共)									

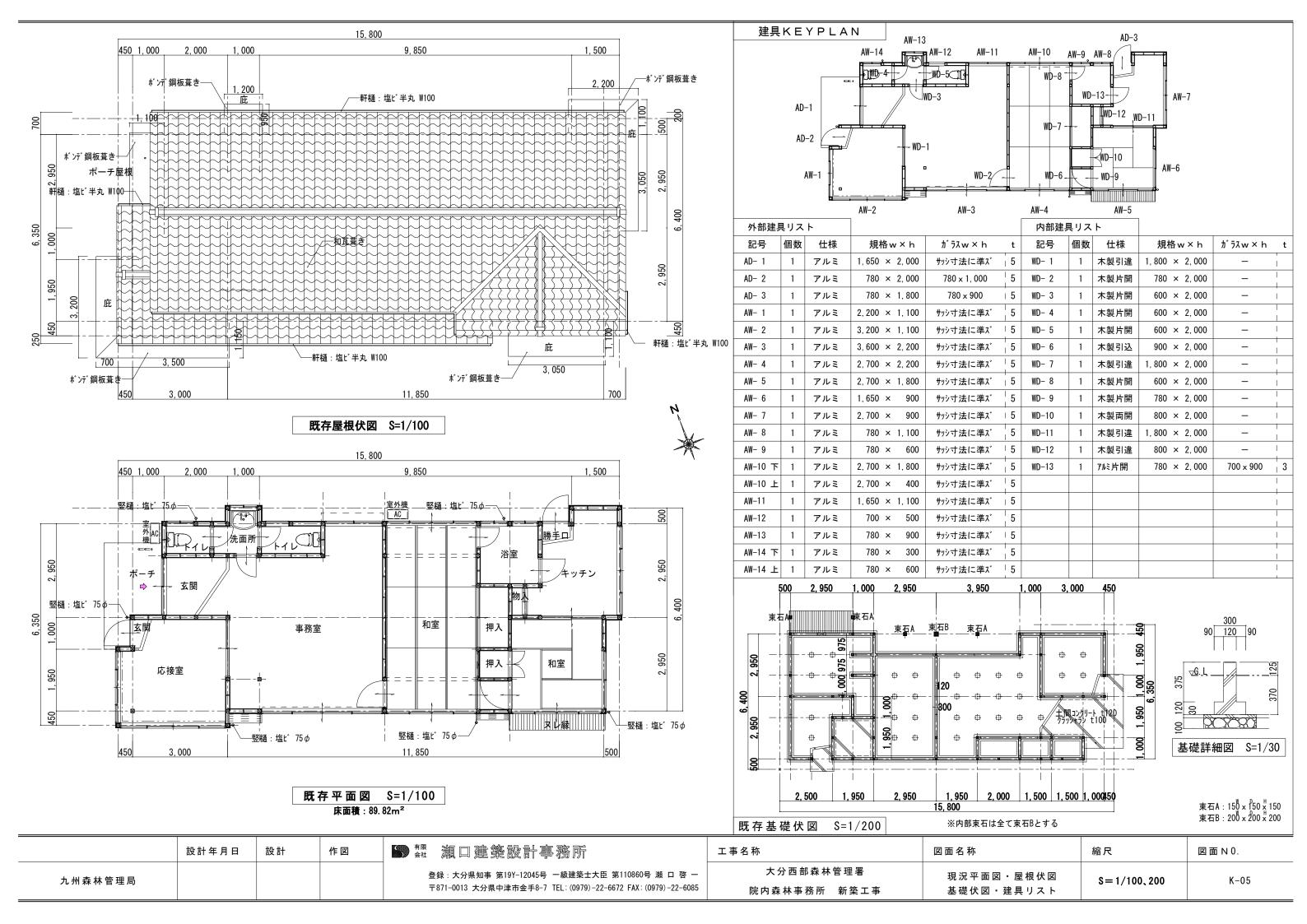
	設計年月日	設計	作図	\$P\$ 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	大分西部森林管理署 院内森林事務所 新築工事	現況 配置図	S=1/200	K-03

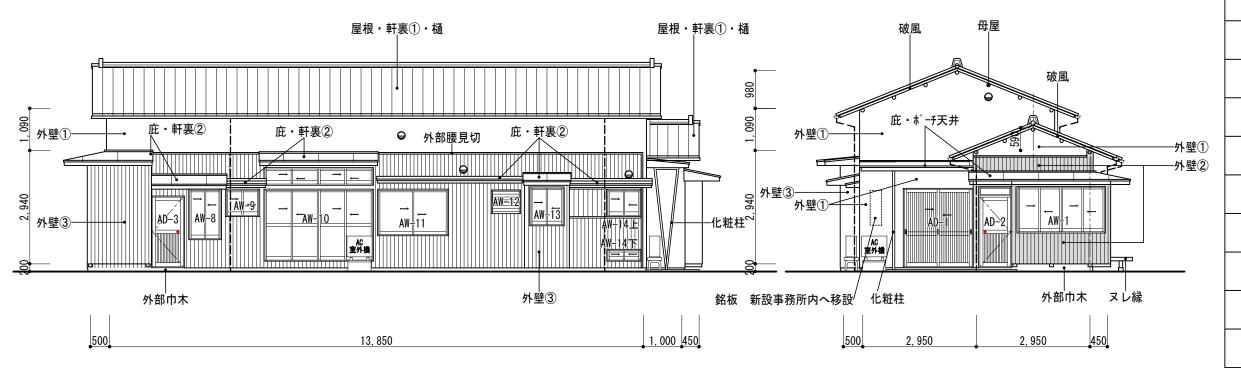
外部仕上表						備	考
屋根	仕上:和瓦葺き 下地:野地板 t12+アスファルトフェルト	外壁①	モルタル刷毛引き リシン吹付	—— 玄関ポーチ	床 : モルクル金鏝押え 壁 : モルクル刷毛引き リンン吹付		
軒裏①	化粧タル木(杉)+化粧野地板(杉) t12	外壁②	杉板張り t 12 SOP		天井 : ケイカル板 t6 リシン吹付 化粧柱:丸鋼φ42 SOP		
軒裏②	杉板張り t 12	外壁③	杉板張り t 12 WP	ヌレ縁	木製束立 杉板張り		
庇	仕上:ボンデ鋼板葺き 下地:野地板 t12+アスファルトフェルト	外部腰見切	杉40 x 45				
母屋	化粧母屋(杉) 先端ボンデ鋼板包み	外部巾木	モルタル刷毛引き				
破風	杉板	樋	軒樋:塩ピ半丸 W100、樋受け金物 @500 竪樋:塩ピ60Φ、掴み金物				
特記事項	※現況建物の吹付塗材のアスベスト調査は、解体工事にて実施するものとす 調査箇所は、外壁①、玄関ポーチ天井の2か所とする。						

щ	如7	什	Η.	丰
IN	71)	11	- [ᅏ

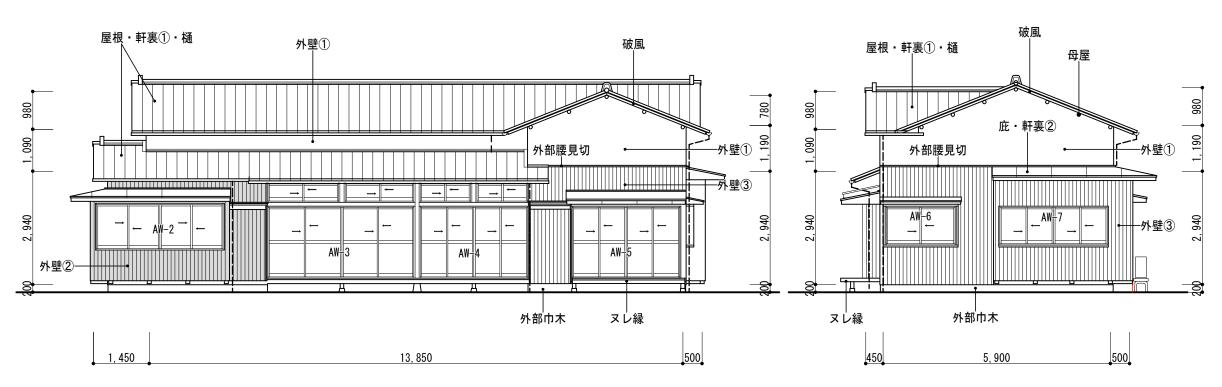
1階	1									
室名		末	巾木		要•壁		天井	│ │ 天井高	 廻縁	備考
至	下地	仕上	仕上 高さ	下地	仕上	下地	仕上	7 大井尚	型 核	1佣 右
玄関	モルタル木鏝押え	100 ⁻¹ 9イル貼	木製巾木 H10	石膏ボード t12.5	t* =-ルクロス	石膏ボード t 9.5	ピニールクロス	2, 450	木製	
事務室	木製床組み	フローリング t 12	木製巾木 H10	カライン 石膏 ボート * t12.5	t* =-ルクロス	石膏ボード t 9.5	ピニールクロス	2, 450	木製	
応接室	木製床組み	フローリング t 12	木製巾木 H10	石膏ボード t12.5	t* =-ルクロス	石膏ボード t 9.5	ピニールクロス	2, 400	木製	
洗面所	木製床組み	クッションフロア t 2.0 捨貼合板 t 12	ソフト巾木 H10	石膏ボード t12.5	t* =-ルクロス	石膏ボード t 9.5	ピニールクロス	2, 400	木製	
トイレ 男女共	木製床組み	クッションフロア t 2.0 捨貼合板 t 12	ソフト巾木 H10	石膏ボード t12.5	t* =-ルクロス	石膏ボード t 9.5	ピニールクロス	2, 400	木製	
和室9畳	木製床組み	畳敷 座板 t 15	畳寄せー	石膏ボード t12.5	t* =-ルクロス	石膏ボード t 9.5	突板 t 5.5	2, 400	木製	
和室9畳押入	木製床組み	ベニア t 9.0	雑巾摺 一	_	ベニア t 5.5	_	ベニア t 5.5	2, 400	-	
廊下	木製床組み	クッションフロア t 2.0 捨貼合板 t 12	ソフト巾木 H10	石膏ボード t12.5	t* =-ルクロス	石膏ボード t 9.5	ピニールクロス	2, 400	木製	
和室4.5畳	木製床組み	畳敷 座板 t 15	畳寄せー	石膏ボード t12.5	t* =-ルクロス	石膏ボード t 9.5	杉柾石膏ボード t 9.5	2, 400	木製	
和室4.5畳押入	木製床組み	ベニア t 9.0	雑巾摺 —	_	ベニア t 5.5	_	ベニア t 5.5	2, 400	1	
キッチン	木製床組み	クッションフロア t 2.0 捨貼合板 t 12	ソフト巾木 H10	石膏ボード t12.5	しっくい	石膏ボード t 9.5	ピニールクロス	2, 400	木製	
浴室		人造石 研ぎ出し			木板 t 9.0 SOP 腰壁:モルタル SOP H1100		木板 t 9.0 SOP	2, 400	1	

	設計年月日	設計	作図	⑤ № 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面 N 0.
九州森林管理局				登録: 大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一	大分西部森林管理署	現況仕上表	N C	K-04
九 州 林 怀 自 垤 问				〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	院内森林事務所 新築工事	5. 况 任 工 衣	N, S	K-04





既存西立面図 S=1/100



连报	下地:野地板 t12+アスファルトフェルト
軒裏①	化粧タル木(杉)+化粧野地板(杉) t12
軒裏②	杉板張り t 12
庇	仕上:ボンデ鋼板葺き 下地:野地板 t12+アスファルトフェルト
母屋	化粧母屋(杉) 先端ボンデ鋼板包み
破風	杉板
外壁①	モルタル刷毛引き リシン吹付
外壁②	杉板張りt12 SOP
外壁③	杉板張り t 12 WP
外部腰見切	杉40 × 45
外部巾木	モルタル刷毛引き
樋	軒樋:塩t°半丸 W100、樋受け金物 @500 竪樋:塩t°60の、掴み金物
玄関ポーチ	床 : モルタル金鏝押え 壁 : モルタル刷毛引き リシン吹付 天井 : ケイカル板 t6 リシン吹付 化粧柱:丸鋼φ42 SOP
ヌレ縁	木製東立 杉板張り

外部仕上表

仕上:和瓦葺き

屋根

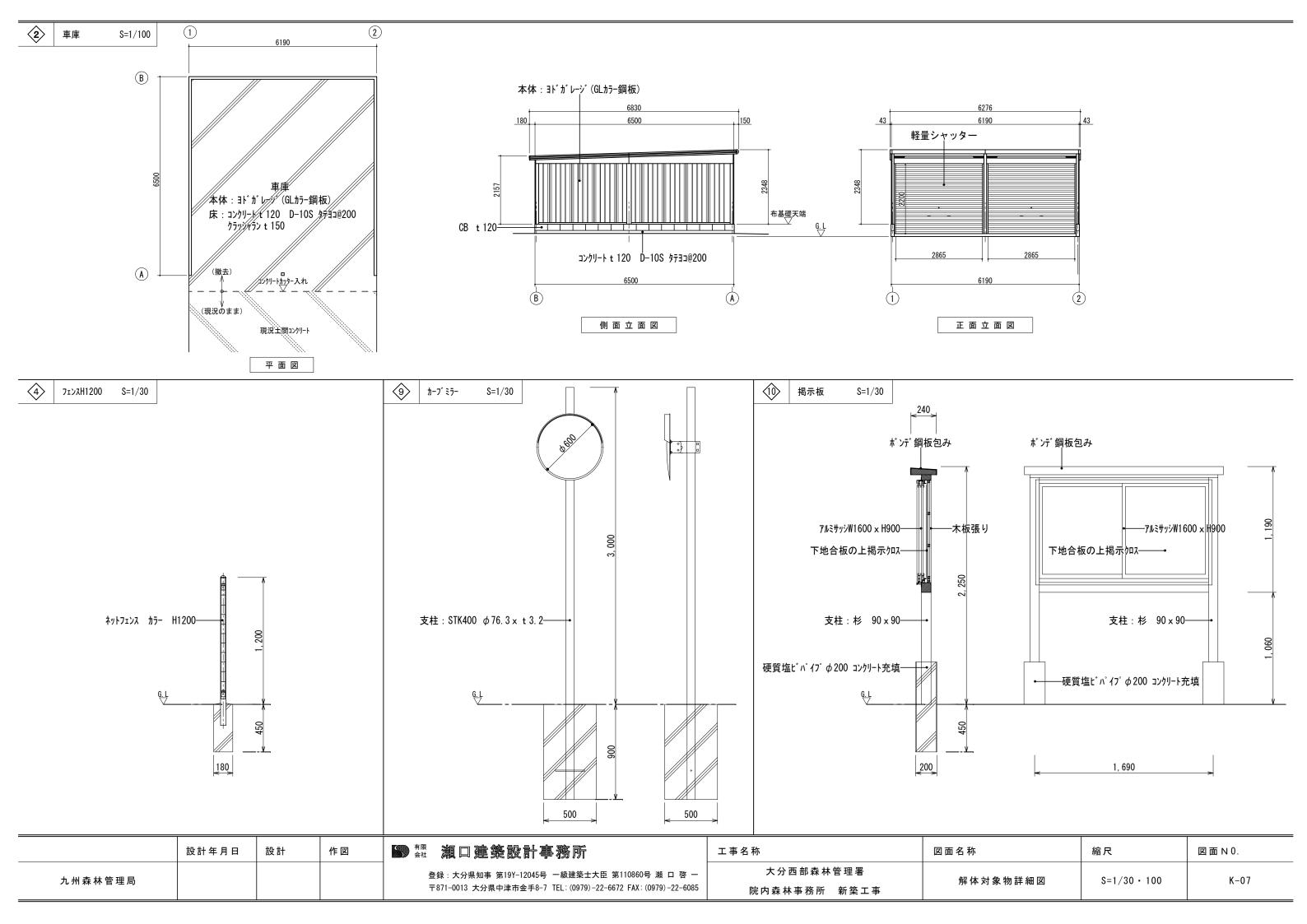
既存南立面図 S=1/100

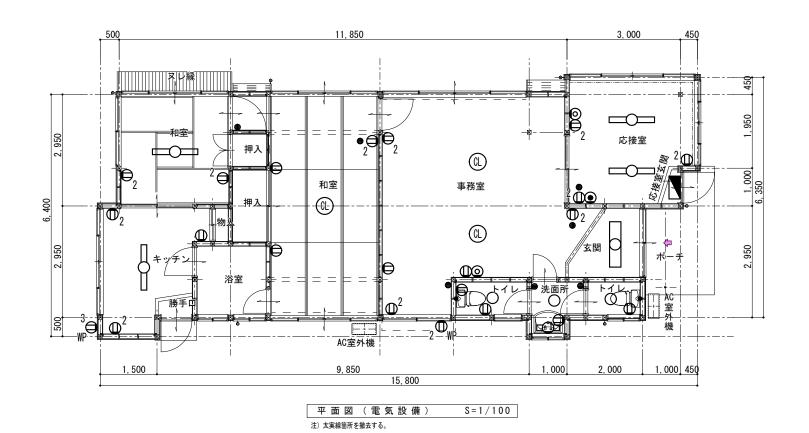
既存北立面図 S=1/100

既存東立面図 S=1/100

特記事項 ※現況建物の吹付塗材のアスベスト調査は、解体工事にて実施するものとする。 調査箇所は、外壁①、玄関ポーチ天井の2か所とする。

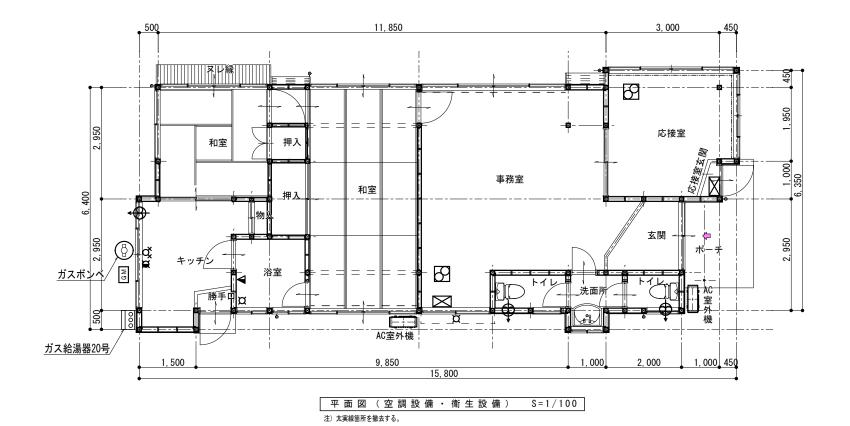
	設計年月日	設計	作図	■ ^{有限} 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	大分西部森林管理署 院内森林事務所 新築工事	既存立面図	S=1/100	K-06





凡例					
記号	名 称	仕 様	記号	名 称	仕 様
	ホーム分電盤				
Φ	コンセント	2P15A × 1		照明器具	FL40W-1灯 直付
Ф 2	コンセント	2P15A × 2		照明器具	FL40W-2灯 直付
WP	防水コンセント	2P15A × 2 ET	(L)	照明器具	シーリングライト
WP ① 3	防水コンセント	2P15A × 3 ET	0	照明器具	コードペンダント
•	スイッチ	1P15A × 1	В	照明器具	ブラケット

設計年月日設計	作図	分	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局		登録: 大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	大分西部森林管理署 院内森林事務所 新築工事	電気設備撤去図 平面図	S=1/100	K-08



撤去 機器表(空調設備)

室名	名 称	仕 様	台 数	備考
	空調機	壁掛形	1	
事務室				
平切主	天井換気扇	20cm	1	
	空調機	壁掛形	1	
応接室				
7075	天井換気扇		1	
	壁付換気扇		1	
キッチン				
() , ,				
	壁付換気扇		2	
トイレ				

撤去 器具表 (衛生設備)

名 称	参 考 型 番	付 属 品	数 量	備考
洋風大便器			2	
洗面器			1	
紙巻器			2	
シャワー水栓			1	
混合水栓			1	
単水栓			2	
ガス栓	双口		1	
ガスメーター			1	

撤去 機器表 (衛生設備)

室 名	名 称	仕 様	台 数	備考
	ガス給湯器	屋外壁掛形 20号	1	
屋外	ガスボンベ		1	

	設計年月日	設計	作図	\$P \$\frac{4R}{2} 瀬口建築設計事務所	工事名称	図面名称	縮尺	図面N0.
九州森林管理局				登録:大分県知事 第19Y-12045号 一級建築士大臣 第110860号 瀬 口 啓 一 〒871-0013 大分県中津市金手8-7 TEL:(0979)-22-6672 FAX:(0979)-22-6085	大分西部森林管理署 院内森林事務所 新築工事	機械設備撤去図 平面図	S=1/100	K-09